



取扱説明書

7型 WXGA ナビゲーション
7DNXF2

**最初にクイックセットアップ
を完了させてください**

操作は2～6ページで！



このたびは、お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

**ご使用前に、本書の「安全のために必ずお読みください」(10～12ページ)
を必ずお読みください。**

- お使いになる前に本書をよくお読みください。
- お読みになった後も、本書を手元に置いてご使用ください。

1. はじめに

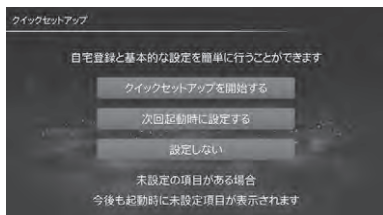
クイックセットアップをする

クイックセットアップをする

本機の初回起動時にクイックセットアップ画面が表示されます。お客様向けクイックセットアップを行うと、本機をより便利に使うことができます。

- 設定を行わない項目は **次へ** にタッチします。
- 設定途中で **終了** にタッチすると、次回起動時にもクイックセットアップ画面が表示されます。

1 クイックセットアップを開始する にタッチする

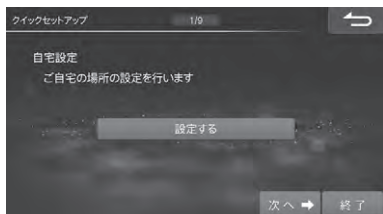


- **次回起動時に設定する** :今回はクイックセットアップを行いません。次回起動時に再びクイックセットアップの画面が表示されます。
- **設定しない** :クイックセットアップを行いません。それぞれの項目は「各種設定」画面から個別に設定できます(110ページ)。

2 自宅を登録する

自宅を登録すると簡単に帰宅ルートを探さできるので便利です。自宅駐車場に車を止め、自転車位置をタッチして登録できます。

1) 設定する にタッチする



2) 地図から にタッチする



3) 自転車位置をタッチして 登録 にタッチする



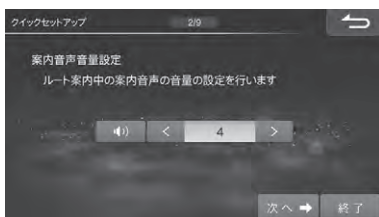
4) 次へ にタッチする

- **電話番号から** **住所から** で自宅位置を探索して登録することもできます。

3 案内音声の音量を設定する

ルート案内中の案内音声の音量設定を行います。

1) ◀ ▶ にタッチして音量を調整する

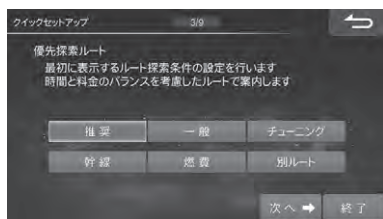


2) 次へ にタッチする

4 優先して探索するルート条件を設定する

優先的に探索・表示するルート条件を設定します。ルート条件については115ページを参照してください。

1) 優先したいルート条件をタッチして選ぶ

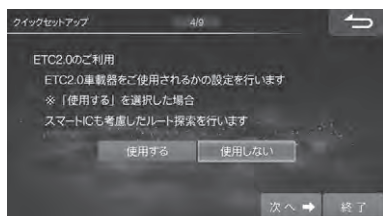


※「有料道路優先」(115ページ)を「する」にした場合、「推奨(有料優先)」と表示されます。

2) 次へ→ にタッチする

5 ETC2.0車載器使用を設定する

1) 使用する または 使用しない にタッチする



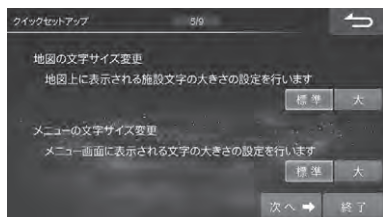
2) 次へ→ にタッチする

- 「使用する」に設定すると、「スマートIC利用」(116ページ)設定も「する」に設定されます。

6 地図/メニュー画面の文字サイズを変更する

地図画面に表示される地名・施設名や、メニュー画面に表示される文字サイズを設定します。

1) 変更するには 大 にタッチする

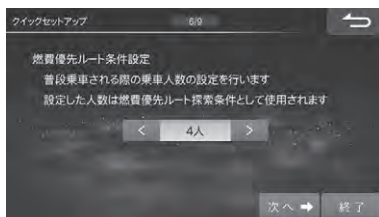


2) 次へ→ にタッチする

7 燃費優先ルートの条件を設定する

乗車する人数の設定を行います。設定された人数は「燃費優先」ルート探索条件として使用されます。

1) ◀ ▶ にタッチして人数を設定する



2) 次へ→ にタッチする

8 Bluetooth接続を設定する

携帯電話を本機とBluetooth接続することでハンズフリー通話を利用したり、Bluetoothオーディオを楽しんだりすることができます。

- Bluetooth2.0以下のBluetooth機器は接続できません。

1) 設定する にタッチする

2) 登録/変更 → 未登録 → 機器登録 の順にタッチする



3) 携帯電話のBluetooth機能をオンにし、携帯電話で本機を検索する

4) 携帯電話にコードが表示されたら、ナビ画面のコードと同じであることを確認して登録する

5) ハンズフリー オーディオ ハンズフリー+オーディオ のいずれかにタッチする

ハンズフリー電話とBluetoothオーディオどちらにもお使いになる場合は「ハンズフリー+オーディオ」にタッチします。

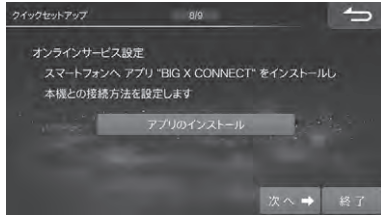
6) Bluetooth接続が開始されたら 次へ→ にタッチする

9 オンラインサービスを設定する

オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」と連携して、本機の地図データ更新などを行うことができます。詳しくは「オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」を使う」96ページを参照してください。

また、スマートフォン向けアプリ「NaviCon」と連携するアプリで検索した地点を本機側へ転送し、本機側で目的地設定・案内することができます。詳しくは「「NaviCon」(スマートフォンナビ連携機能)を使う」100ページを参照してください。

1) アプリのインストール にタッチする



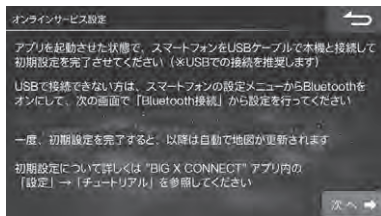
2) App StoreまたはGoogle Playで「BIG X CONNECT」を検索するか、QRコードを読み込んだリンク先でアプリをインストールする

■ iPhoneのお客様

3) iPhoneで「BIG X CONNECT」を立ち上げ、**iPhoneをお使いの方** にタッチする



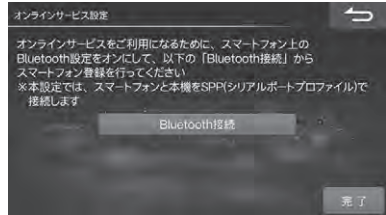
4) 添付のUSBケーブルで本機とiPhoneを接続する



5) **次へ** にタッチする

6) **Bluetooth接続** にタッチし、iPhoneの名称が表示されているのを確認したら **接続** にタッチする

手順9-1)の画面に戻ります。



- 他のiPhoneで「NaviCon」を使用する場合は、**機器設定** にタッチします。以降の操作は、手順8-2)～6)を参照してください。
- 「NaviCon」を使用しない場合は **完了** にタッチしてください。

7) **終了** にタッチする

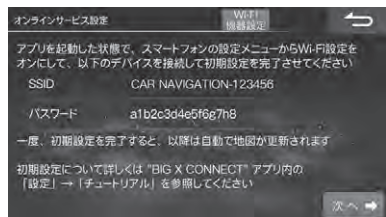
■ Androidスマートフォンのお客様

3) スマートフォンで「BIG X CONNECT」を立ち上げ、**Androidをお使いの方** にタッチする

4) スマートフォンの設定画面を開いてWi-Fi機能をONにし、スマートフォンから本機を検索する

- 本機名称の初期値は「CAR NAVIGATION-xxxxxx(6桁の数字)」です。

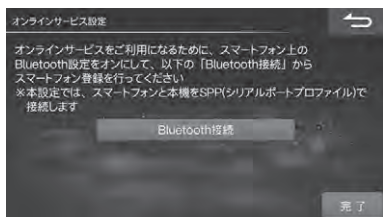
5) スマートフォンに本機Wi-Fiパスワードを入力して本機を登録する



6) **次へ** にタッチする

7) Bluetooth接続 にタッチする

「NaviCon」(100ページ)を使用するために、スマートフォンを本機とSPP(シリアルポートプロファイル)で接続します。



- 「NaviCon」を使用しない場合は **完了** にタッチしてください。
- 8) 本機画面にスマートフォンの名称が表示されているのを確認したら、スマートフォンで「NaviCon」を立ち上げ、本機と接続設定を行う
- 「NaviCon」との接続が完了し、手順9-1)の画面に戻ります。
- スマートフォン側での接続先設定が必要になります。NaviConの「設定」メニュー→「接続先設定」→本機(初期設定は「CAR NAVIGATION」と表示)を選択して「完了」をタッチしてください。
 - 他のスマートフォンで「NaviCon」を使用する場合は、**機器設定** にタッチします。以降の操作は、手順8-2)～6)を参照してください。
- 9) **終了** にタッチする

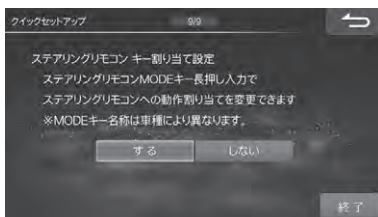
10 ステアリングリモコンキー割り当てを設定する

ステアリングリモコン対象車種の場合、ステアリングリモコンに本機の操作を割り当てることができます。

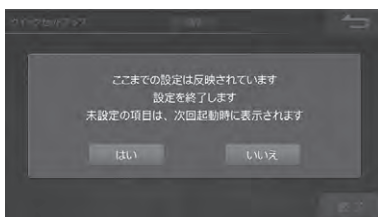
- 1) **する** にタッチする
- 2) リストから割り当てる動作を選択後、割り当てたいステアリングリモコンのキーを押す
- 3) 確認画面が表示されたら **はい** にタッチする
- 4) 設定が終了したら **←** にタッチする

11 クイックセットアップを終了する

1) **終了** にタッチする



2) 画面メッセージを確認して **はい** にタッチする



- 未設定の項目がある場合には、次回起動時に再びクイックセットアップ画面が表示されます。
- ボイスタッチについての機能紹介画面が表示されたら **閉じる** にタッチします。

クイックセットアップ(販売店設定)をする

販売店設定は本機取り付け時に販売店で行いますので、通常は操作の必要はありません。クイックセットアップを初期化した場合、本設定を行ってください。本機初回起動時に設定画面が表示されます。

1 「ようこそ」画面が表示されたら はじめる にタッチする

2 車種専用チューニングをする

車に合わせた設定を行います。本機にプリセットされている車種から設定します。

1) 車種を選択 → **決定** → グレードを選択 → **決定**

2) 接続機器の設定

- カメラ接続: **リアカメラ** または **カメラなし** → **決定**
- サブウーファー^{*1}: **なし** → **決定**
- ステアリングリモコン^{*2}: **設定する** または **設定しない** → **決定**

3) 設定内容を確認 → **決定** → **メッセージを確認** → **はい** → **閉じる** ^{*3} → **再起動**

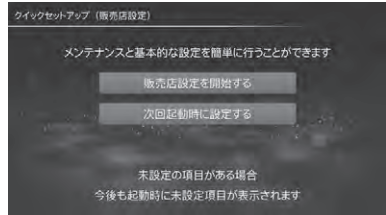
※1 本機はサブウーファー接続には対応していません。

※2 選択した車種にステアリングリモコン設定がない場合、ステアリングリモコン設定画面は表示されません。

※3 選択した車種により **閉じる** の操作を行わない場合があります。

- 車種専用モデルの場合は、車種専用チューニングは本機を購入された販売店で設定完了していますので、通常は設定する必要はありません。万が一設定が間違っていたり、本機を他の車に取り付けたりなど、再設定が必要な場合は「車種専用チューニング」(123ページ)を参照してください。データをダウンロードすることもできます。「オンラインデータ更新」(103ページ)、「メディアデータ更新」(104ページ)を参照してください。

3 販売店設定を開始する にタッチする



- **次回起動時に設定する** にタッチすると、お客様向けクイックセットアップ画面が表示され、次回起動時に再びクイックセットアップ(販売店設定)が表示されます。

4 各項目の設定をする

1) 「販売店設定」をする

本機を取り付けた販売店の設定を行います。登録すると販売店へのルート検索・誘導が簡単になります。

設定する → **地図から** / **電話番号から** / **住所から** → **登録** → **次へ** →

2) 「メンテナンス」設定をする

エンジンオイル・タイヤなど車両に関する各種点検時期を画面表示することができます。

設定する → 設定項目を入力 → **完了** → **←** →

- 車の使用状況により、お知らせするメンテナンス時期と実際に必要なメンテナンス時期に誤差が生じる場合があります。

5 全ての項目の設定が完了したら **終了** にタッチする

6 メッセージを確認して、設定を終了する場合には **はい** にタッチする

目次

1. はじめに	2	2. ナビゲーション	29
クイックセットアップをする	2	画面の見かた	29
クイックセットアップをする	2	現在地画面の見かた	29
クイックセットアップ(販売店設定)をする	6	ルート案内画面の見かた	30
目次	7	ナビ操作/オーディオ操作スイッチについて	31
安全のために必ずお読みください	10	地図を操作する	32
取り扱い上のご注意	11	地図をスクロールする	32
お読みください	12	方位を切りかえる	33
モニターのお手入れ	12	縮尺を切りかえる	34
各部の名称とはたらき	13	地図表示方法を切りかえる	34
本体スイッチ	13	地図設定について	36
ディスプレイオープン時	14	目的地を設定してルートを探る	37
タッチスイッチの操作について	15	ルートを引いてナビゲーションを使う	37
準備	16	自宅へ帰る	38
電源のON/OFF	16	ナビメニューから目的地を検索する	38
ディスプレイの角度を調整する	16	履歴を使用して検索する	40
DVD/CDディスクを挿入する/取り出す	16	登録地点を検索する	40
SDカードを挿入する/取り出す	17	「お気に入り」で周辺を検索する	41
ボイスタッチ機能	18	地図から目的地を検索してルートを探る	42
ボイスタッチ操作例	20	経由地を設定する	43
オプションスイッチ操作	22	目的地を追加する	43
オプションスイッチに機能を登録する	22	目的地周辺の施設を経由地として探る	43
登録した機能呼び出す	22	施設の情報画面について	44
ステアリングリモコンの使い方	23	ルート探索結果画面の操作	44
ステアリングリモコンに割り当てた機能を 操作する	24	ルートを選択する(6ルート)	45
ナビ・オーディオ2画面表示	25	ルートの確認・編集	46
ナビ・オーディオを2画面で表示する	25	ルート案内方法	46
画面の位置を入れかえる	25	音声案内について	49
インジケータ表示について	26	ルートの確認・編集を行う	50
文字入力のしかた	27	地点登録	53
キーボードの種類を選ぶ	27	現在地を地点登録する	53
文字を入力する	28	地点を登録する	53
文節区切りを変更する	28	登録地点を編集する	54
検索履歴を使用する	28	VICS情報を見る	56
		VICSについて	56
		提供されるVICS情報	56
		情報を提供する媒体	57
		表示されるVICS情報	57
		VICS情報の表示例	58
		音声情報読み上げについて	60

3. オーディオ 61

基本操作	61
オーディオメニューを表示する	61
オーディオソースをOFFにする	61
Hi-Resオーディオを再生する	61
テレビ操作	62
テレビを見る	62
テレビ操作を行う	62
番組表の操作	64
テレビ設定操作	64
ラジオ操作	66
ラジオを聴く	66
ラジオ操作を行う	66
交通情報を受信する	67
DVD操作	68
DVDを再生する	68
DVD操作を行う	68
DVD初期設定	71
DVDの機能について	72
CD操作	73
CDを再生する	73
CD操作を行う	73
SDオーディオ/ビデオ操作	75
SDカードに曲を録音する	75
SDを再生する	76
SDオーディオ操作を行う	76
SDビデオ操作を行う	77
SDオーディオの曲を探す	78
SDビデオの映像を探す	79
SDオーディオの録音曲を編集する	79
SDオーディオのプレイリストを編集する	80
HDMI操作	81
HDMI/MHL対応機器(iPhoneやスマートフォンなど)をつないで使う	81
iPhone/iPod操作	82
iPhone/iPodを聴く	82
iPhone/iPod操作を行う	82
iPhone/iPodの曲を探す	84
Bluetooth [®] オーディオ操作	85
Bluetoothオーディオ機器を接続する	85
Bluetoothオーディオ操作を行う	86
USB機器操作	88
USBメモリー/Androidスマートフォンのオーディオ/ビデオデータを再生する	88

外部機器操作	89
外部機器(ドライブレコーダーやゲームなどの映像を見る)	89

4. 電話 90

携帯電話・スマートフォンを接続する	90
携帯電話の接続を解除する/再接続する	91
接続する携帯電話を変更する	91
電話をかける・受ける	92
電話をかける	92
電話を受ける	93
通話中の操作	93
三者通話を行う	94
電話帳を読み込む	95

5. 情報・更新 96

オリジナルスマートフォンアプリ	
「BIG X CONNECT」を使う	96
「BIG X CONNECT」をインストールして本機と連携する	97
地図データを更新する	98
目的地・経由地を設定する	99
「NaviCon」を使う	100
「NaviCon」をインストールして本機と連携する	100
目的地・経由地を設定する	101
地図更新について	102
個人情報のお取扱いについて	102
オンラインデータ更新	103
オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」を使ってデータ更新を行う	103
メディアデータ更新	104
VICS情報を見る	105
車両情報について	108
本機情報を確認する	109

6. 設定・調整 110

各種設定	110
地図表示設定	110
案内誘導設定	113
経路設定	115
VICS設定	117
接続機器設定	118
オーディオ設定	119
その他設定	120
車種専用チューニング	123
メディア編集	124
音質調整	125
基本設定	125
詳細設定1	126
詳細設定2	128
画質調整	129
音量調整	131
電話設定	132
通信設定	133
Bluetooth設定	133
Wi-Fi設定	134

7. オプション機器 135

ETC2.0を使う	135
ETC2.0情報を表示する	135
リヤビューカメラ操作	137
カメラ画像の調整	139
リヤモニター操作	140
リヤモニター設定	140
ダブルゾーン設定	141
ダブルゾーンコミュニケーション	142
ダブルゾーンサウンドコントロール	143
ドライブレコーダー操作	144
ドライブレコーダー設定	144
カメラの映像を確認する	145
常時録画する(動画)	146
手動で動画を録画する	146
手動で静止画を撮影する	146
録画したデータを再生する	146
駐車録画のお知らせ	147



8. 付録 148

困ったときは(よくあるご質問)	148
トラブルシューティング (故障かな?と思ったら)	152
トラブルシューティング (表示メッセージと対処方法)	158
オーディオソースメディアについての注意	163
ディスクについてのご注意	163
HDMIについてのご注意	164
SDカードについてのご注意	164
USBメモリーについてのご注意	165
iPhone/iPodについてのご注意	165
本機対応のフォーマットについて	166
約款・規約、その他	169
VICS情報有料放送サービス契約約款	169
交通事故防止等安全確保のために必ずお守り ください	170
路線別データ使用規約	170
地図データについて	171
セキュリティ設定について	172
カーナビゲーションに記録されるデータ について	172
FM VICS情報が受信できる代表的な周波数	172
VICSに関するお問い合わせ	172
Gracenoteについて	172
電波に関する注意事項	173
ソフトウェアに関する重要なお知らせ	173
保証について/規格	174
地図マーク一覧	177
索引	178
地図画面の見かた	187




安全のために必ずお読みください

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる事故やケガに対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっていきます。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■ 誤った使用をした場合に生じる危害・損害の程度の説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う危険が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の説明

 強制	必ず実行していただく強制の内容を示しています。
 禁止	禁止(やってはいけないこと)の内容を示しています。
 注意(警告を含む)	注意(警告を含む)しなければならない内容を示しています。

警告



分解・改造をしない

特にコードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。事故・火災・感電の原因になります。



運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず停車してパーキングブレーキをかける

交通事故の原因になります。テレビやビデオは、安全のため走行中は表示されません。

緊急時に使用する場合は、本製品の情報だけに頼らない

交通事故の原因になります。警察や消防署、病院などに連絡をして、状況に応じて場所などの確認を行ってください。

探索したルートは、ルート上の安全性を考慮して探索されていません。危険な地域への誘導がされている場合は、事故や災害を避けるために、運転者はそのときの状況を判断して回避してください。

カメラ使用時も目視による安全確認を必ず行う

カメラの死角になっている人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因になります。



故障や異常な状態のまま使用しない

音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、必ず販売店(かサービス相談窓口)に相談する。そのまま使用すると事故・火災・感電の原因になります。

運転中は操作をしたり、画面を見ない

交通事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、必ず安全な場所に停車してください。



禁止

カメラは周囲確認の補助装置です。カメラの画像だけを見て運転しない

カメラ画像で表示できる範囲には限りがあるため、人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因になります。



注意



強制

実際の交通規制に従って運転する

ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると、実際の交通規制に反する場合があります、交通事故の原因となります。



禁止

車以外には使わない

感電・ケガの原因になります。

メディア挿入口、モニターの開閉時のすきま等の機器内部に、指や異物を入れない

ケガ・故障の原因になります。

落下させる、たたくなどの強い衝撃を与えない

故障・火災の原因になります。

大きな音量で使用しない

車外の音が聞こえないことによる交通事故・故障または聴力障害の原因になります。



カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なるため注意して使用する事故の原因になります。

取り扱い上のご注意

使用上のお願ひ

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

- 本機側の雑音や誤動作の原因になったり、電話や無線機の正常な送受信ができなくなる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをおすすめします。また、リモコンスターター・カーセキュリティも誤動作の原因になる場合があります。

- キーレスエントリーシステムが装着されている車では、キーを本機に近づけると、キーレスエントリーシステムがキーを認識しなくなる場合があります。また、キーを本機やBluetoothオーディオ機器に近づけると、音飛びが発生する場合がありますので、キーを離してご使用ください。

測位状態が安定してから走行する

- GPSを測位してから走行してください。測位状態が不十分なときに走り出すと自車位置がずれる場合があります。

無理な力を加えない

- 製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

お手入れは乾いた布を使う

- お手入れは乾いた布が強く絞った布でふいてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

- 車内の温度が極端に高い(炎天下駐車)ときや低い(厳冬期駐車)ときは、常温になってからお使いください。

可動部分の動作中は操作をしない

- ディスプレイ開閉や角度調整など、動作中に操作をしないでください。ケガや故障の原因になることがあります。

温度上昇について

- 可動ディスプレイの裏面が暖かくなりますが、故障ではありません。手をふれないでください。

可動ディスプレイは必ず閉じる

- 可動ディスプレイが開ききった状態では走行しないでください。無理な力が加わり故障の原因になります。

可動ディスプレイについて

- 濡れたままの手や手袋をつけた手では操作しないでください。正常に動作しない場合があります。

お知らせ

本機は国内で使う

- 本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

お読みください

- この取扱説明書に記載されているソフトウェアは、ライセンスの所有者にのみ供給され、同ライセンスの許可する条件のもとでのみ使用することが許されます。
- 当該ライセンスが許可している場合を除き、本出版物のいかなる部分もアルプスアルパイン株式会社の書面による事前の許可なしには、いかなる条件下でも、また電子的・機械的・録音・その他のいかなる手段によっても、コピー・検索システムの記憶・転送を行うことはできません。
- この取扱説明書に記載された内容は、情報の提供のみを目的にしており、予告無しに変更されることがあります。
- 仕様および外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は日本国内専用です。

モニターのお手入れ

- モニターが汚れたら柔らかい布(シリコンクロスなど)でふいてください。
- 汚れがひどい場合は水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、よくしぼってからふきとってください。
- 「水」や「水で薄めた中性洗剤」は直接モニターにかけないでください。
液体が内部に入り「シミ」や「故障」の原因になります。
- モニターは傷つきやすいため、硬いものでふいたり、こすったり、物をぶつけたり、強い力で押ししたりしないでください。
- ベンジン・アルコール・シンナーは使用しないでください。変色・変質の原因になります。

注意

- 本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

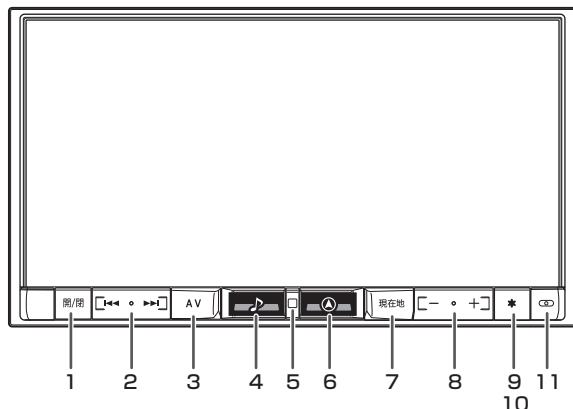
ご使用前にお読みください

- 本機には、交通規制データが収録されておりますが、運転に際しては、必ず現場の交通規制標識・掲示板等を確認し、もしデータと違うときには、現場の標識・掲示板等に従ってください。
- 運転中の操作は大変危険です。必ず停車中に操作してください。
- 情報の最終更新年月が地域によって格差があるため、ある特定地域での道路の整備状況によっては、未収録や更新されていない場合があります。
天変地異による規制には対応しておりません。該当する周辺を走行する際には、警察・交通情報センター等へご確認ください。
- 本機を使用したことにより発生したお客様本人および第三者のいかなる損害についても、弊社はその責任を一切負いかねます。
- 本機収録の内容に誤字・脱字・位置ずれ等の表記または内容に関する誤りに対して、取り替え・代金の返却はいたしかねます。
- 本機収録の内容は予告なく変更されることがあります。
- 本機に含まれる機能がおお客様の特定目的に適合することを、弊社は保証するものではありません。

各部の名称とはたらき

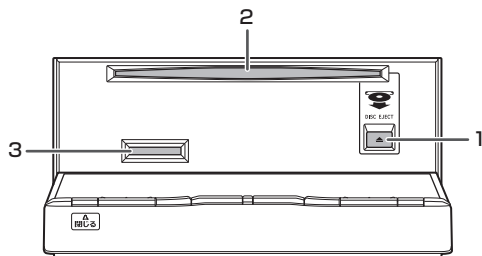
本体スイッチ

- お車がステアリングリモコン対象車種の場合、ステアリングリモコンに本機の本体スイッチ操作を割り当てることができます(「ステアリングリモコンに割り当てた機能を操作する」24ページ)。



- 1 ディスプレイ開閉スイッチ**
ディスプレイを開閉します。
2秒以上押すと角度調整画面を表示します。角度調整画面で **UP** または **DOWN** をタッチして、見やすい角度(6段階調整可能)にすることができます。
- 2 選局・選曲スイッチ**
選局・選曲を行います。
2秒以上押すと早送り/早戻しを行います。
- 3 AV(オーディオ画面呼び出し)スイッチ**
再生・視聴中の画面に戻ります。
2秒以上押すとオーディオソースのONとOFFを切りかえます。
- 4 音楽スイッチ**
オーディオメニュー画面を表示します。
1秒以上押すとBluetooth機器登録画面が表示されます。すでにBluetooth接続している機器がある場合はBluetooth接続解除の確認画面が表示されます。
- 5 ボイスタッチインジケータ**
ボイスタッチワードを本機が認識すると明滅します。
- 6 電源スイッチ**
ナビメニュー画面を表示します。
- 7 現在地(現在地画面呼び出し)スイッチ**
現在地画面を表示します。ルート案内中に自車位置画面で押すと音声案内を行います。また、地図画面下部の現在地名/道路名表示を切りかえます。
- 8 音量調整スイッチ**
オーディオソースの音量を調整します。
 - ナビの音声案内中/VICS音声情報読み上げ中の音声音量、電話着信中の着信音量、ハンズフリー通話中の受話音量も調整することができます。
- 9 オプションスイッチ**
オプションスイッチ設定で設定された機能呼び出します(22、121ページ)。
<初期設定値>
1回押し: ボイスタッチワード一覧
長押し: 1.ダブルゾーンコミュニケーション、2.画面OFF、3.ミュート
- 10 セキュリティインジケータ**
セキュリティ設定をONにすると、ACC電源OFF時にセキュリティインジケータとして点滅します。
- 11 ハンズフリーマイク**
ハンズフリーマイクが内蔵されています。ハンズフリー通話、またはダブルゾーンコミュニケーションモード時に使用します。

ディスプレイオープン時



1 イジェクトスイッチ

ディスクを取り出すことができます。ディスクが取り出せないときは、5秒以上押しとディスクが押し出されま

す。

2 DVD/CD挿入口

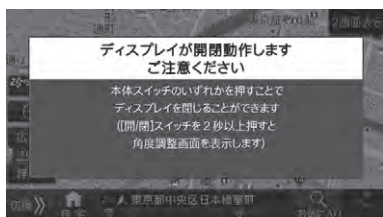
3 SDカード挿入口

音楽用/登録地点保存用のSDHC/SDカードを挿入します。

- 音楽用/登録地点保存用のSDカードは工場出荷時に挿入されています。

ディスプレイ開閉時の注意

ディスプレイを開閉する際に[開/閉]スイッチを押すと下記のメッセージが表示され、警告音が鳴ってから約2秒後にディスプレイが開閉します。手がディスプレイの近くにあると手を挟み込むなどのケガの原因となる場合がありますので、ご注意ください。



タッチスイッチの操作について

操作するときはタッチスイッチに軽くタッチしてください。操作できないタッチスイッチはグレーアウトしていません。選択されているスイッチはオレンジ色になります。



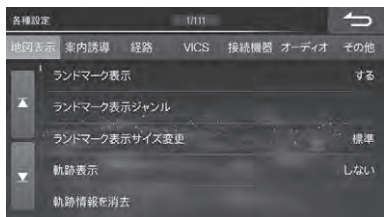
- 画面保護のため、必ず指でタッチしてください。
- ボールペンの先など、先端が硬いものや、とがっているもので操作しないでください。タッチスイッチが正常に操作できなくなったり、故障の原因となったりします。

各画面共通タッチスイッチ

- : 前の画面に戻ります。機能によってはタッチした画面で行った操作がキャンセルされる場合があります。
- : 現在の画面を終了し、元のモード(ナビゲーションなど)に戻ります。
- : 設定画面や割り込み画面などに表示され、タッチすると表示された画面を閉じます。

リスト画面のスクロール操作について

リスト画面は にタッチする、またはリスト画面を上下にフリックする(指で軽くはらう)ことでもスクロールすることができます。



準備

■ 本書の操作方法説明・スイッチ表記について

本書は本体スイッチとタッチスイッチを使って操作方法を説明しています。

本体スイッチ	[現在地] [開/閉]
画面のタッチスイッチ	案内開始

■ 本書の画面について

車種・機種により、表示画面のデザイン・色調が異なります。

電源のON/OFF

1 車のエンジンをACCまたはONにする

本機の電源も連動してONになります。電源が入るとオープニング画面と安全のためのご注意画面に続いて、モード画面(地図画面やCD画面など)が表示され、スイッチ照明が明るく点灯します。

表示されるモード画面は、前回の電源OFFにしたモード画面を表示します。例えばテレビ画面のときエンジンをOFFにすると、次回はテレビ画面で起動します。

2 本機の電源をOFFにするには車のエンジンをOFFにする

ディスプレイの角度を調整する

ディスプレイの角度を6段階で調整できます。見やすい角度でお使いください。

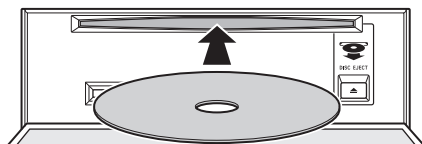
1 [開/閉]スイッチを2秒以上押す

2 角度調整画面で **UP** または **DOWN** をタッチして、好みの角度に調整する



DVD/CDディスクを挿入する/ 取り出す

1 [開/閉]スイッチを押してディスプレイを開き、レーベル面を上にしてDVD/CD挿入口にディスクを挿入する



ディスクを挿入するとディスプレイが自動的に閉まり、再生が始まります。

2 ディスクを取り出すには[開/閉]スイッチを押してディスプレイを開き、[▲]スイッチを押す

ディスクが排出されます。ディスクは必ず取り出してください。

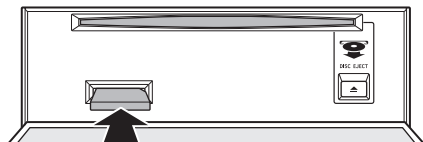
3 本体スイッチのいずれかを押してディスプレイを閉じる

- ディスプレイを開いたままにしないでください。故障や事故の原因になります。

SDカードを挿入する/取り出す

- 音楽用/登録地点保存用のSDカードは工場出荷時に挿入されています。

- 1** [開/閉]スイッチを押してディスプレイを開き、レーベル面を上にしてSDカード挿入口にSDカードを挿入する



- 2** [開/閉]スイッチを押してディスプレイを閉じる

- 3** SDカードを取り出すには[開/閉]スイッチを押してディスプレイを開き、挿入されているSDカードを押す

SDカードが押し出されます。SDカードは必ず取り出してください。

- 4** [開/閉]スイッチを押してディスプレイを閉じる

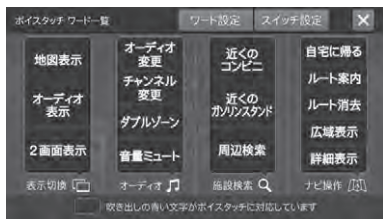
- ディスプレイを開いたままにしないでください。故障や事故の原因になります。

ボイスタッチ機能

本機は限定音声認識機能であるボイスタッチを使用することができます。

ボイスタッチワードを本機が認識すると、定められた操作が自動で実行されます。例えば「オーディオ表示」と発話すると、再生・試聴中のオーディオ画面表示に切りかわります。ボイスタッチワードを発話するだけで認識するため、スイッチ操作などを行う必要はありません。

- **[*]**(オプションスイッチ)を押すと、ボイスタッチワード一覧を見ることができます。オプションスイッチ1回押し初期設定値には「ボイスタッチワード一覧」が登録されています。



- ボイスタッチワード一覧画面の **ワード設定** にタッチすると、ボイスタッチワードに関する設定画面を表示することができます。設定内容については「ボイスタッチワード設定」「ボイスタッチチューニング」(120ページ)を参照してください。
- ボイスタッチワードはそれぞれON/OFFを選ぶことができます。すべてのワードを一括でON/OFFすることもできます。(「ボイスタッチワード設定」120ページ)。会話中にボイスタッチワードが出てきて本機が意図せずに動作するような場合は、不要なボイスタッチワードをOFFに設定してください。
- ボイスタッチ機能の認識率が悪い、または誤検出が多い場合は、「ボイスタッチチューニング」(120ページ)で調整することができます。
- ハンズフリー通話中、ダブルゾーンコミュニケーション中、本機データ更新中はボイスタッチを使用することはできません。
- 地図画面下部の操作スイッチの **切換>>** にタッチして操作スイッチをボイスタッチワードスイッチに変えることができます。また、ボイスタッチワード一覧画面の **スイッチ設定** にタッチすると、操作スイッチに表示するボイスタッチワードを選択することができます。



切換スイッチ



■ 操作例:近くのコンビニを探す

地図画面表示中に発声



本機が音声を認識

検索結果画面表示(20ページ参照)



周辺検索では表示されたリストもボイスタッチで操作することができます(「ボイスタッチ操作例」20ページ)。

- 「キャンセル」と発話すると、操作を途中でやめることができます。
- ボイスタッチワードスイッチは、画面をタッチするタッチ操作でも操作することができます。ただし走行中の検索リスト画面は、タッチ操作を行うことはできません。

ボイスタッチワード	本機の動作
地図表示	地図画面表示
オーディオ表示	オーディオ画面表示
2画面表示	地図/オーディオ2画面表示
音量ミュート	オーディオ音量ミュート、ミュート中にもう一度発話すると元の音量に戻る
ルート案内	ルート案内中に音声案内を行う
広域表示	地図画面表示時、地図を縮小して広域地図を表示
詳細表示	地図画面表示時、地図を拡大して詳細地図を表示
ダブルゾーン	ダブルゾーンメニュー画面表示
ルート消去	確認画面が表示され、「消去する」と発話するとルートが消去される
自宅に帰る	自宅に帰るルートが検索され、確認画面で「設定する」と発話するとルートを設定
周辺検索	現在地画面/オーディオ画面表示時、周辺検索メニュー画面表示
近くのコンビニ	現在地画面/オーディオ画面表示時、周辺のコンビニリスト画面表示
近くのガソリンスタンド	現在地画面/オーディオ画面表示時、周辺のガソリンスタンドリスト画面表示
オーディオ変更	本機のオーディオ変更メニュー表示
チャンネル変更	テレビのチャンネル変更メニュー表示
キャンセル	交差点拡大図・ETC・VICSの割り込み画面表示時に割り込み画面解除/前の画面に戻る



ボイスタッチワードスイッチは吹き出しと青字で表示されます

「外部接続機器選択」設定(89ページ)で「ドライブレコーダー」選択時は「ドライブレコーダーに変更」をボイスタッチワードとして使用することができます。発話すると、ドライブレコーダー画面が表示されます。

- ディーラーオプションのドライブレコーダー接続時は、自動的にドライブレコーダーが外部接続機器に設定されています。

ボイスタッチ操作例

オーディオ画面を表示する

再生・試聴中のオーディオ画面を表示することができます。

1 「オーディオ表示」と発話する

オーディオ画面が表示されます。

オーディオソースを変更する

オーディオソースをボイスタッチで切りかえることができます。テレビを視聴する場合は続けてチャンネルを変更することができます。

1 「オーディオ変更」と発話する

オーディオ変更メニュー画面が表示されます。

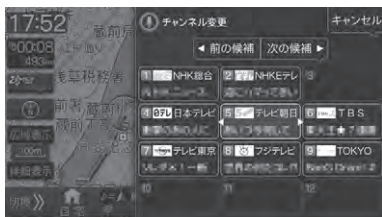
2 「テレビに変更」と発話する



- ドライブレコーダー接続時にドライブレコーダー画面を表示するには「ドライブレコーダーに変更」と発話してください。
- チャンネルを変更する場合は、テレビを視聴中に「チャンネル変更」と発話して変更することができます。

1) 「チャンネル変更」と発話する

2) 「次の候補」「前の候補」と発話してチャンネルを選ぶ



周辺施設を検索する

現在地画面またはオーディオ画面表示中に、近くにある施設を検索することができます。

- コンビニとガソリンスタンド検索時は、手順1は不要です。「近くのコンビニ」「近くのガソリンスタンド」と発話すると、検索することができます。

1 現在地またはオーディオ画面表示中に「周辺検索」と発話する

周辺検索メニュー画面が表示されます。



2 行きたい施設のジャンルを選んで、画面に表示されているボイスタッチワード（「近くのファミレス」など）を発話する

現在地から近い順に施設候補が最大3件表示されます。中央に表示されている施設を目的地に設定することができます。



3 中央に表示されている施設を目的地に設定するときは「ここに行く」と発話する

目的地に設定できる施設
「ここに行く」



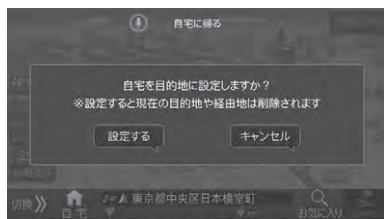
- 施設候補を切りかえるには、「前の候補」または「次の候補」と発話します。「前の候補」「次の候補」と発話すると、施設が一つずつ左右に送られ、施設候補を変更できます。施設名を左右にフリックしても施設候補を切りかえることができます。
- 検索した時点では「前の候補」は表示されません。「次の候補」と発話すると表示されます。
- ルート案内中はルート周辺の施設リストを表示することができます。「ルート周辺」「現在地周辺」と発話すると、リスト画面が切りかわります。

自宅に帰るルートを引く

自宅が登録されていれば、発話するだけで自宅に帰るルートを引きことができます。

1 「自宅に帰る」と発話する

確認画面が表示されます。



2 「設定する」と発話する

自宅までのルート探索が行われ、探索終了後、ルートが設定されます。

ルートを消去する

1 「ルート消去」と発話する

確認画面が表示されます。



2 「消去する」と発話する

現在のルート・目的地・経由地を消去します。

オプションスイッチ操作

よく使う機能(例えば、ミュートやハンズフリーなど)を[*](オプションスイッチ)に登録すると、[*](オプションスイッチ)スイッチを押すだけで登録した機能呼び出すことができます。

オプションスイッチに機能を登録する

オプションスイッチに機能を登録します。[*]スイッチを押すだけで機能呼び出しできる「1回押し」と、[*]スイッチを1秒以上押し、画面に表示される3つの機能から呼び出す機能を選ぶ「長押し」の2種類に登録ができます。

初期設定値

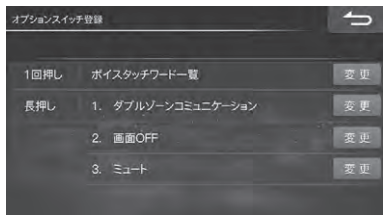
- 1回押し: ボイスタッチワード一覧
長押し: 1. ダブルゾーンコミュニケーション、
2. 画面OFF、3. ミュート

- 設定・調整画面から登録を行うことができます。「オプションスイッチ」(121ページ)を参照してください。

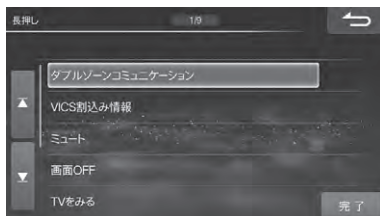
1 [*]スイッチを1秒以上押し、画面右下の + にタッチする



2 オプションスイッチ登録画面で、変更したい機能の 変更 にタッチする



3 リストから希望の機能を選んでタッチし、完了 にタッチする



登録できる機能:

ダブルゾーンコミュニケーション、VICS割込み情報、ミュート、画面OFF、ドライブレコーダー録画・停止(※1)、TVをみる、自宅に帰る、後席個別ON/OFF、ダブルゾーンメニュー、ボイスタッチワード一覧

※1 未接続の場合は、選択リストに表示されません。

- 選択した機能が上書き登録されます。

登録した機能呼び出す

■「1回押し」の場合

- 1 [*]スイッチを押す
- 登録した機能が呼び出されます。









■「長押し」の場合

- 1 [*]スイッチを1秒以上押す
 - 2 リストから希望の機能を選んでタッチする
- 選んだ機能が呼び出されます。

ステアリングリモコンの使い方

ステアリングリモコン対象車種の場合、ステアリングリモコンから本機を操作することができます。お買い上げ時には下記の機能がステアリングリモコンに設定されています。

- ハンドルとステアリングリモコンの形状、操作可能な機能やボタン表示などは車種によって異なります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ステアリングリモコンのボリュームアップ/ダウンキー以外のキーに本機の操作を割り当てることができます。「ステアリング」「ステアリングリモコンキー割り当て」(118ページ)を参照してください。

	オーディオの音量が大きくなります。押し続けると連続して変化します。 ナビゲーションの音声案内中は案内音量を調整します。
	オーディオの音量が小さくなります。押し続けると連続して変化します。 ナビゲーションの音声案内中は案内音量を調整します。
	ラジオ/テレビ: プリセットが1つずつアップします。 DVD: 映像の頭出しをします。押し続けると早送りをします。 テレビ・ラジオ以外: 曲の頭出しをします。押し続けると早送りをします。
	ラジオ/テレビ: プリセットが1つずつダウンします。 DVD: 映像の頭出しをします。押し続けると早戻しをします。 テレビ・ラジオ以外: 曲の頭出しをします。押し続けると早戻しをします。
	瞬時に音量が下がります。ミュート中にもう一度押すと元の音量に戻ります。
Source / MODE	オーディオソースを切りかえます。 ハンズフリー中は電話を受けたり、電話を切ったりできます。 1秒以上押すと瞬時に音量が下がります。ミュート中にもう一度1秒以上押すと元の音量に戻ります。 • 「ステアリングリモコンキー割り当て」設定(118ページ)が「する」に設定されている場合は、1秒以上押すとステアリングリモコンカスタムモード切りかえ動作になります。
	着信時に電話を受けます。 待ち受け中は、ダブルゾーンコミュニケーションモードになります。
	電話を切ります。 待ち受け中は、ダブルゾーンコミュニケーションモードになります。
	ボイスタッチワード一覧画面を呼び出します。

ステアリングリモコンに割り当てた機能进行操作する

ステアリングリモコン対象車種の場合、ステアリングリモコンに本機の操作を割り当てることができます。

- 機能を割り当てることができるステアリングリモコンのキーは、ボリュームアップ/ダウンキー以外のキーです。
- 機能割り当て操作は、「ステアリングリモコン」「ステアリングリモコンキー割り当て」(118ページ)を参照してください。

登録できる機能:

オーディオ画面表示・オーディオメニュー画面表示・ナビメニュー画面表示・地図表示/現在地表示/ルート案内・トラックアップ・トラックダウン・オーディオソース切替・電話に出る・電話を切る・ダブルゾーンコミュニケーション・VICS割込み情報・ミュート・画面OFF・TVをみる・自宅に帰る・後席個別ON/OFF・ダブルゾーンメニュー・ボイスタッチワード一覧・広域・詳細・割り込み画面のキャンセル・2画面切り換え

- 下記の機能は本機の本体スイッチと同様に動作します。

機能名	本機本体スイッチ
オーディオ画面表示	[AV]スイッチ
オーディオメニュー画面表示	[♪]スイッチ
ナビメニュー画面表示	[📍]スイッチ
地図表示/現在地表示/ルート案内	[現在地]スイッチ
トラックダウン	[◀◀]スイッチ
トラックアップ	[▶▶]スイッチ

1 ステアリングリモコンのSource(MODE)キーを1秒以上押す

- ステアリングリモコンカスタムモードになり、カスタムインジケータが点灯します。



カスタムインジケータ

2 機能を割り当てたステアリングリモコンのキーを押す

- ステアリングリモコンカスタムモードでは、長押し操作を行うことはできません。

3 ステアリングリモコンカスタムモードを解除するには、ステアリングリモコンのSource(MODE)キーを押す

- クイックセットアップで車種が設定されていない場合、設定された車種にステアリングリモコン設定がない場合、また「ステアリングリモコンキー割り当て」設定(118ページ)を「しない」に設定している場合は本機能を使用することはできません。

ナビ・オーディオ2画面表示

ナビ・オーディオを2画面で表示する

ルート案内画面を表示したまま音楽再生画面を表示するなど、ナビゲーションとオーディオの2つの画面を同時に表示することができます。



地図画面は、左右どちら側に表示された場合でも、ランドマークなどの地図表示設定の内容は1画面表示の地図と同じです

1 [2画面表示]をタッチする



1 画面表示に戻すには

■ 地図画面に戻す

1 [現在地]スイッチを押す、または地図画面をタッチする。

■ オーディオ画面に戻す

1 [AV]スイッチを押す、またはオーディオ画面をタッチする。

■ 映像画面(DVD・テレビなど)に戻す

1 [AV]スイッチを押す、または映像画面を2回タッチする。

画面の位置を入れかえる

ナビ画面とオーディオ画面を入れかえるには、左右どちらかの画面にタッチしたまま、もう片方の画面までドラッグしてから指を離します。



インジケータ表示について

本機の画面にインジケータでさまざまな情報が表示されます。



1 Wi-Fi設定インジケータ

- : Wi-Fi設定OFF(通信不可)
- : Wi-Fi設定ON(通信可能)

2 スマートフォンアプリリンクインジケータ

オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」との接続状態を表示します。

- : USBケーブルでの接続確立中
- : Bluetoothでの接続確立中
- : Wi-Fiでの接続確立中
- : 未接続

3 Bluetoothインジケータ

灰色は未接続、灰色点滅は接続試行時、青色は接続時、青色点滅は通信試行時です。

- : ハンズフリー通話用携帯電話登録時
- : Bluetooth オーディオ機器登録時
- : 携帯電話とオーディオ機器どちらも登録してある場合

4 Bluetooth電界強度インジケータ

- : 圏外
- (レベル0) ~ (レベル4): 電界強度をレベル0 ~ 4で表示します。

5 ドライブレコーダーインジケータ

- : ドライブレコーダー接続/常時録画中
 - : ドライブレコーダー接続/常時録画停止中
- ※ ドライブレコーダー未接続時は、インジケータは表示されません。

6 ETC2.0インジケータ

ディーラーオプションのETC2.0車載器接続時はETC2.0インジケータが表示されます。使用状態で色が異なります。

- (紫): ETC2.0車載器 / ETCカード使用可
- (ライトグレー): ETC2.0車載器使用可・ETCカード使用不可
- (ダークグレー): ETC2.0車載器使用不可

7 カスタムインジケータ

ステアリングリモコンカスタムモード時に点灯します。

8 プラズマクラスターインジケータ

本機では使用しません。



9 進捗バー

SDカードへの録音時(REC)、データインストール中に進捗バーが表示されます。



10 Bluetooth機器バッテリーレベル

- (レベル0) ~ (レベル4): バッテリー残量をレベル0 ~ 4で表示します。レベル1(20%以下)時はバッテリー残量を赤色で表示します。
- : 充電中(電話画面、Bluetoothオーディオ画面に表示)

オーディオソース情報マーク一覧

地図画面、オーディオ画面のインジケータに、情報アイコンが表示されます。

テレビ		チャンネル番号
ラジオ		周波数
DVD		チャプター番号
オーディオ		再生中の曲番号

文字入力のしかた

文字の入力は登録操作や場所の検索などで必要になります。本機はお好みのソフトウェアキーボードを選択することができます。

- 使用する機能によって表示される画面や手順が多少異なります。
- 施設や住所を名称から探すときは、キーボードの切りかえはできません。

キーボードの種類を選ぶ

1 50音 QWERTY 10キー いずれかにタッチしてソフトウェアキーボードの種類を切りかえる

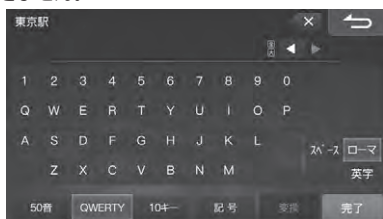
■ 50音入力

文字にタッチして入力します。



■ QWERTY入力

文字にタッチして入力します。日本語入力を行うことはできません。



■ 10キー入力

フリック入力とトグル入力を行うことができます。

<フリック入力>

いずれかのキーにタッチすると、キーに割り当てられた文字や数字、記号が表示されます。タッチしたまま文字が表示されている方向に指を動かすと文字を入力できます。



例)「あ行」を入力する場合

「あ」はタッチするだけで入力できます。例えば「う」は、「あ」をタッチしてそのまま上にフリックすると入力することができます。

<トグル入力>

同じキーに連続してタッチすると、キーに割り当てられた文字や数字、記号を入力できます。



例)「あ行」を入力する場合

「あ」はタッチするだけで入力できます。例えば「う」は、「あ」を3回連続してタッチすると入力することができます。「あお」と入力する場合は、「あ」に1回タッチ → ▶ にタッチ → ▶▶▶▶▶ に5回連続タッチします。

文字を入力する

ここでは登録地点の名称を入力する操作を、50音入力を例に説明します。

1 50音 QWERTY 10キー いずれかにタッチしてソフトウェアキーボードの種類を切りかえる

2 入力したい文字の種類をタッチする

選択できる文字種は **かな カナ 英数 記号** です。英数字や記号の場合は **半角** を選択できます。

- 拗音(ょ)や促音(っ)などを入力するときは **小文字** をタッチします。
- グレーアウトしているスイッチは操作できません。

3 入力したい文字や記号をタッチする

- 間違って入力した場合は **✕** にタッチして入力しなおします。 **✕** にタッチするたびにカーソルの左側から1文字ずつ文字が削除されます。 **✕** にタッチし続けると入力したすべての文字が削除されます。
- カーソルは、**◀ ▶** にタッチして移動します。

4 漢字に変換する場合は **変換** にタッチし目的の漢字を表示させる

別の漢字に変換するには、もう一度 **変換** にタッチします。

- 変換前の状態に戻すには **✕** にタッチします。
- 文節区切りを変更するには **◀ ▶** にタッチします。

5 **確定** にタッチする

漢字が確定されます。

- 確定したあとで修正する場合は **✕** にタッチして文字を削除し入力しなおします。 **✕** にタッチするたびにカーソルの左側から1文字ずつ文字が削除されます。 **✕** にタッチし続けると入力したすべての文字が削除されます。

6 **完了** にタッチする

文字入力を終了し元の画面に戻ります。

文節区切りを変更する

変換後(確定前)に **◀ ▶** にタッチすると変換対象とする文節の区切りを変更できます。

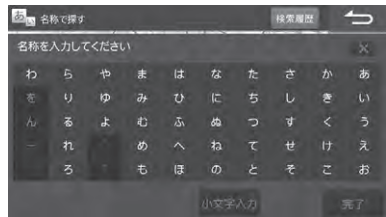
1 **◀ ▶** にタッチして区切り位置を変更する

- **◀ ▶** にタッチするたびに文節の長さが1文字ずつ増減します。

検索履歴を使用する

以前入力した文字列を利用して入力することができます。

1 **検索履歴** にタッチする



以前入力した文字列がリスト表示されます。

2 リストから希望の名称をタッチする

3 **完了** にタッチする

選んだ文字列が入力されている状態で文字入力画面に戻ります。

- 20件を超えた場合は古いものから順に削除されます。
- 選択した検索履歴を消去するには **消去** にタッチします。すべての検索履歴を消去するには **消去** にタッチし続けます。

2. ナビゲーション

画面の見かた

現在地画面の見かた

[現在地]スイッチを押すと地図に現在の車の位置(自車位置)を主体に見た地図が表示されます(現在地画面)。



1 時計表示

「時計表示設定(ナビ画面)」(120ページ)が「する」になっている場合、時計表示エリアをタッチすると表示が一時的にOFFになります。再度タッチすると時計表示ONになります。また、エンジンキーをOFF/ONすると一時的にOFFにしていた場合も時計表示ONになります。

2 VICSタイムスタンプ

VICSレベル3情報が提供された時刻を表示します。

- 大雨や大雪、大津波などの特別警報情報を受信した場合は特別警報アイコンを表示します。



3 方位マーク

地図の向き(方位)を表示します。ヘディングアップ・3Dマップ表示時は、先端が北の方向です。タッチするたびに地図の向きが切りかわります(33ページ)。

4 スケール表示

表示している地図の縮尺が表示され、100mの長さがこの場合は100mを示しています(34ページ)。

5 情報表示

操作スイッチがナビモードのときは路線名または現在地名、オーディオソースモードのときは現在のソースのソース名、タイトル名などの情報を表示します。

6 インジケータ(26ページ)

7 自車位置マーク

車の位置と向いている方向とを示します。自車マークは変更することができます(112ページ)。

8 ドライブレコーダー手動録画スイッチ

「手動録画タッチキー」(144ページ)で設定したスイッチが表示されます。

- にタッチすると録画を開始します。STOP にタッチすると録画を停止します。
- にタッチすると静止画が撮影されます。
- ※ ドライブレコーダー未接続時は、手動録画スイッチは表示されません。

ルート案内画面の見かた

ルートを設定するとルート案内画面に切りかわります。



1 到着情報表示

目的地案内中、目的地・経由地までの残距離や到着予想時刻を表示します。

2 VICSタイムスタンプ

VICS情報がある場合、タッチすると高速道路上のJCT(ジャンクション)やIC(インターチェンジ)の混雑状況がわかる高速渋滞情報画面を表示します。



3 ルート表示

目的地までのルートを青色で表示します。

4 レーン(車線)表示

レーン情報のある交差点の手前では、走行する交差点までの距離とレーン図を表示します(47ページ)。

5 案内ポイント

交差点案内が表示される交差点に表示されます。レーン情報がある直進の交差点では ● を、案内する交差点では ○ を表示します。

6 直線誘導線

現在地から見た目的地の方向をピンク色の直線で示します(112ページ)。

ナビ操作/オーディオ操作スイッチについて

地図画面下部の操作スイッチは、切換スイッチにタッチするたびに操作スイッチ内容も変わります。操作スイッチ表示をOFFにすることもできます。



切換スイッチ

■ ナビ操作モード1



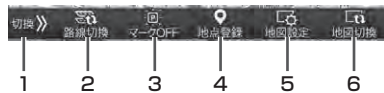
- 1 タッチするとオーディオソース操作モードに切りかわります。
- 2 自宅までのルートを引き、ルート検索結果画面を表示します。自宅が登録されていない場合は、自宅登録画面が表示されます。
- 3 路線名/現在地名を表示します。タッチするとオーディオソース操作モードに切りかわります。[現在地]スイッチを押すと路線名/地名表示を切りかえることができます。
- 4 現在地周辺の、「お気に入り」に登録している施設を検索することができます。ルート案内中は「ルート周辺」「目的地周辺」の施設を検索することもできます。
- 5 ルートの確認・編集を行うことができます。

■ オーディオソース操作モード



- 1 タッチするとナビ操作モード2に切りかわります。
- 2 タッチすると瞬時に音量が下がります。ミュート中は音量表示インジケータが点滅します。
- 3 タイトル/ソース名称、チャプター番号/曲番号/受信チャンネル/受信周波数が表示されます。タッチするとナビ操作モード1に切りかわります。
- 4 選局/選曲操作を行います。音楽ソースによっては表示されません。

■ ナビ操作モード2



- 1 タッチするとボイスタッチワード表示に切りかわります。
- 2 ルート案内中、自転車位置を修正します。自転車位置が高速道路にある時は並走する一般道路、一般道路にある時は並走する高速道路に自転車位置を切りかえます。
- 3 地図上のランドマーク表示/非表示をワンタッチで切りかえることができます。ランドマークで地図が見づらいときはマーク表示をOFFにしてください。ランドマーク表示時は **マークOFF**、ランドマーク非表示時は **マークON** と表示されます。
- 4 タッチすると現在の地点を地点登録します。
- 5 地図設定画面が表示されます。
- 6 地図の表示方法切換画面が表示されます。1画面、2画面、行程ガイドを選択できます。

■ ボイスタッチワード表示



- 1 タッチすると操作スイッチ表示がOFFになります。
- 2 ボイスタッチワード

■ 操作スイッチOFFモード



- 1 タッチするとナビ操作モード1に切りかわります。

ナビ操作モード/オーディオ操作モード切りかえについて



タッチするとナビ操作モードとオーディオ操作モードを切りかえることができます。

地図を操作する

地図をスクロールする

フリック操作/ドラッグ操作で地図をスクロールします。

フリック操作

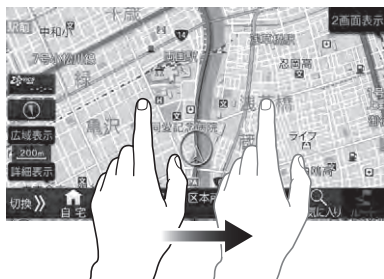
画面を指で軽くはらう(フリックする)ように動かすと、地図画面がフリックした方向に移動します。



- 指をはらう(フリックする)速度に応じて移動する長さが変わります。

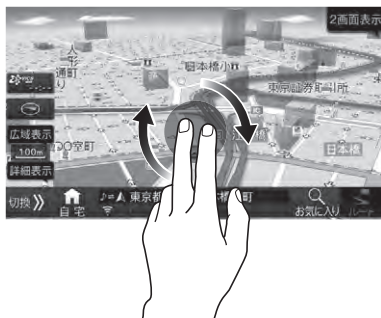
ドラッグ操作

画面を指でタッチしたままなぞる(ドラッグする)ように動かすと、地図画面が指の動きに合わせて移動します。



地図を回転させる

画面を2本の指でタッチしたまま円を描くように指を回転させると、画面中央を基点に地図画面が回転します。3Dマップで立体表示させたビル影になっている場所を確認したい時などに便利です。



- 地図の回転に合わせて方位マークも回転します。
- 地図の回転中に指の間隔を変えると縮尺が変更できません。
- 2画面表示の場合は、左画面でのみ回転操作ができません。回転操作を開始すると全画面表示に切りかわります。

方位を切りかえる

常に北方向を上にして表示する地図(ノースアップ)と、進む方向を上にした地図(ヘディングアップ)があります。また、立体的な地図(3Dマップ)に切りかえることもできます。

1 方位マークにタッチするたびに、地図の向き(方位)が切りかわる

- ノースアップ → ● ヘディングアップ →
- 3Dマップ →

■ ノースアップ

北方向が画面の上になる地図です。



■ ヘディングアップ

進行方向が画面の上になる地図です。



■ 3Dマップ

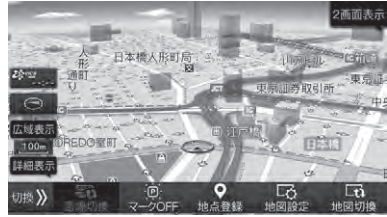
ヘディングアップの状態而立体的な地図(3Dマップ)を表示します。



3Dマップの角度を変更する

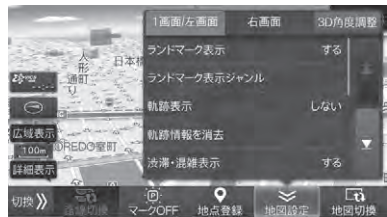
3Dマップを表示しているときの視点の角度をかえることができます。

1 現在地画面で **地図設定** にタッチする



- **地図設定** が表示されていないときは、**切換>>** または **ON>>** にタッチして表示させてください。

2 **3D角度調整** にタッチする



3 **🏠** または **🏠** にタッチして角度を調整し、調整が完了したら **↩** にタッチする



縮尺を切りかえる

スケールバーの操作

地図を拡大または縮小して表示します。地図画面に表示される情報は縮尺によって異なります。一方通行などは地図を拡大して詳細地図にすると表示されます。

1 現在地画面で **広域表示** または **詳細表示** にタッチする



市街地図が収録されている都市では50m以下のスケールにすると市街地図を表示し、さらに詳細な道路・建物形状・建物名称などが表示されます。

- **広域表示** または **詳細表示** をタッチすると13段階で縮尺が切りかわります。**広域表示** または **詳細表示** をタッチし続けると、無段階で縮尺を切りかえます。

ピンチイン/ピンチアウト操作

ピンチイン/ピンチアウト操作で地図のスケールを変更することができます。

■ ピンチイン

広域地図を表示します。2本の指で画面にタッチしたまま、指を近づけます。



■ ピンチアウト

詳細地図を表示します。2本の指で画面にタッチしたまま、指を広げます。



地図表示方法を切りかえる

地図画面で **地図切換** をタッチすると地図切換アイコン画面がポップアップ表示されます。地図画面の表示のしかたを1画面・2画面・行程ガイドから選択できます。



■ 1画面

地図を1画面で表示します。

■ 2画面

地図画面を左右に分割します。縮尺を変更して詳細スケールと広域スケールの2画面を表示させたり、3D市街地図とノースアップ地図とを組み合わせることなどができます。



- 2画面表示のときに左右の自転車位置が若干ずれることがあります。これは左右別々に描画しているためで故障ではありません。
- 2画面表示のとき左右両画面で同時に3Dマップを表示することはできません。
- 高速・有料道路モード地図は左画面にのみ表示されます。













■ 行程ガイド

目的地案内中に、走行中のルートの簡易行程図を表示します。行程ガイド画面では、交差点や高速道路のインターチェンジ・SA/PAなどが現在地に近いほうから表示されます。



- 行程ガイド画面に表示されるマークについては「行程ガイドマーカー一覧」(36ページ)および「行程ガイド施設マーカー一覧」(36ページ)を参照してください。
- ▲ ▼ をタッチすると前後の行程を表示します。タッチし続けると連続して行程ガイドをスクロールします。行程ガイドを現在の位置に戻すには[現在地]スイッチを押します。
- ジャンクション間の混雑状況を表示することができません(49ページ)。

行程ガイドマーク一覧

	現在地		高速道路降り口		パーキングエリア (PA)
	目的地		料金所		ジャンクション (JCT)
	経由地		インターチェンジ (IC)		案内交差点
	高速道路入り口		サービスエリア (SA)		フェリー乗り場

行程ガイド施設マーク一覧

	ガソリンスタンド		ドラッグ		宝くじ
	温泉施設		ハイウェイ情報ターミナル		名産(ショッピングセンター)
	FAX		ベッド(宿泊施設)		キャッシュコーナー
	インフォメーション		ポスト		トイレ
	お風呂		レストラン		自動販売機
	コインシャワー		休憩所		公衆電話
	コインランドリー		軽食		金融関連
	コイン洗車		身障者施設		郵便局
	コーヒー		ベビーベッド		

- 一部のガソリンスタンド、コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ファーストフード、ラーメン店などではブランド別のアイコンが表示されます。

地図設定について

地図に表示する内容などを設定することができます。設定内容については、「地図表示設定」(110ページ)を参照してください。

1 現在地画面で **地図設定** にタッチする

地図設定画面が表示されます。

2 **1画面/左画面** または **右画面** タブにタッチする

地図に表示する内容などを左画面(1画面)と右画面で個別に設定することができます。



目的地を設定してルートを探索する

ルートを引いてナビゲーションを使う

ナビゲーションを使用するには目的地を検索してルートを決めます。目的地はさまざまな方法で探し出せますが、ここでは都道府県から住所を絞り込んで目的地を設定し、ルートを探索して案内開始するまでの流れを説明します。

1 [🔍]スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、住所にタッチする



住所リスト画面が表示されます。

2 地方名タブにタッチし都道府県名にタッチする



3 50音タブにタッチし、市町村名→町名→丁目→番地などを順に選ぶ

検索した住所周辺の地図が画面右側に表示されます。

4 目的地にタッチする



目的地までのルート探索が行われ、探索終了後、探索結果画面が表示されます。

5 選択したいルートにタッチする



ルート探索条件は「クイックセットアップ」(2ページ)、「優先探索ルート」(115ページ)で設定したルートとなります。別のルートを選択することもできます。ルート探索条件について詳しくは「ルートを選択する(6ルート)」(45ページ)を参照してください。

6 案内開始にタッチする、または走行を開始すると現在地画面を表示しルート案内を開始する

複数地点に行きたいときは、ルート設定後に経由地を設定してください。「経由地を設定する」(43ページ)、「目的地を追加する」(43ページ)を参照してください。コンビニやガソリンスタンドなど、現在地やルート周辺にあるよく使う施設を簡単に検索することもできます。「お気に入り」で周辺を検索する(41ページ)を参照してください。

自宅へ帰る

自宅が登録されていれば、簡単な操作で自宅を目的地に設定できます。

1 現在地画面で **自宅** にタッチする



2 **案内開始** にタッチする、または走行を開始する

- 自宅が登録されていない場合は、自宅設定画面になります(2ページ)。自宅の位置まで地図をスクロールして **登録** をタッチすると自宅が登録されます。または地点登録画面 - **特別地点** から登録することができます(53ページ)。

ナビメニュー画面から操作する

1 [⏏]スイッチを押してナビメニュー画面を表示する

2 **自宅** にタッチする

自動的に現在地から自宅までのルートを探して設定します。

ナビメニューから目的地を検索する

施設の名称や住所などから目的地を探してルート案内を開始します。

1 [⏏]スイッチを押してナビメニュー画面を表示する



2 **検索** タブにタッチし、ナビメニュー検索画面から探索方法を選んで目的地を探す



施設の地図が表示されます。

- その他検索** にタッチすると表示されていない検索方法が表示されます。

3 施設などをタッチして選び、**目的地** にタッチする



目的地までのルート探索が行われ、探索終了後、探索結果画面が表示されます。

4 走行するか、案内開始にタッチすると現在地画面を表示しルート案内を開始する

住所から探す

都道府県名から順に住所を選んで目的地を探します。

- 町名・丁目・番地などの選択画面で「数字入力」をタッチすると、番地などを直接入力することができます。

名称から探す

施設名の先頭から数文字分の読みを入力して目的地を探します。読みは数字や英字もかなで入力してください。

例)「1」→「いち」・「Z」→「ぜっと」

- 濁点や半濁点などを省略しても検索できます。大文字を小文字で、小文字を大文字で入力しても検索されます。
- 該当する施設が表示されないときは別の読み方で再度検索してください。登録されている名称は通称とは異なる場合があります。
- 件数が多い場合は、ジャンルや地域を指定したりキーワードを入力したりして絞り込むことができます。
- 検索結果のリスト画面を距離順、または50音順に並べかえることができます。「距離順」▼にタッチしてから「50音順」にタッチすると、リストが50音順表示になります。「50音順」▼にタッチしてから「距離順」にタッチするとリストが距離順表示になります。
- 文字入力のしかたについては27ページを参照してください。

電話番号から探す

電話番号を入力して目的地を探します。施設の電話番号のほか、個人の電話番号からも検索できます。

- 電話番号は市外局番から入力してください。
- 入力した電話番号が個人の電話番号と一致したときは個人名入力画面が表示されます。名字をひらがなで入力してください。入力した電話番号が電話帳の名字と一致しない場合は検索できません。
- 電話番号が正確にはわからないときは、市外局番と市内局番のみを入力しておおよその地図を表示し、そこから地図を動かして目的の施設などを探すことができます。

周辺施設から探す

現在地周辺・ルート周辺・案内地周辺の施設をジャンルから探します。

- ルート周辺と案内地周辺は目的地を設定していないと選択できません。
- 現在地周辺・ルート周辺検索の場合は現在地から近い順に、案内地周辺検索の場合は案内地から近い順に最大40件まで表示されます。

- 駐車場を検索したときは、駐車場のリスト画面で「車両情報考慮」をタッチすると車体の大きさや車高を考慮して駐車場を探すことができます。あらかじめ車種の情報を登録しておいてください(123ページ)。
- ガソリンスタンド、デパート、コンビニエンスストアを検索したときは、施設のリスト画面で「営業時間考慮」をタッチして時刻を入力すると、営業中かどうかを確認することができます。「指定無し」をタッチすると、営業時間に関わらず施設を表示します。

緯度経度から探す

緯度・経度を入力して目的地を探します。

- 緯度や経度が一桁のときは「0」のように頭に「0」を付けて二桁で入力してください。

郵便番号から探す

郵便番号で検索すると代表地点の地図が表示されます。

- 郵便番号は7桁で入力してください。
- さらに住所を絞り込みたいときは代表地点の地図上で「住所検索」をタッチすると住所を指定して目的地を検索できます。

ジャンルから探す

ジャンルと都道府県名を選んで目的地を探します。

- 充電スタンドまたは駐車場を検索したときにVICS情報がある場合、本機内蔵データまたはVICS情報を選択して検索することができます。本機内蔵データから検索する場合は「充電スタンドデータ」または「駐車場データ」、VICS情報から検索する場合は「VICS充電施設情報」または「VICS駐車場情報」のいずれかにタッチし検索してください。VICS情報については「VICS情報の表示例」(58ページ)を参照してください。
- 検索結果のリスト画面を距離順、または50音順に並べかえることができます。「距離順」▼にタッチしてから「50音順」にタッチすると、リストが50音順表示になります。「50音順」▼にタッチしてから「距離順」にタッチするとリストが距離順表示になります。
- 目的地に設定した回数の多いジャンル、施設はリストの上部に表示されます。

マップコードから探す

レジャーガイドなどに掲載されているマップコードを使って目的地を探します。

- マップコードとは日本全国の位置情報を6桁～10桁の数字で表したものです。10桁までの標準マップコードに加え、「*」のあとに2桁まで追加することで高度な検索ができます。住所や電話番号では特定できない河川や観光地もマップコードを指定すると目的地として設定できます。
- マップコードは以下のホームページでも調べることができます。

<http://www.e-mapcode.com>

住所名称から探す

観光地などおよその目的地はあってもそこの施設名を特定していないようなときや、目的地の住所が正確にはわからないようなときは、地名の読みを入力して代表地点の地図を表示し、地図を動かして目的地を探ることができます。

- 濁点や半濁点などを省略しても検索できます。大文字を小文字で、小文字を大文字で入力しても検索されます。
- 件数が多い場合は絞り込みできない場合があります。
- 文字入力のしかたについては27ページを参照してください。

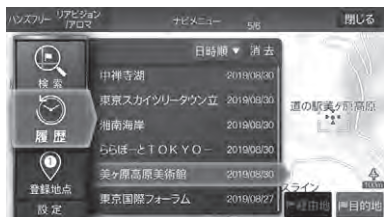
履歴を使用して検索する

過去に設定した目的地や経由地を再度目的地に設定することができます。目的地履歴は新しいものから順に最大200件まで記録されます。

1 [🔍]スイッチを押してナビメニュー画面を表示する



2 履歴 タブにタッチし、表示された履歴リストから希望の施設にタッチする



- 日付順または頻度順で並べかえることができます。 **日付順▼** または **頻度順▼** のいずれかにタッチしてから希望の表示方法にタッチしてください。
- **目的地** にタッチすると、選択した地点までのルートを探索します。

3 選択中の施設に再度タッチするか、画面右側の地図にタッチする

地点の地図が表示されます。



4 目的地 にタッチする

目的地までのルート探索が行われ、探索終了後、探索結果画面が表示されます。

5 走行するか、案内開始 にタッチすると現在地画面を表示しルート案内を開始する

- 目的地履歴には施設や地点名称と過去の設定日付が表示されます。
- リストから目的地履歴を選んで **消去** をタッチすると、選択した地点を消去できます。 **消去** をタッチし続けるとすべての履歴を消去できます。

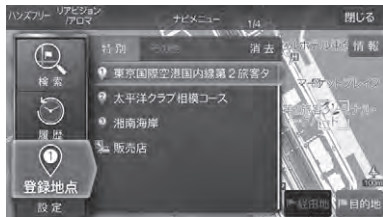
登録地点を検索する

よく行く場所を特別地点に登録しておく、簡単な操作で目的地に設定できます。地点登録方法は「地点登録」(53ページ)を参照してください。

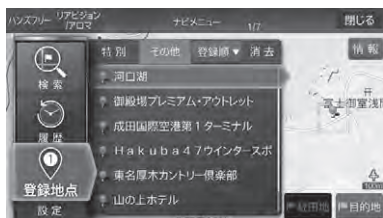
1 [🔍]スイッチを押してナビメニュー画面を表示する



2 登録地点 タブにタッチし、特別 または その他 タブにタッチする



3 地点を選んでタッチする



地点の地図が表示されます。

4 目的地 にタッチする

目的地までのルート探索が行われ、探索終了後、探索結果画面が表示されます。

5 走行するか、案内開始 にタッチすると現在地画面を表示しルート案内を開始する

- 登録地点のリスト画面で **その他** を選択すると、登録順・マーク順・距離順に並べかえることができます。 **登録順** **マーク順** **距離順** のいずれかにタッチしてから希望の表示方法にタッチしてください。

「お気に入り」で周辺を検索する

現在地・ルート・目的地周辺のよく使う施設(コンビニエンスストア(コンビニ)・ファーストフード・ファミリーレストラン・ガソリンスタンド・駐車場)を簡単に検索することができます。

- 自車位置がある都道府県の設置店舗数1位と2位のコンビニとガソリンスタンドアイコンが必ず表示されます。それ以外の4つのアイコンはカスタマイズが可能です(42ページ)。

1 [現在地]スイッチを押して お気に入り にタッチする

2 行きたい施設アイコンにタッチする

- 全てのコンビニ** **駐車場全て** にタッチすると全てのコンビニエンスストア・駐車場を検索することができます。
- その他ジャンル** をタッチすると現在地周辺の全ての施設を検索することができます。



3 地点を選んでタッチする



- 施設リストが現在地から近い順に表示されます。
- 目的地がすでに設定されている場合は、ルート周辺にある施設を最初に検索します。 **目的地** タブにタッチすると目的地周辺の施設リストを表示することができます。
- 検索範囲を変更することができます。 **検索範囲** にタッチし、 **広域** または **標準** にタッチして切りかえます。 **広域** にタッチすると、より広い範囲の施設を検索します。

4 目的地 にタッチする

目的地までのルート探索が行われ、探索終了後、探索結果画面が表示されます。

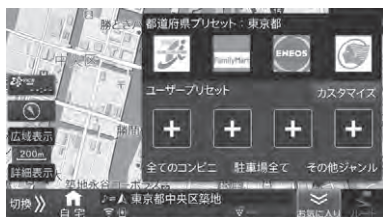
5 走行するか、案内開始 にタッチすると現在地画面を表示しルート案内を開始する

「お気に入り」をカスタマイズする

お気に入り周辺検索画面に表示されるブランドのアイコンを4つまで追加することができます。

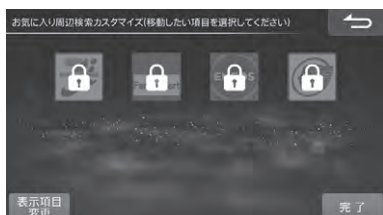
- 現在のコンビニとガソリンスタンドの都道府県設置店舗数1位、2位のアイコンが設定されています。さらに好みのブランドを4つ選択することができます。

1 カスタマイズ にタッチする



カスタマイズ画面が表示されます。

2 表示項目変更 にタッチする



3 リストからアイコンを最大4つまで選択して、完了 にタッチする



カスタマイズ画面に戻ります。



- アイコンの位置を変更できます。カスタマイズ画面で位置を入れかえたいアイコンを2つ続けてタッチすると、アイコンの位置が入れかわります。

4 選択が終わったら 完了 にタッチする

地図から目的地を検索してルートを探る

地図上の任意の地点を目的地に設定してルート案内を開始します。

1 地図をスクロールして目的地にしたい地点を表示し、タッチする



2 目的地 にタッチする



3 案内開始 にタッチする

- ルート探索条件はクイックセットアップ(2ページ)、優先探索ルート(115ページ)で設定したルートとなります。
- 他の探索条件のルートを選択することができます。他ルートについて詳しくは45ページを参照してください。

- 設定されたルートの詳細は「ルートの確認・編集を行う」(50ページ)で確認してください。

経由地を設定する

目的地に向かう途中で経由したい地点を設定します。経由地は最大5か所まで設定できます。

1 検索・スクロール後の画面で、**経由地**にタッチする

経由地リストが表示されます。

2 **未登録** にタッチする



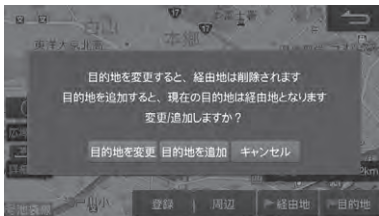
- ルートが自動的に再探索され、案内が開始されます。
- 経由地は「経由地編集」(51ページ)でも設定できます。
- すでにセットされている経由地をタッチすると、新たに指定した経由地が上書きされます。

目的地を追加する

すでに設定されている目的地を経由地に変更して、新たに探索した地点を目的地に設定することができます。

1 目的地探索結果画面で **目的地** にタッチする

2 **目的地を追加** にタッチする



- 経由地が5箇所設定されている場合は、**目的地を追加** は表示されません。
- 目的地を変更** にタッチすると、すでに設定されている目的地・経由地をすべて削除して新しい目的地に設定します。

目的地周辺の施設を経由地として探索する

目的地探索結果画面から、周辺の施設を経由地に設定することができます。経由地は最大5か所まで設定できます。

1 目的地探索結果画面で **周辺** にタッチする



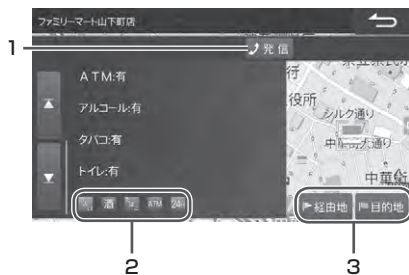
2 ジャンルを選択し、表示された施設リストから希望の施設にタッチする



- 表示されていないジャンルを選択する場合は **その他ジャンル** から選択してください。
- 検索範囲を指定することができます。 **検索範囲** にタッチして、**標準** または **広域** にタッチしてください。



3 経由地 にタッチする



4 経由地1～5いずれかの「未登録」にタッチする



- ルートが自動的に再探索され、案内が開始されます。
- 経由地は「経由地編集」(51ページ)でも設定できます。
- すでにセットされている経由地をタッチすると、新たに指定された経由地が上書きされます。

施設の情報画面について

検索時にリスト表示された施設の詳細情報を見ることができます。

1 施設のリスト画面で「情報」にタッチする



施設の情報画面が表示されます。

- **提携P** をタッチすると、施設と提携している駐車場を選ぶことができます。

- 1 携帯電話を接続しているときは施設に電話をかけることができます(92ページ)。
- 2 コンビニエンスストア、ファーストフード店の詳細情報(24時間営業・ATMなど)がアイコンで表示されます。
- 3 目的地、経由地に設定することができます。

ルート探索結果画面の操作

ルート探索結果画面は目的地や経由地を設定すると自動的に表示されます。ルート選択については「ルートを選擇する(6ルート)」(45ページ)を参照してください。



- 1 **インターチェンジ名**
利用するインターチェンジを変更したいときにタッチします。利用したいインターチェンジを選擇して、**決定** にタッチします。
 - インターチェンジを変更すると入口・出口インターチェンジが経由地として設定されます。
 - 経由地削除を行うとインターチェンジの変更も解除されます。
- 2 **規制考慮**
冬期は通行止めになるなど、設定したルートに季節規制のある区間が含まれる場合、通行止めの区間を回避したいときにタッチするとルートが再探索されます。
 - 冬期閉鎖区間を考慮してルート探索するかどうかをあらかじめ設定しておくこともできます(116ページ)。
- 3 **案内開始**
ルート案内が開始されます。
 - 選擇されているルートで **案内開始** をタッチせずに行進してもルート案内を開始します。

ルートを選択する(6ルート)

目的地を設定すると表示されるルート探索画面で、お好みのルートを選択できます。



1 推奨

VICS情報、ルート学習情報、目的地への到着時間と料金バランスなどを考慮したルートが探索されます。

2 一般

できるだけ一般道路を通るルートが探索されます。

- 自転車位置が有料道路にある場合など有料道路を通った方が良いと判断される場合は、有料道路を通るルートを探ることがあります。

3 チューニング

推奨ルートをベースとして、有料道路優先(全般)・有料道路優先(近距離)・広い道路優先・渋滞回避優先の各パラメーターをお好みでチューニングしたルートが探索されます。

- パラメーター調整については、「ルートチューニング」(115ページ)を参照してください。

4 幹線

できるだけ幹線道路を通るようにルートが探索されます。

5 燃費

燃料消費量を節約するルートが探索されます。

- 燃費優先ルートが選択されている場合は、ルート探索時間が長くなることがあります。

6 別ルート

推奨・一般・チューニング・幹線・燃費以外のルートが探索されます。

- 他のルートと同じルートを探索する場合があります。

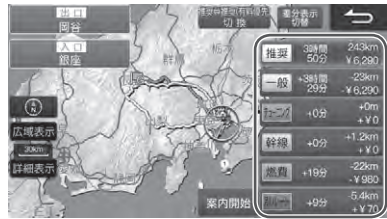
7 推奨⇄推奨(有料優先)切換

推奨ルートと、有料道路優先推奨ルートを切りかえます。推奨ルート選択時のみ操作可能です。

- 推奨ルートの初期設定を有料道路優先にあらかじめ設定することができます(「有料道路優先」115ページ)。

8 差分表示切換

選択しているルートと比較して、他のルートの所要時間/料金/距離の差分を表示します。再度タッチすると元の表示に戻ります。



ルートの確認・編集

ルート案内方法

目的地までのルート走行中、さまざまな表示や音声によって案内します。

交差点拡大図表示

ルート案内中に案内ポイントが表示されている交差点が近づくと、交差点拡大図が表示されます。



1 到着情報表示(49ページ)

2 交差点名・交差点のレーン案内

3 キャンセルスイッチ

タッチすると拡大図が消え、ルート案内画面に戻ります(拡大図画面内をタッチすることでも案内が消えます)。

- 案内の内容を再表示したいときは案内ポイントを通過する前に[現在地]スイッチを押してください。

4 交差点右左折の矢印表示

- 音声案内設定が信号・交差点案内設定時には、残信号・交差点が表示されます。

5 交差点までの距離

- 案内される信号・交差点の数は、お車の走行状態により実際の数とずれが生じる場合があります。
- [音声案内設定](113ページ)が信号・交差点案内設定時には、地図データ収録の信号機データをもとに残信号・交差点数を表示・案内します。ただし実際の道路状況と異なる場合や、距離で案内する場合があります。信号機データ収録地域については、アルパインホームページを参照してください。
- 音声案内の長さを設定することができます(「音声案内の長さ変更」113ページ)。

ビッグアロー表示

交差点案内図を、矢印で進行方向を表示するビッグアロー表示に設定することができます。案内は、信号・交差点の数か、交差点までの距離で行い、交差点までの距離に応じて、矢印の色が青色→黄色→橙色に変化します。

■ 信号・交差点案内



■ 残距離案内



- 交差点案内方法を、交差点拡大図にするかビッグアロー表示にするか設定できます(「案内図表示」114ページ)。
- ビッグアロー表示時の交差点案内方法を、信号・交差点案内か残距離案内かに設定することができます(「音声案内設定」113ページ)。
- 交差点接近を信号の数で案内する場合、目印となる施設を音声で案内するか設定できます(「カウントダウン目印フリーズ」113ページ)。
- ビッグアロー案内で表示される交差点形状は、実際の道路形状と異なる場合があります。

リアル3D交差点拡大表示

リアル3D交差点情報のある交差点が近づくと、よりリアルな拡大図が表示されます。



- 約700m手前になると音声案内が、約300m手前になると拡大画面が表示されます。
- リアル3D交差点拡大図を表示するかどうかを設定できます（「詳細案内図表示」114ページ）。

高速入口案内図

情報のある都市高速の入り口が近づくと拡大して表示されます。



- 約700m手前になると音声案内が、約300m手前になると拡大画面が表示されます。
- 高速入口案内図を表示するかどうかを設定できます（「詳細案内図表示」114ページ）。

高速分岐案内

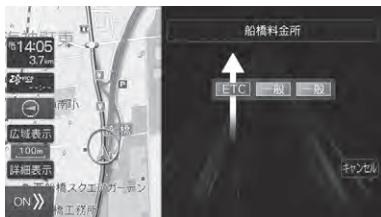
有料道路や高速道路を走行中に情報のある分岐点（JCT）が近づくと表示されます。レーンごとに方向が表示されます。



- 約2000m手前になると音声案内が、約1000m手前になると拡大画面が表示されます。

ETCレーン表示

ETCレーン情報のある料金所が近づくと表示されます。ETC2.0車載器にETCカードが装着されている場合はETCレーンに矢印が表示されます。



- ETCレーンを表示するかどうかを設定できます（「料金所ゲート案内」114ページ）。

レーンガイド表示

レーン情報のある分岐交差点が近づくと（約10km以内）、交差点までの距離と走行レーンが表示されます。

- レーンガイドを表示するかどうかを設定できます（「レーンガイド表示」114ページ）。
- 一般道路上走行中、次以降の交差点で右左折する場合、走行を推奨する1つのレーンを青く表示します。ただし、右左折する交差点までの距離がある場合などは推奨レーン表示を行いません。



- 1 次の交差点での走行レーン
- 2 次の交差点以降の右左折交差点のレーンガイド
- 3 レーン情報がある交差点は ● が表示されます。右左折する場合は交差点拡大図が表示されるタイミングで ○ が表示されます。
- 4 次の交差点までの距離

方面看板表示

方面看板情報のある交差点の約700m手前になると方面看板が表示されます。



- 方面看板を表示するかどうかを設定できます(「方面看板表示」114ページ)。

ハイウェイモード表示

高速道路に入ると自動的にハイウェイモードに切りかわります。ハイウェイモードではインターチェンジやサービスエリアの情報が表示されます。



- ハイウェイモードを解除するには、**地図切換** をタッチし、地図切換画面で **1画面** または **2画面** を選択してください。
- ハイウェイモードを自動で表示するかどうかを設定できます(「自動ハイウェイモード」112ページ)。
- **高速渋滞** にタッチすると高速渋滞モード画面(49ページ)が表示されます。

フェリー航路表示

フェリーが利用できる場合はフェリーターミナルまでルート案内されます。フェリーを降りるとルート案内が再開されます。



- フェリー航路は---(破線)で表示されます。画面にフェリー航路が表示されていてもルート検索の対象外航路の場合があります。
- ルート探索のときにフェリー航路を含まないように設定することもできます(「フェリー使用」116ページ)。

細街路案内表示

細街路を走行すると自動で2画面表示に切りかわり、右画面に25m市街地図を表示して細街路案内を行います。



- 細街路案内表示を解除するには、**[現在地]** スイッチを押してください。
- 細街路案内地図を自動で表示するかどうかを設定できます(「細街路オートスケール」112ページ)。

行程ガイド表示

■ 行程ガイド



■ 高速渋滞モード



ルート案内中に高速道路上のジャンクションやインターチェンジの混雑状況を表示できます。行程ガイド表示中に **高速渋滞** にタッチするとジャンクション混雑状況を表示する高速渋滞モードに切りかわり、それぞれの距離および所要時間を示す数字の色が混雑状況に応じて変化します。

- 数字は、順調の場合は緑色・混雑の場合は橙色・渋滞の場合は赤色・不明の場合は白色、で表示されます。
- VICSの渋滞情報を受信していない場合は、高速渋滞モードを表示できません。
- ルートを設定していない場合は走行中の路線にあるジャンクション名のみを表示します。
- **行程** にタッチすると行程ガイド画面に戻ります。
- **▲** にタッチすると先の情報を表示し、**▼** にタッチすると手前の情報を表示します。

到着情報表示

ルート案内中に目的地までの残距離と到着予想時刻が表示されます。



- 経由地やフェリー航路が設定されている場合は、タッチするとそれぞれの残距離と到着予想時刻が表示されます。

ルート情報画面案内地点マーカー一覧

	目的地
	経由地
	フェリー乗り場
	料金所
	JCT
	高速道路入口
	高速道路出口
	現在地

音声案内について

ルート案内中は案内ポイントの音声案内に加えて以下のような音声案内を行うことができます。音声案内を聞き逃したときなどは、任意のタイミングで**【現在地】**スイッチを押すと聞くことができます。




料金案内

有料道路や高速道路の出口料金所手前で料金が音声で案内されます。

- 正しい料金が案内されるようあらかじめ車種の情報を登録してください(「車両情報」114ページ)。
- 高速道路走行中にルートを変更したときは、料金案内はされません。

合流案内・踏み切り・狭路

合流地点・踏み切り・道幅が狭い道路がある場合、音声とアイコンでお知らせします。

合流案内	
踏み切り	
狭路	

- 音声案内はルート案内中のみです。
- 合流地点・踏み切り・道幅が狭い道路を案内するかどうかを設定できます(「合流案内」「踏み切り案内」「狭路進入案内」113、114ページ)。

県境

都道府県の県境を越えるときに音声でお知らせします。

- 音声案内はルート案内中のみです。
- 県境を案内するかどうかを設定できます(「県境案内」113ページ)。

案内地点までの残距離

案内地点までの残距離が10km以内になったときに音声でお知らせします。

- 案内地点までの残距離を案内するかどうかを設定できます(「残距離音声案内」114ページ)。

到着予想時刻

目的地や経由地の到着予想時刻を音声でお知らせします。

- 到着予想時刻を案内するかどうかを設定できます(「到着予想時刻音声案内」114ページ)。

ルートの確認・編集を行う

ルート案内中に、ルートの確認やルートの編集を行うことができます。

1 ルート案内中の現在地画面で **ルート** にタッチする

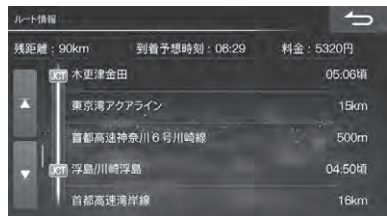
ルート画面を表示します。



- 走行中は安全のため「ルート情報」・「デモ走行」はタッチできません。安全な場所に停車してから操作してください。

ルート情報

目的地までの全ルートを高速道路のインターチェンジや経由地などで分割し、それぞれの区間距離や高速道路などの料金やインターチェンジの通過予想時刻などを一覧で表示します。



- 道路によっては料金が表示されない場合があります。
- 料金は設定した車両情報から計算していますが、通行料金の変更などにより実際の料金と異なることがあります。
- 到着予想時刻は設定した車速(「到着予想時刻速度設定」114ページ参照)やVICS旅行時間を考慮して計算していますが、走行条件などにより誤差が生じることがあります。
- ルート情報で確認できる案内地点とマークについては、「ルート情報画面案内地点マーク一覧」(49ページ)を参照してください。

乗り降りIC変更

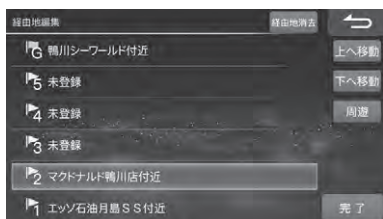
ルート案内中に利用するインターチェンジを変更することができます。



- 利用したいインターチェンジを選択して、**決定** にタッチします。
- 経由地が設定されている場合は、IC変更操作を行うことはできません。
- インターチェンジを変更すると、入口/出口インターチェンジが経由地として設定されます。

経由地編集

経由地を編集します。



- **未登録** を選択して **探して登録** をタッチすると経由地をナビメニューから検索できます。
- **経由地消去** をタッチすると選択した経由地を消去します。経由地を消去すると自動的にルートの再探索が行われます。探索条件は削除された経由地までの条件が新しい区間に適用されます。
- **上へ移動** または **下へ移動** をタッチすると目的地・経由地の順番を入れかえることができます。
- 経由地が2か所以上設定されている場合に、目的地・経由地を選択すると **探して探索** が **周遊** に変わります。 **周遊** をタッチすると経由地を近い順に並べることができます。

全ルート表示

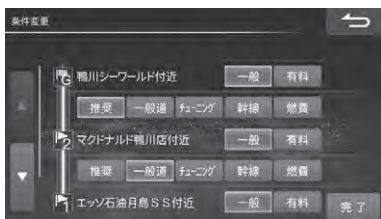
現在地から目的地までのルートと、乗り降りするインターチェンジが表示されます。

- 全ルート表示ではスクロール・方位変更・縮尺変更が行えます。3Dマップへの切りかえはできません。
- ルートの一部が画面に表示されない場合があります。



条件変更

探索条件を変更します。経由地を設定している場合は、経由地までの区間ごとに探索条件を変更することができます。また有料道路が近接している地点を目的地や経由地に設定したとき、誤って一般道路上または有料道路上に設定してしまった場合に地点属性を変更できません。



- 設定した目的地や経由地の近くに一般道または有料道路がある場合に **一般**・**有料** をタッチすると、目的地や経由地を一般道路上または有料道路上に切りかえます。
- **推奨**・**一般道**・**チューニング**・**幹線**・**燃費** をタッチすると、その区間のルート探索条件を変えて再探索します。
- すでに通過した区間は表示されません。
- 走行中は安全のため、条件変更画面はスクロールできません。

デモ走行

ルート探索後、目的地までのルートのデモを見ることができます。

- 実際に走行を開始するとデモ走行は終了します。
- デモ走行を終了するには [♪] [▲] のいずれかのスイッチを押します。
- 方位・縮尺・地図表示方法を変更してデモ走行することができます。
- デモ走行の速度を変更することができます(114ページ)。
- デモ走行中は[*] (オプションスイッチ) 操作など、一部の機能は操作できません。

リルート

ルート案内中にルートから外れると、その位置から目的地までのルートが自動的に再探索されます。自動で再探索されないときは **リルート** にタッチすると、ルートを再探索することができます。

周辺迂回

自車位置から一定の距離を迂回するルートを探索します。前方の道路が工事などで通行できないときに利用できます。

- 迂回地点をあらかじめ登録しておくこともできます(53ページ参照)。
- 迂回する距離を設定できます「迂回距離」(116ページ参照)。
- 案内中のルートから外れている場合は、迂回ルートは探索できません。
- 周辺の道路によっては迂回できない場合があります。

ルート再探索

ルートの再計算を行います。

- 走行中は安全のため **ルート再探索** をタッチすることはできません。
- 経由地がセットされている場合は、ルートの再探索はできません。

経由地スキップ

案内中の経由地を通過済みにし、次の経由地または目的地へ案内します。

- 経由地に「到着した」と判断できず、いつまでも経由地への案内を繰り返す場合があります。そのような場合に経由地をスキップしてください。

ルート消去

現在のルート・目的地・経由地を消去します。

- 目的地に近づくとルート案内を自動的に終了します。近づき加減が不足しているときなどは「到着した」と判断できず、いつまでも目的地への案内を繰り返す場合があります。そのようなときはルートを消去してください。

アクティブルートサーチ機能

予期せぬ渋滞・通行止めなど道路状況の変化や交通情報を考慮して、目的地までの所要時間が走行中のルート案内よりも最短となるルートを探したときにルートを変更できます。



- **現ルート** にタッチすると、ルートを変更しません。また、次の場合も現ルートに決定されます。
 - 現在ルート(ピンク色のルート)をそのまま走行した場合
 - **←** にタッチした場合
 - **【現在地】** スイッチを押した場合
- **新ルート** にタッチすると、新しいルートに変更します。また、次の場合も新ルートに決定されます。
 - 新ルート(水色のルート)を走行した場合
- 時間短縮できるルートが見つからない場合は、アクティブルートサーチ機能は動きません。詳しくは「アクティブルートサーチ」(115ページ)、「アクティブルートサーチ案内音声割込み」(115ページ)を参照してください。

地点登録

あらかじめ地図上に地点を登録しておく、目的地や経由地の設定が簡単にできます(最大700か所)。登録した地点にマークを表示させたり、近づいたときに音声案内が流れるようにしておくこともできます。

地点登録には現在地を登録する方法・地図上の任意の地点を登録する方法の2つがあります。

- 登録した地点はSDカードまたはUSBメモリーに保存することができます(124ページ)。

現在地を地点登録する

自車位置を地点登録します。

1 現在地画面で「地点登録」にタッチする



2 表示された地点情報を確認し、必要に応じて変更する



- 地点情報の変更方法は「登録地点を編集する」(54ページ)を参照してください。

地点を登録する

地図上にタッチして指定した任意の地点、または検索した地点を登録できます。

1 地図上の登録したい地点にタッチする、またはナビメニューなどから地点を検索する

2 「登録」にタッチする



3 「地点登録」「現在地」「迂回する地点」「特別地点」のいずれかにタッチする



4 表示された地点情報を確認し、必要に応じて変更する



- 地点情報の変更方法は「登録地点を編集する」(54ページ)を参照してください。

地点登録

カーソルのある地点をナビメニューの登録地点として登録します。

- 最大700か所まで登録することができます。
- 現在地画面上のナビ操作スイッチの **地点登録** をタッチしても登録することができます(31ページ)。

現在地

カーソルのある地点を現在地(自車位置)に登録します。GPS受信状況の変化により画面上の自車マークの位置・方向が実際の車の向きと異なったときに修正します。

- 自車マークの向きは **↶** または **↷** にタッチして修正し、**登録** にタッチします。
- **↶** :現在の角度から左回りに微調整した向きになります。
- **↷** :現在の角度から右回りに微調整した向きになります。
- 修正しなくても走行を続ければ、情報が補正され正しい位置・方位になります。

迂回する地点

カーソルのある地点を迂回する地点に登録します。狭くて走りにくい道や普段から渋滞が多い場所などは迂回地点に登録しておく、ルート探索の際にそのエリアを選けたルートが設定されます。

- 最大10か所まで登録することができます。
- **名称** をタッチすると迂回地点の名称を変更できます。
- **位置** をタッチすると迂回地点を変更できます。
- 「**範囲**」では迂回地点を中心として何m四方の範囲を迂回するかを設定できます。
- 設定した迂回範囲は地図画面上で赤色の四角で表示されます。

特別地点

カーソルのある地点を特別地点に登録します。販売店・地点1・地点2・地点3・自宅の5か所を登録することができます。

- 通常の地点登録よりも簡単に目的地や経路地に設定できます。

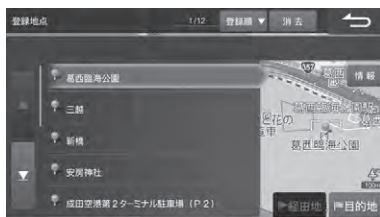
登録地点を編集する

地点登録時に表示される登録地点情報画面で、地点名称など情報の編集を行います。または設定画面を表示して地点情報を編集することができます。

- 1 **[△]スイッチを押して、ナビメニュー画面で **設定** にタッチする**
- 2 **地点編集** にタッチする
- 3 **地点の種類を選んでタッチする**

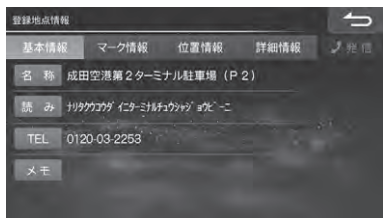


- 4 **地点を選んでタッチし、**情報** にタッチする**



- **消去** をタッチすると、選択した地点を消去できます。**消去** をタッチし続けるとすべての登録地点を消去できます。
- 登録地点と特別地点は手順5に進みます。
- 迂回地点の名称・位置・範囲を編集することができます(54ページ)。

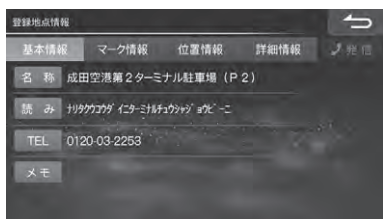
5 基本情報 マーク情報 位置情報 詳細情報 タブにタッチし、地点情報を 編集する



- 本機に携帯電話が接続されていれば、地点情報画面の電話番号に電話をかけることができます。**発信** にタッチしてください。

基本情報

登録情報の基本情報(名称・読み・電話番号)を確認または変更できます。

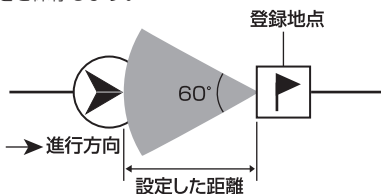


マーク情報

地図上に表示される登録地点マークや、登録地点に近づいたときに接近音を鳴らすかどうかを確認または変更できます。また、接近距離や接近方向も変更できます。



- **方向設定** で方向を指定したときは、指定した方向に向かって60°の範囲が対象となります。**戻る** または **戻る** をタッチして方向を指定し、**完了** にタッチして設定を保存します。



位置情報

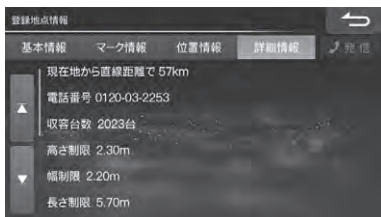
位置情報の変更および登録地点への属性設定ができます。



- 登録地点の近くに一般道路/有料道路(高速道路)があり、登録地点を目的地または経由地に設定するときには地点属性設定を利用してください。
- 登録地点付近に一般道路/有料道路(高速道路)がない場合は、地点属性は設定できません。

詳細情報

登録地点や施設の詳しい情報を確認することができます。



VICS情報を見る

VICSについて

「楽しいドライブなのに突然渋滞。なんでこんなに混んでいるの？空から見下ろしてみたい！」この要求に答えたのがVICS(ビークル インフォメーション アンド コミュニケーションシステム)です。VICSは渋滞や障害・規制、駐車場などのさまざまな交通情報をリアルタイムに提供します。この情報を利用すれば渋滞を減らすことができ、交通の流れが分散されます。さらにイライラによる精神的なストレス・経済的なロス・排気ガスの削減なども期待できるのです。

VICSによる渋滞・混雑などの情報を地図上に表示するため、あらかじめ「地図」に情報提供用の道路単位(VICSリンク)を設定しています。道路形状や交通情報収集施設の変化にとまらぬ、より正確な情報提供表示を行うために毎年情報提供単位が追加・変更されます。

このためにVICSによる地図情報表示は「本製品」発売後およそ3年程度で一部のエリアでVICSの地図情報が表示されなくなる場合があります。より正確な情報を表示するためには最新の「地図」をご使用ください(本製品の道路単位は2019年11月版です)。

VICS WIDEについて

本機はFM多重放送による新サービス「VICS WIDE」に対応しています。

VICS WIDEは従来のVICS-FM多重放送に加え、道路の交差点間などの一定区間の通過に要する時間(リンク旅行時間)やブロープ情報をもとに、より精度の高いルート案内が可能となります。

また気象・津波情報に火山噴火を加えたすべての特別警報(地震を除く)や大雨が発生しているエリアの情報提供を受けることができます。

- 本機は進行方向別旅行時間表示には対応していません。
- VICS WIDEの情報提供は地域により異なります。VICS WIDEについて詳しくは、一般財団法人 道路交通情報通信システムセンターのホームページ <https://www.vics.or.jp> をご覧ください。

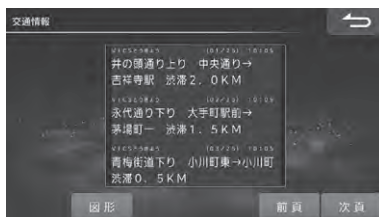
提供されるVICS情報

VICS情報には下記の4種類の情報があります。

文字情報

文字情報を表示します。

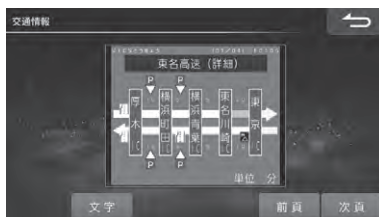
<表示例>



図形情報

簡易な道路図形などを表示します。

<表示例>



地図表示情報

地図上に渋滞や規制情報などを表示します。

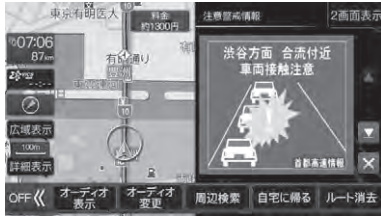
<表示例>



画像・音声情報(ETC2.0のみ)

画像を表示し、音声情報を読み上げます。

<表示例>



情報を提供する媒体

情報を提供する媒体には次のような種類があります。

FM多重放送

FM放送局から音声のすき間を使って配信されます。FM局を受信していれば利用でき、広域で情報を受けられます。

- FM多重放送によるVICS情報を利用するにはVICS情報を放送している放送局を選局してください。放送局の選局については「放送局選択」(107ページ)を参照してください。

電波ビーコン

主に高速道路に設置されています。ETC2.0はITSスポットが設置された場所で情報を受けることができます。

- ITSスポットによるVICS情報を受けるためには、ディーラーオプションのETC2.0車載器が必要です。

光ビーコン

一般道路に設置されています。ビーコンが設置された場所で周辺の情報を受けることができます。信号情報活用運転支援システム(TSPS)は光ビーコンの信号情報を用います。

- 本機は光ビーコンには対応していません。

表示されるVICS情報

VICS情報は次のように表示されます。

VICS情報表示

FM多重放送で受信した文字または図形情報呼び出しで見ることができます。

VICS割込み情報表示

ITSスポットから情報を受信したときや指定された地点で図形・文字・画像情報を自動的に表示します。

- ITSスポットからの情報に音声情報が含まれる場合は表示と共に自動的に読み上げを行います。
- 情報を割り込み表示しないようするには「情報割込み」(117ページ)を参照してください。
- VICS割込み情報には以下のような種類があります。
 - 緊急情報/緊急メッセージ:大雨特別警報や地震・災害時の停車・避難等の行動指示(優先して表示します)
 - 安全運転支援:走行路線の安全運転支援情報(優先して表示します)
 - 注意警戒情報:工事・規制などの情報
 - ビーコン図形情報:走行中経路の交通情報
 - ビーコン文字情報:広域の交通情報
 - ネットワーク障害 / ことわり情報:VICSセンターなどからのお知らせ
 - 長文読み上げ情報:交通状況や気象情報などの音声情報
 - 多目的情報:道路交通情報・施設関連情報など
 - 電子標識:標識などの案内情報
- VICS割込み情報の表示画面は、「割込み時間」(117ページ)で設定した時間を経過するかまたは音声読み上げが終了すると解除されます。
- VICS割込み情報の表示中に、 をタッチすることで表示画面を解除することができます。
- VICS割込み情報の表示画面が複数ページある場合は または にタッチすると前後のページが表示されます。
- 交差点拡大図の表示中などVICS割込み情報を表示しない場合があります。
- ディーラーオプションのETC2.0車載器が必要です。

VICS情報の表示例

VICSで提供されるさまざまな交通情報を地図上に表示します。

- 表示されるマークについては「VICS情報マーク一覧」(60ページ)もあわせて参照してください。
- VICS情報の更新中は情報を表示することができません。また正確に情報を表示しない場合があります。

渋滞情報や道路交通情報マークの表示例

渋滞情報や駐車場、規制区間などの情報を地図上に表示します。



- 1 駐車場マーク
- 2 規制マーク
- 3 渋滞情報
- 4 充電施設マーク

■ 渋滞情報

渋滞地点や渋滞区間などを地図上に実線の矢印で表示します。

	赤	渋滞:交通の流れが非常に悪い状態
	橙	混雑:交通の流れがやや悪い状態
	緑	空き道:交通の流れが良い状態

- 渋滞情報を表示しないように設定できます(「渋滞・混雑表示」110ページ、「空き道表示」110ページ)。
- 渋滞情報は地図スケールが1km以下の詳細な地図で表示されます。

■ 駐車場マーク

VICSで提供された一般駐車場・臨時駐車場のマークを地図上に表示します。

	一般駐車場	青	空車:利用可能な状態
		赤	満車:ほぼ満車の状態
	臨時駐車場	橙	混雑:利用率が高い状態
		黒	不明:駐車場情報がない状態

- マークにタッチまたはカーソルを合わせると情報画面が表示されます(「情報画面の表示例」59ページ)。
- 周辺のVICS提携駐車場を探すこともできます(「駐車場情報」106ページ参照)。
- 駐車場マークを表示しないように設定できます(「VICS駐車場・充電施設表示」111ページ)。
- 駐車場マークは地図スケールが1km以下の詳細な地図で表示されます。

■ 充電施設マーク

電気自動車の充電施設を充電方法(急速・普通・プラグイン)に応じたマークを地図上に表示します。

	青	利用可能な状態
	赤	混雑している状態
	橙	利用率が高い状態
	黒	充電施設情報がない状態

- マークにタッチまたはカーソルを合わせると情報画面が表示されます(「情報画面の表示例」59ページ)。
- 周辺の充電施設を探すこともできます(「充電施設」106ページ)。
- 充電施設マークを表示しないように設定できます(「VICS駐車場・充電施設表示」111ページ)。
- 充電施設マークは地図スケールが1km以下の詳細な地図で表示されます。

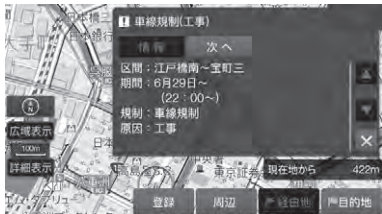
■ 規制マーク

現在規制されているさまざまな規制マークを地図上に表示します。また、規制対象区間は黄色線で道路の上に表示されます。

	進入禁止
	入口閉鎖
	事故
	工事

- マークにタッチまたはカーソルを合わせると情報画面が表示されます(「情報画面の表示例」59ページ)。
- 規制マークを表示しないように設定できます(「規制マーク表示」111ページ)。
- 規制マークは縮尺1km以下の地図で表示することができます。ただし、通行止め・入り口閉鎖・オフランプ(出口)閉鎖は関連する事象も含めて、道路が表示されるスケールの地図まで表示します。

情報画面の表示例



- 駐車場や充電施設、規制マークなどにタッチすると詳しい情報が表示されます。**情報** にタッチするとさらに詳しい情報が表示されます。
- 情報が重なっている場合は、**次へ** にタッチすると近くの情報を表示します。

緊急情報画面の表示例

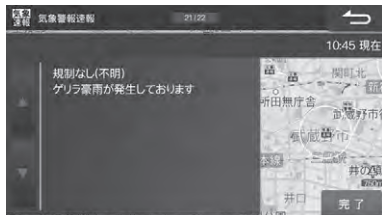
大雨・大雪・津波など気象に関する情報を受信すると緊急情報画面が表示されます。



- **情報** にタッチすると緊急情報の詳細情報が表示されます。詳細情報画面の **完了** または地図にタッチすると対象エリアを確認することができます(「規制や災害エリアの表示例」59ページ)。
- **一覧** にタッチすると今までに受信した 気象警報・災害などのリストが表示されます。

規制や災害エリアの表示例

規制・事故・災害・異常気象などが発生している対象エリア、または情報に応じたマークを地図上に表示します。対象エリアの表示方法および詳細については「VICIS 情報を見る」(105ページ)を参照してください。



- 情報によっては対象エリアとマークが表示されない場合があります。
- 今後規制やイベントなどが予定されているエリアも同様に表示することもできます(「予告配信表示」111ページ)。
- 対象エリアを表示しないように設定できます(「気象警報・災害エリア表示」「規制エリア表示」111ページ)。
- 対象エリアは情報に応じて赤紫色/赤色/橙色の境界線で表示されます。(情報によっては正確に表示されない場合があります。)
- マークにタッチまたはカーソルを合わせると情報画面が表示されます(「情報画面の表示例」59ページ)。

VICS情報マーク一覧

	事故		大型通行止め		充電施設(急速/普通/プラグイン/不明): 空車(青)・満車(赤)・混雑(橙)・不明(黒)
	故障車		入口制限		
	路上障害		オフランプ、規制		
	工事		片側交互通行		
	凍結		チェーン規制		充電施設(急速/普通/プラグイン/不明):閉鎖(赤)
	作業		進入禁止		
	通行止め、閉鎖		一般駐車場:空車(青)・満車(赤)・混雑(橙)・不明(黒)		
	対面通行				
	車線規制		一般駐車場:閉鎖(赤)		特別警報
	火災		臨時駐車場:空車(青)・満車(赤)・混雑(橙)・不明(黒)		気象・災害速報
	気象・災害・地震警戒宣言				
	気象		臨時駐車場:閉鎖(赤)		気象・災害注意報
	気象		SA:空(青)/満車(赤)/混雑(橙)/不明(黒)		
	行事等				右折禁止
	徐行		SA:閉鎖(赤)		左折禁止
	入り口閉鎖		速度規制(40km/hの場合)		直進禁止

音声情報読み上げについて

VICS割込み情報に音声情報が含まれる場合は、表示と共に自動的に読み上げを行います。

- VICS割込み情報内容が音声情報のみの場合、「音声のみの情報です」と表示されます。
- 音声情報読み上げ中に画面遷移した場合、読み上げは中断されます。
- 音声情報読み上げ中に **停止** をタッチすると読み上げは中断されます。また **読み上げ** をタッチすると最初から情報読み上げを行います(途中からの再生にはなりません)。
- ナビ音声案内中に優先される音声情報が含まれるVICS割込み情報がある場合、ナビ音声案内は中断されます。
- 自動的に読み上げを行わないように設定することができます(「VICSでの音声読み上げ」117ページ)。
- ディーラーオプションのETC2.0車載器が必要です。

3. オーディオ

基本操作

オーディオメニューを表示する

オーディオソースはオーディオメニュー画面を表示して操作します。メニュー画面で希望のソースにタッチすると選んだソースのメイン画面が表示されます。音質調整画面を表示してお好みの音質に調整することもできます。

1 [♪]スイッチを押す

オーディオメニューが表示されます。



オーディオソースをOFFにする

ルート案内の音声・映像はそのままオーディオソースをOFFにできます。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。

1 [♪]スイッチを押し、AUDIO OFF にタッチする

[AV]スイッチを2秒以上押ししてもOFFになりません。



- オーディオモードをONにするには、[AV]スイッチを2秒以上押し、オーディオメニュー画面で希望のソースにタッチします。

Hi-Resオーディオを再生する

本機はハイレゾ音源・Hi-Resオーディオ(High-Resolution Audio)を再生することができます。

- ディスクに格納しているFLAC/ALAC/WAVデータ再生時は、音切れる場合があります。

Hi-Resオーディオ対応フォーマット

FLAC

- 拡張子:.flac/.fla

WAV

- 拡張子:.wav

- Hi-Resファイルを再生時、以下の条件を全て満たした場合は、Hi-Resアイコンを再生画面に表示します。
 - 拡張子:.flac/.fla/.wav
 - サンプリング周波数:96kHz以上
 - 量子化ビット数:24bit以上

テレビ操作

テレビを見る

走行中は安全のため映像が消えて音声だけになります。

1 [A]スイッチを押し、オーディオメニューの **TV** にタッチする

テレビを初めて使うときは初期設定画面が表示されます。



2 チャンネルを切りかえるには画面をタッチし、表示されたプリセットスイッチをタッチ、または[◀◀] / [▶▶]スイッチを押し



プリセットスイッチ

- [AV]スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声・映像はそのままオーディオソースをOFFにすることができます(「AUDIO OFF」J61ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。

初期設定を行う

初めてテレビモードにすると初期設定画面が表示されます。画面に従ってお住まいの地域を設定し、最後に **ホームスキャン** をタッチしてください。

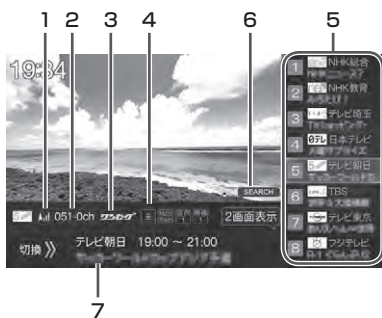
- **ホームスキャン** をタッチしたあとスキャンが終了するまではしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。

- 初期設定(ホームスキャン)は自宅周辺で実行してください。ホームスキャンしたチャンネルは、ホームモードのプリセット番号として記憶されます。
- 引越しなどで居住地域が変わったときは、ホームスキャンをやり直してください。
- 受信電波の弱い地域ではホームスキャンで放送局が記憶できないことがあります。その時は、電波を受信できる場所に移動し、もう一度ホームスキャンを行ってください。

テレビ操作を行う

テレビ視聴中に画面にタッチすると、情報画面が表示されます。テレビ操作を行うには **切換>>** をタッチして操作画面に切りかえます。しばらく(約8秒)操作しないと、情報・操作部分の表示が消えます。

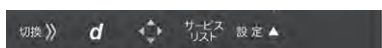
■ 情報画面



■ 操作画面



■ 操作画面



- 1 受信状態表示
- 2 チャンネル番号

3 現在の受信状態表示

SCAN: 受信可能な放送局スキャン時に表示
 ワンセグ: ワンセグ放送受信時に表示
 SEARCH: 自動サーチ中に表示(65ページ)。

4 モードインジケータ表示

モード切換 で選択した内容がインジケータに表示されず(64ページ)。

主: 音声多重放送の主音声/副音声切りかえ

映像: 映像が複数ある場合の切りかえ

音声: 音声複数ある場合の切りかえ

字幕: 字幕切りかえ

5 プリセットスイッチ(63ページ)

6 バックグラウンドサーチインジケータ

バックグラウンドサーチ中はインジケータ(SEARCH)が表示されます。

- バックグラウンドサーチインジケータ表示中は、一時的に受信感度が低くなります。

7 番組名表示

タッチすると番組情報画面を表示します(64ページ)。

プリセットスイッチ

ホームスキャンまたはお出かけスキャンを行うと、プリセットスイッチに放送局が最大12チャンネル記憶されます。プリセットされた放送局と番組名を表示し、タッチすると選択した番組に切りかわります。

- 上下にフリックするとプリセットされた放送局がスクロールします。
- 受信中の放送局のプリセットスイッチにタッチすると、地上デジタル放送とワンセグ放送が切りかわります。地上デジタル放送の映りが悪いときはワンセグ放送に切りかえてください。

[◀◀] / [▶▶]

プリセット番号順にチャンネルを切りかえます。

スキャン

お出かけモードやホームモードでは受信できない地域でテレビを見るときに、その地域で受信できる放送局をプリセットします(お出かけスキャン)。2秒以上タッチし続けると、視聴中の放送局の中継局や系列局をサーチします。

- お出かけスキャンしたチャンネルはお出かけモードのプリセットスイッチに記憶されます。
- お出かけスキャンを実行するとお出かけモードにすでに登録されているチャンネルは上書きされます。

ホーム⇄お出かけ

ホームモード/お出かけモードを切りかえます。

ホームモード:

お住まいの地域のチャンネルが設定されているモード

お出かけモード:

お出かけした際に、その地域のチャンネルを記憶するモード

番組表

番組表を表示します(64ページ)。

情報更新

番組名や放送局名を最新の情報に更新します。

- 受信状態によってはプリセットスイッチに放送情報が表示されない場合があります。表示させるには受信状態の良い場所で **情報更新** にタッチしてください。受信できない放送局の番組情報は更新されません。

d

データ放送に切りかえます。

◆

データ放送受信画面でタッチするとデータ放送操作スイッチが表示されます。



サービスリスト

視聴中の放送局と番組名の一覧を表示します。見たい番組を選んでタッチすると、選んだ番組を視聴できます。

設定▲

タッチすると **モード切換** **画面設定** **設定** スイッチを表示します。



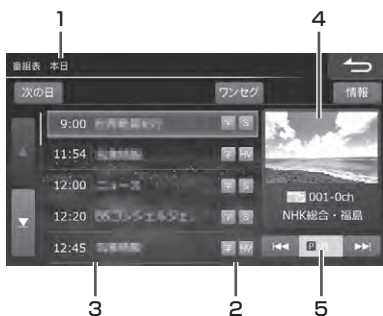
モード切換 :主/副音声の切りかえ・字幕の切りかえ・多言語放送の音声切りかえを行うことができます。選択した内容はインジケータに表示されます。視聴している番組が音声多重放送かどうかなどについては、番組の詳細情報画面で確認できます。

画面設定 : 画質の調整を行います。画質調整については129ページを参照してください。

設定 : テレビの設定を行います。設定内容については64ページを参照してください。

番組表の操作

番組表画面はテレビの操作画面で **番組表** をタッチすると表示されます。



1 番組の日付表示

2 番組情報アイコン

HV: ハイビジョン放送

SD: 標準画質放送

字: 字幕放送

多: 音声多重放送

S: ステレオ放送

映像: 複数の映像を持つ放送

音声: 複数の音声を持つ放送

3 放送開始時間/番組名

4 現在受信中の番組映像

5 放送局のプリセット番号



前後の時間帯の番組を表示します。

次の日

次の日の番組表を表示します。続けてタッチすると、本日の番組表に戻ります。

ワンセグ

ワンセグ放送の番組表に切りかわります。

ワンセグ が **地上D** に変わります。 **地上D** をタッチすると地上デジタル放送の番組表に切りかわります。

情報

選択している番組の番組名やあらすじなどの番組情報を表示します。音声多重放送かどうかやマルチビュー放送かどうかなども確認できます。

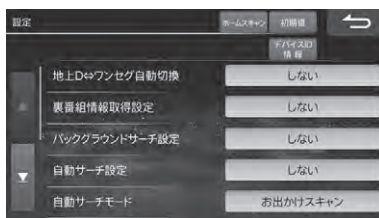
- 操作画面の番組情報表示エリアをタッチしても、番組情報画面を表示します。



前後のプリセット番号へ移動します。

テレビ設定操作

テレビ設定画面はテレビの操作画面で **設定▲** → **設定** をタッチすると表示されます。



地上D⇔ワンセグ自動切換

受信レベルが低下したときに、地上デジタル放送とワンセグを自動で切りかえるかどうかを設定します。

初期設定値: 標準

裏番組情報取得設定

視聴中の放送局の受信感度が良いときに、視聴を継続しながらプリセットスイッチに表示する番組情報を取ります。

初期設定値: する

バックグラウンドサーチ設定

視聴中の放送局の受信感度が低下した際に、視聴を継続しながら受信状態の良い中継局の放送局サーチを行います。

初期設定値: する

自動サーチ設定

一定時間放送局を受信できないときに、中継局や同系列局の放送局を自動で選局するまでのおおよその時間を設定できます。

初期設定値: 5秒

- お出かけモードの場合のみ、自動サーチしたチャンネルはお出かけモードで選択中のプリセット番号に記憶されます。

自動サーチモード

自動サーチで中継局が受信できなかった場合、視聴局の系列局サーチを行うか、またはお出かけスキャンを実行してその地域で受信できる放送局をお出かけモードに登録するかどうかを設定します。

初期設定値: お出かけスキャン

- 「自動サーチ設定」が「しない」設定の場合、本設定を行うことはできません。
- 「お出かけスキャン」に設定すると、隣県へ移動したときなどに、視聴中の放送局以外にその地域で受信可能な放送局を登録します。
- お出かけスキャンを実行すると、すでに登録されているチャンネルがある場合は新しく登録した内容に書きかえられます。受信状況により放送局を受信できない場合は、スキャン開始前の状態に戻ります。

放送局自動選局

チャンネルのスキャンを行うときに、それまで視聴していた放送局と同じ系列の放送局を自動で受信するかどうかを設定できます。

初期設定値: する

- お出かけモードのときスキャンが行われると、お出かけモードのプリセットスイッチに上書きされます。ホームモードのときはプリセットスイッチには上書きされません。

文字スーパー表示

文字スーパーを表示するかどうかを設定します。表示する場合は言語を選択できます。

初期設定値: 言語 1

地域設定

ホームモードで受信する放送局の地域を設定します。

県域設定

ホームモードで受信するデータ放送視聴のための県域を設定します。

郵便番号設定

ホームモードで受信するデータ放送視聴のための郵便番号を設定します。

デバイスID情報

オリジナルRMPメーカーIDと局管理RMPメーカーIDが表示されます。

ホームスキャン

お住まいの地域で受信できる放送局をスキャンしてホームモードに記憶します。

- ホームスキャンしたチャンネルは、ホームモードのプリセット番号として記憶されます。
- 引っ越しなどで居住地域が変わったときは、ホームスキャンをやり直してください。

初期値

テレビ放送の設定値をお買い上げ時の状態に戻します。

- 記憶したプリセットチャンネルもリセットされます。

ラジオ操作

AM放送またはFM放送を受信します。本機はワイドFM(90.1MHz～108.0MHz)に対応しています。AMラジオが入りにくいところでも、FM放送でAMラジオの番組が受信できます。

ラジオを聴く

1 [A]スイッチを押し、オーディオメニューの **ラジオ** にタッチする

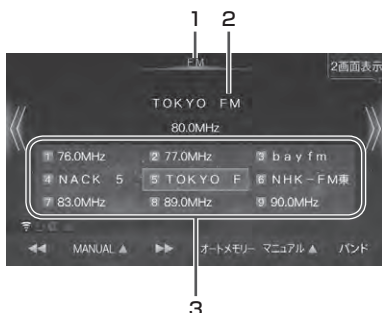


2 プリセットスイッチをタッチする



- [AV]スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声・映像はそのままオーディオソースをOFFにすることができます(「AUDIO OFF」61ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。

ラジオ操作を行う



1 バンド表示

受信中のバンド(FMまたはAM)が表示されます。

2 放送局名/周波数表示

3 プリセットスイッチ(66ページ)

プリセットスイッチ

プリセットされた放送局と周波数を表示し、タッチすると選択した放送局に切りかわります。プリセットスイッチを操作音がするまでタッチし続けると、受信中の放送局をそのスイッチに記憶します。オートメモリーを行うと、プリセットスイッチに放送局が最大9局記憶されます。

⏪ / ⏩ (ダウンスイッチ/アップスイッチ) [◀◀] / [▶▶]

プリセットで登録した放送局を選局します。

⏪ / ⏩

自動または手動で聴きたい放送局(周波数)を探します。選局モード設定(次項目)で手動選局か自動選局かを選びます。

- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

SEEK▲/MANUAL▲

タッチするたびに自動選局と手動選局がきりかわります。タッチスイッチには選んだシークモードが表示されます。

SEEK: 自動選局モード

MANUAL: 手動選局モード

オートメモリー

受信できる放送局をプリセットスイッチに自動で記憶します。

- 受信感度のよい放送局を周波数の低い順にAMとFM各9局まで自動的に記憶します。
- 受信電波の弱い地域ではオートメモリーでの自動受信ができないことがあります。受信できなかった場合はオートメモリー前の状態に戻ります。
- 受信電波の状態により記憶される放送局が異なることがあります。

マニュアル▲

放送局を本機に記憶(プリセット)するモードを切りかえます。タッチスイッチには前回選んだプリセットモードが表示されていて、初期設定は「マニュアル」です。

マニュアル: 手動で選局した放送局を記憶するとき。

オート: オートメモリーで放送局を記憶するとき。

エリア: 本機に記憶されている各エリアの放送局を現在位置で判断して自動でプリセットします。

バンド

ラジオバンド(FMまたはAM)を切りかえます。

交通情報を受信する

- 1 [♪]スイッチを押し、オーディオメニューの **交通情報** をタッチする



- 2 **1620kHz** または **1629kHz** にタッチする

交通情報を終了するときは[♪]スイッチを押し、オーディオメニュー画面から他のソースアイコンを選択してください。

DVD操作

DVDの高画質な映像とデジタルサウンドを再生することができます。

- DVDやソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。
- 再生できるディスクの種類などについては「オーディオソースメディアについての注意」(163ページ)を参照してください。
- 走行中は安全のため映像が消えて音声だけとなります。

DVDを再生する

1 [A/V]スイッチを押し、オーディオメニューの **DVD/CD** にタッチする



ディスクが入っていない場合は、[開/閉]スイッチを押してディスプレイを開き、レーベル面を上にしてDVD/CD挿入口にディスクを挿入すると、自動的にディスプレイが閉まり再生が始まります。

- [AV]スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声・映像はそのままオーディオソースをOFFにすることができます(「AUDIO OFF」61ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。

DVD操作を行う

■ DVDビデオ(DVD-V)



■ DVD-VR



1 再生ディスク表示

再生しているディスクの種類が表示されます。

DVD-V:

市販のDVDビデオディスクまたはビデオモードで記録されたDVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWのディスク。

DVD-VR:

DVD-VRモードで記録されたDVD-R/DVD-RWのディスク。

2 シーン番号

再生しているシーンの番号(チャプター番号など)が表示されます。

DVD-V:

タイトル番号 (Ⓘ) およびチャプター番号 (Ⓒ)

DVD-VR:

プログラム番号/プレイリスト番号 (Ⓘ) およびチャプター番号 (Ⓒ)

3 DVD情報表示

DVD再生情報が表示されます。◀◀ ▶▶ にタッチして表示/非表示を切りかえます。

4 タイトル再生時間表示

再生中のタイトルの再生経過時間と総再生時間が表示されます。早送りまたは早戻し中は倍速が表示されます。

◀◀ (ダウンスイッチ) [◀◀]

再生中にタッチすると現在のチャプターと前のチャプターの頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。

頭出し: 現在のチャプターの頭出しをします。続けてタッチすると前のチャプターの頭出しをします。

早戻し: タッチし続けると8倍速で早戻しします。その状態でタッチし続けると、速度が16倍速→32倍速に切りかわります。指を離すと通常再生に戻ります。

▶▶ (アップスイッチ) [▶▶]

再生中にタッチすると次のチャプターの頭出しをします。タッチし続けると早送りします。

頭出し: 次のチャプターの頭出しをします。

早送り: タッチし続けると8倍速で早送りします。その状態でタッチし続けると、速度が16倍速→32倍速に切りかわります。指を離すと通常再生に戻ります。

コマ送り: 一時停止中にタッチするたびに1コマずつコマ送りします。▶▶ をタッチすると通常再生に戻ります。

• 一時停止中にタッチし続けると1/8倍速でスロー再生します。その状態でタッチし続けると1/2倍速でスロー再生します。指を離すと通常再生に戻ります。



再生を一時停止(ポーズ)します。一時停止中に▶▶ をタッチすると再生を開始します。



再生を停止します。タッチする回数で停止モードが変わります。

1回タッチ(PRE STOP):

停止した位置を記憶(プレイポジションメモリ)しています。▶▶ をタッチすると停止した位置から再生を開始します。

2回タッチまたは2秒以上タッチし続ける(STOP):

停止した位置を記憶しません。▶▶ をタッチすると初めから再生を開始します。

トップメニュー

DVDトップメニュー画面を表示します。

- メニュー操作については ◀➡ の項目を参照してください。
- 直接メニュー画面をタッチしても操作することができます。

メニュー

DVDメニュー画面を表示します。

- メニュー操作については ◀➡ の項目を参照してください。
- 直接メニュー画面をタッチしても操作することができます。



キーON にタッチするとDVDメニュー画面を操作するスイッチを表示します。



- ◀ ▶** : カーソルを左右に移動します。
- ▲ ▼** : カーソルを上下に移動します。
- 10キー** : 10キーを表示します。数字を入力することができます。
- RETURN** : 前の画面に戻ります。
- 決定** : 選択した項目を決定します。
- ↶** : メニュー操作画面を終了します。
- キーOFF** : 操作画面表示をOFFにします。 **キーON** スイッチをタッチするとメニュー操作画面を表示します。
- ↑移動** **↓移動** : タッチスイッチを画面の上下に移動できます。

10キー

メニュー番号・チャプター番号・タイトル番号・プログラム番号を指定して見たいシーンを探すことができます。

メニュー番号のサーチ:
メニュー画面表示中に操作できます。

チャプター番号のサーチ:
再生中・PRE STOP中・一時停止中に操作できます。

タイトル番号・プログラム番号のサーチ:
停止(STOP)中に操作できます。

モード切換

DVDビデオのモード切換画面が表示されます。再生中に音声・字幕言語・アングルを切りかえることができます。

- 音声** : タッチするたびにディスクに収録されている音声を切りかえます。
- 字幕** : タッチするたびにディスクに収録されている字幕言語を切りかえます。
- アングル** : タッチするたびにディスクに収録されているアングルを切りかえます。

• ディスクによっては切りかえができない場合があります。



DVD-VRでプログラムまたはプレイリストを選ぶことができます。タッチするたびに前後のプログラムまたはプレイリストに切りかわります。

音声/字幕

DVD-VRの音声/字幕切換画面が表示されます。再生中に音声や字幕を切りかえることができます。

- 音声** : タッチするたびにディスクに収録されている音声を切りかえます。
多重音声記録されているディスクの場合は、音声に2秒以上タッチするたびにLR→LL→RR→LR・・・の順に切りかわります。

字幕 : 字幕の表示/非表示を切りかえます。

• ディスクによっては切りかえができない場合があります。

サーチ

プレイリスト・プログラムサーチ画面が表示されます。

プレイリスト **プログラム** にタッチするとサーチ画面が切りかわります。

プレイリスト :
再生したいプレイリストをタッチします。

プログラム :
再生したいプログラムをタッチします。

初期設定

DVD初期設定画面が表示されます(71ページ)。



気に入った場面を繰り返し再生することができます(リピート再生)。タッチするたびにリピート再生の種類が変わります。

☞ → ☞ TITLE → OFF → …

☞ : チャプターリピート

☞ TITLE: タイトルリピート

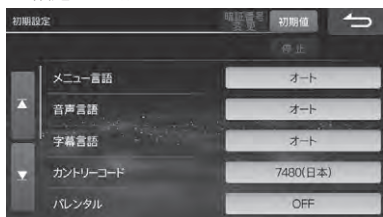
画面設定

画質調整画面が表示されます(129ページ)。

DVD初期設定

DVD初期設定画面はDVDの操作画面で **初期設定** をタッチすると表示されます。

- DVD初期設定はDVD再生が停止中のみ行えます。DVDを再生中にDVD初期設定を行う場合は、DVD初期設定画面で **停止** をタッチして再生を停止させてから設定してください。



メニュー言語

タイトルやメインメニューで表示される言語を設定します。

初期設定値: オート

- **オート** に設定すると、DVDソフトに記録されている最優先の言語で再生されます。
- **その他** を選択した場合はWeb版取扱説明書の「言語コード一覧」を参照して4桁の言語コードを入力してください。(Web版取扱説明書については裏表紙を参照してください。)

音声言語

音声言語を設定します。

初期設定値: オート

- **オート** に設定すると、DVDソフトに記録されている最優先の言語で再生されます。
- **その他** を選択した場合はWeb版取扱説明書の「言語コード一覧」を参照して4桁の言語コードを入力してください。(Web版取扱説明書については裏表紙を参照してください。)
- DVDソフトによっては、設定した言語ではなくソフトに記録されている言語で再生される場合があります。

字幕言語

字幕言語を設定します。

初期設定値: オート

- **オート** に設定すると、DVDソフトに記録されている最優先の言語で再生されます。
- **その他** を選択した場合はWeb版取扱説明書の「言語コード一覧」を参照して4桁の言語コードを入力してください。(Web版取扱説明書については裏表紙を参照してください。)

カントリーコード

視聴規制(パレンタルロック)をするときの規制レベル(国番号)を設定します。4桁の国番号を入力します。

初期設定値: 7480(日本)

パレンタル

成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない映像の視聴規制を設定します。4桁の暗証番号を設定し、視聴制限レベルを8段階から選択します。

初期設定値: OFF

- DVDソフトによっては視聴制限レベルが記録されていない場合があります。
- 2回目以降は最初に設定した暗証番号を入力します。暗証番号は忘れないように注意してください。暗証番号を忘れてしまった場合はDVDの設定内容を初期化(72ページ)してから再度登録してください。
- 暗証番号を変更することもできます。DVD初期設定画面で **暗証番号変更** をタッチして元の暗証番号を入力後、新しい暗証番号を入力し **完了** をタッチします。
- 視聴制限レベルについては72ページを参照してください。

※ DVDソフトを再生中にパレンタルレベルの変更メッセージが表示されたら **はい** をタッチして暗証番号を入力してください。視聴制限した映像が再生されます。

ダウンミックス

ドルビーデジタル音声のDVDソフトを再生するときには有効です。タッチするたびにサラウンドとステレオの設定が切りかわります。

初期設定値：ステレオ

初期値

DVD初期設定の内容を初期値(工場出荷時の状態)に戻します。

DVDの機能について

マルチ音声機能について

DVDソフトには複数の言語が記録されているものがあり、テレビの音声多重放送のように、再生する音声言語を切りかえることができます。

サブタイトル(字幕)表示機能について

DVDソフトには複数の言語が記録されているものがあり、再生する字幕言語を切りかえたり、字幕を表示しないように設定して映像を再生することができます。またソフトメニューの言語を切りかえることもできます。

マルチアングル機能について

DVDソフトには同じ場面が複数のアングルで記録されているもの(マルチアングル)があり、再生するアングルを切りかえることができます。

マルチストーリー機能について

DVDソフトにはメインストーリー以外にサブストーリーやバージョンの違う映像が記録されているもの(マルチストーリー)があり、お好みのストーリーを選択することができます。操作方法はディスクによって異なります。

マルチストーリーには次のようなものがあります。

メインストーリー / サブストーリー：

ディスクの中には番外編のストーリーが含まれていることがあります。例えば主人公が友人と別れる場面があった場合に、サブストーリーでは別れた友人のその後のストーリーを紹介するというように、違うストーリーを再生することができます。

マルチバージョン：

劇場公開版・完全版・ディレクターズカットなど1つの作品で複数のバージョンを再生することができます。

ハイライト・シーン・スキャン：

特定の人物やアニメのキャラクターの登場する場面だけを再生したり、音楽の場面だけを再生したりというように、特定の場面だけを再生することができます。

ブランディング・ストーリー：

ロールプレイングゲームのように、例えば登場人物の行動をメニューから選択して物語を展開しながら再生することができます。再生中に撮影のメイキングシーンを見ることもできます。

視聴制限について

DVDソフトには成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見たくない映像の視聴を制限できるものがあります。視聴制限は以下の8段階のレベルがあり3種類に分類されます。

レベル1： 子供向けのDVDソフトのみを再生します(一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します)。

レベル2～7： 子供向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します(成人向けのDVDソフトの再生を禁止します)。

レベル8： すべてのDVDソフトを再生します。

OFF： 視聴制限しません。すべてのDVDソフトを再生します(初期設定)。

視聴制限はDVD初期設定の「パレンタル」から設定します(初期設定値は「OFF」)。設定の方法については「パレンタル」(71ページ)を参照してください。

ディスクに関する用語

タイトル： DVDビデオディスクに記録されている映像や曲などを区切る一番大きな単位です。

チャプター： タイトルの内容を場面や曲ごとに小さく区切った単位です。

プレイリスト： 再生する映像の再生順を記録したリストです。

CD操作

CDやMP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALACデータが記録されたディスクを再生することができます。

- 再生できるディスクの種類などについては「オーディオソースメディアについての注意」(163ページ)を参照してください。

Gracenoteについて

CDを再生すると、本機に保存されているGracenoteデータベースからアルバム・曲名・アーティストなどの情報を取得して画面に表示します。本機の発売以降に発売されたCDなど、本機のデータベースにないタイトルデータは、インターネットに接続してGracenoteメディアデータベースからダウンロードすることができます。

- 本サービスは都合により将来終了または内容を変更する可能性があります。

CDを再生する

1 [A/V]スイッチを押し、オーディオメニューの **DVD/CD** にタッチする

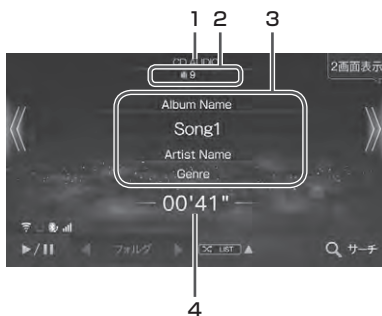


ディスクが入っていない場合は、[開/閉]スイッチを押してディスプレイを開き、レーベル面を上にしてDVD/CD挿入口にディスクを挿入すると、自動的にディスプレイが閉まり再生が始まります。

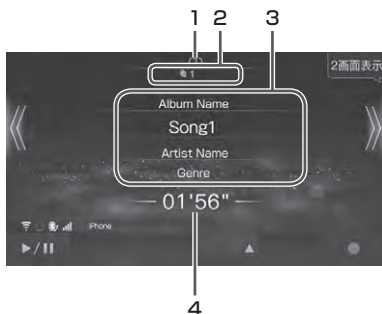
- [AV]スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声・映像はそのままオーディオソースをOFFにすることができます。「AUDIO OFF」(61ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。

CD操作を行う

■ MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC



■ CD



1 再生ディスク表示

MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALACを再生すると「CD AUDIO」または「DVD AUDIO」と表示されます。

2 曲番号

再生している曲の番号が表示されます。

3 曲情報表示

再生中の曲の曲名・アルバム名・アーティスト名が表示されます。

- 曲名をタッチすると再生対象となっている曲名をリスト表示します。リストから聴きたい曲を選ぶことができます。

4 再生時間表示

再生中の曲の再生経過時間が表示されます。

◀ (ダウンスイッチ) [◀◀]

再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。

▶▶ (アップスイッチ) [▶▶▶▶]

次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。



再生を一時停止(ポーズ)します。一時停止中に をタッチすると再生を開始します。



ディスク内の曲またはフォルダ内の曲を順不同で再生します(ミックス再生)。

- もう一度 (ミックス) をタッチすると通常再生に戻ります。
- リピート再生・ミックス再生は同時に使用することはできません。



再生中の曲またはフォルダ内の曲を繰り返し再生します(リピート再生)。タッチするたびにリピート再生の種類が変わります。

CD: → OFF →...

MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC:
 → LIST → OFF →...

: 1曲のみを繰り返し再生します。

LIST: 再生リスト内の曲のみを繰り返し再生します。

- リピート再生・ミックス再生は同時に使用することはできません。



MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALACでは聴きたいフォルダを選ぶことができます。タッチするたびに前後のフォルダに切りかわります。

サーチ

MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALACでは聴きたい曲を探すことができます。リスト画面でフォルダ名と曲名をタッチします。



CDの曲をSDカードに録音することができます。

- 録音については75ページを参照してください。
- 録音中は スイッチになります。 をタッチし、確認メッセージが表示されたら **はい** をタッチすると録音を停止します。
- 録音中に曲名表示部(73ページ)をタッチしてリストを表示すると、曲名にアイコンが表示されます。
 - : 再生中の曲
 - : 録音中の曲
 - : 録音に失敗した曲

SDオーディオ/ビデオ操作

本機はSDカードに記録したオーディオデータ(WAV/MP3/WMA/AAC/FLAC/ALAC)とビデオデータ(AVI/MP4/MKV)の再生を行うことができます。

SDカードへのオーディオデータの記録方法は2種類あります。パソコン等でSDカードにオーディオデータを保存する方法と、本機でCDを再生しながら録音する方法があります。

■ 本機でCD再生しながらSDカードにオーディオデータを録音する

データ形式:

- 録音形式: AAC
- サンプリングレート: 44.1 kHz
- ビットレート: 96/128/192kbps(初期設定は192kbps)
- 録音可能曲数: 最大9,999曲(アルバム数/アーティスト数はそれぞれ最大999)

■ パソコン等を使用してSDカードにオーディオデータを保存する

データ形式:「オーディオソースメディアについての注意」(163ページ)を参照してください。

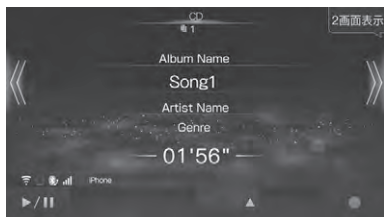
- SDカードには最大9,999曲録音することができます。SDカードの容量や録音モードによって録音曲数は異なります。

SDカードに曲を録音する

※ 録音用のSDカードは工場出荷時に本機に挿入されています。他のSDカードを使用する場合は、SDHCカード(32GBまで)/SDXCカード(2TBまで)が使用可能です。

- 録音中はCD操作を行うことはできません。
- 録音開始までに時間がかかる場合があります。
- 残容量100MB以下のSDカードには録音できません。
- 録音用SDカードはライトプロテクトされていると録音することができません。

1 CD再生画面で にタッチする




再生中の曲から録音が始まります。

- SDカードが初期化済みでない場合はメッセージが表示されます。手順2に進み、SDカードを初期化すると録音が始まります。

2 初期化を確認するメッセージが表示されたら **はい** をタッチする 再度確認メッセージ(“本当に初期化しますか?”)が表示されるので、もう一度 **はい** にタッチする

- 録音開始後はSDカード内の録音済の曲が再生されます。録音が終了するとCDモードになります。
- CDの途中で録音を中断した場合、アルバムの曲順通りに録音できない場合があります。その際は該当するアルバムを消去して、もう一度録音を行ってください。

録音の注意事項

- 本機の故障・誤動作・不具合により録音できなかったデータおよび消失したデータについては補償できません。
- 著作権上、お客様が録音したものは個人として楽しむほかは権利者に無断で使用できません。
- 録り直しのきかない録音の場合は、正しく録音されていることを確認してください。
- エンジンがACC ONの状態で録音しているときにエンジンをかけると、録音したデータが消失する場合があります。
- ノンストップCD(曲と曲の間に無音部分がないCD)を録音すると、曲間に無音部分が録音され不自然な音切れが発生することがあります。録音するディスクに依存します。
- MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALACは録音できません。
- 録音中は絶対にSDカードを取り出さないください。取り出すときは録音を停止してください。SDカード内のデータが破損する可能性があります。
- 録音中に以下の操作をすると録音を停止します。
 -  をタッチする(再生されている曲の頭からCDモードで再生します)
 - ディスプレイを開く(再生されている曲の頭からCDモードで再生します)
 - エンジンをACC ONからOFF(LOCK)にする(エンジンをかけると再生していた曲の続きからCDモードで再生します)

SDを再生する

1 [開/閉]スイッチを押し、オーディオメニューの **SD** にタッチする

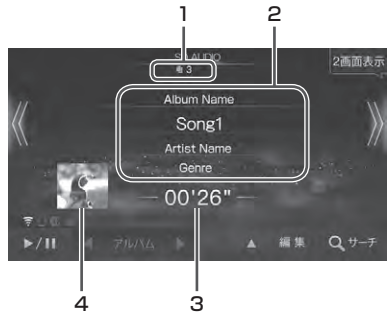


- SDカードが入っていない場合は、[開/閉]スイッチを押し、ディスプレイを開き、SDカードを本機に挿入してください(「SDカードを挿入する/取り出す」(17ページ参照))。
- [開/閉]スイッチを押し、ディスプレイを開くと、SDカードの再生が中断されます。
- SDカードを取り出すときは、データ保護のために必ず「SDメモリーカードへのアクセスを中断しました」のメッセージが表示されてから、SDカードを押し、引き抜いてください。
- [AV]スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声・映像はそのままオーディオソースをOFFにすることができます(「AUDIO OFF」61ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。

オーディオ再生モードとビデオ再生モードを切りかえる

SDカードにオーディオファイルとビデオファイルが混在する場合、本機が最初に読み込んだ種類のファイルのみ再生します。オーディオ再生とビデオ再生を切りかえる場合は、サーチ操作「SDオーディオの曲を探す」(78ページ)、「SDビデオの映像を探す」(79ページ)を行って、オーディオまたはビデオファイルを選択してください。

SDオーディオ操作を行う



- 1 曲番号**
再生している曲の番号が表示されます。
- 2 曲情報表示**
再生中の曲の曲名・アルバム名・アーティスト名が表示されます。
 - タッチすると、再生対象となっている曲名・アルバム名・アーティスト名をリスト表示します。リストから聴きたい曲・アルバム・アーティストを選ぶことができます。
- 3 再生時間表示**
再生中の曲の再生経過時間が表示されます。
- 4 アートワーク/イメージ表示**
再生中の曲に登録しているアルバムのジャケット画像などが表示されます。


⏮ (ダウンスイッチ) [⏮⏮]

再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。

⏭ (アップスイッチ) [⏭⏭]

次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。



再生を一時停止(ポーズ)します。一時停止中に  をタッチすると再生を開始します。

◀アーティスト▶ (ダイレクトアップ/ダウンスイッチ)

別のジャンルやアーティストなどの曲に切りかえて再生します。

- 画面に表示されるタッチスイッチは、サーチモードで決定したモードになります。

ダイレクトアップ/ダウンスイッチの種類:
ジャンル/アーティスト/アルバム/作曲家/プレイリスト



SDカード内の曲を順不同に再生することができます(ミックス再生)。

- もう一度 **SD** (ミックス) をタッチすると通常再生に戻ります。
- リピート再生・ミックス再生は同時に使用することはできません。

※ 例えば、サーチでアルバムを選択してからミックスモードにすると、アルバム内のミックス再生を行います。SD内全曲ミックス再生を行うには、サーチ画面の「曲」選択で何か曲を選んでから、ミックス再生を行ってください。



再生中の曲または再生リスト内の曲を繰り返し再生します(リピート再生)。タッチするたびにリピート再生の種類が変わります。

🔄 → 🔄 LIST → OFF → ...

🔄 : 1曲のみを繰り返し再生します。

🔄 LIST: 再生リスト内の曲のみを繰り返し再生します。

- リピート再生・ミックス再生は同時に使用することはできません。

編集

SDカードに録音させている曲の名称や演奏順などが編集できます(79ページ)。

サーチ

アルバムやアーティストごとにリスト表示させて聴きたい曲を選ぶことができます(78ページ)。サーチ画面で **Audio** にタッチします。

SDビデオ操作を行う

再生中に画面にタッチすると操作画面が表示されます。



操作スイッチ
切りかえ



1 映像番号

再生している映像の番号が表示されます。

2 映像情報表示

ファイル名と再生情報が表示されます。

3 再生時間表示

再生中の曲の再生経過時間が表示されます。

◀ (ダウンスイッチ) [◀◀◀]

再生中にタッチすると現在のファイルと前のファイルの頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。

頭出し: 現在のファイルの頭出しをします。続けてタッチすると前のファイルの頭出しをします。

早戻し: タッチし続けると8倍速で早戻しします。その状態でタッチし続けると、速度が16倍速→32倍速に切りかわります。指を離すと通常再生に戻ります。

▶▶▶ (アップスイッチ) [▶▶▶]

再生中にタッチすると次のファイルの頭出しをします。タッチし続けると早送りします。

頭出し: 次のファイルの頭出しをします。

早送り: タッチし続けると8倍速で早送りします。その状態でタッチし続けると、速度が16倍速→32倍速に切りかわります。指を離すと通常再生に戻ります。



再生を一時停止(ポーズ)します。一時停止中に **▶▶** をタッチすると再生を開始します。



再生を停止します。▶|| をタッチすると再生を開始します。

◀ フォルダ ▶

フォルダを選ぶことができます。タッチするたびに前後のフォルダに切りかわります。

音声/字幕

音声/字幕切替画面が表示されます。再生中に音声や字幕を切りかえることができます。

音声 : タッチするたびに収録されている音声を切りかえます。

字幕 : タッチするたびに収録されている字幕を切りかえます。

字幕ON : 字幕の表示/非表示を切りかえます。

- SDカードによっては切りかえができない場合があります。

サーチ

フォルダとファイルをリスト表示させて映像を選ぶことができます(79ページ)。サーチ画面で **Video** にタッチします。



気に入った場面を繰り返し再生することができます(リピート再生)。タッチするたびにリピート再生の種類が変わります。

🔄 → 🔄 LIST → OFF → ...

🔄 : 1つのファイルのみを繰り返し再生します。

🔄 LIST : 再生リスト内のファイルのみを繰り返し再生します。

画面設定

画質調整画面が表示されます(129ページ)。

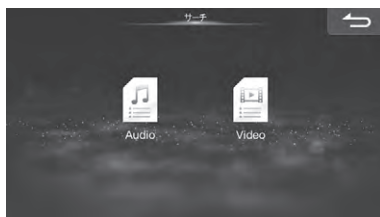
SDオーディオの曲を探す

オーディオデータのタグ情報を使ってジャンル/アーティスト/アルバム/曲/作曲家/プレイリストの検索することができます。またフォルダからファイルを検索することもできます。

- 1つのフォルダに1万曲以上格納されているとタグ情報を使用した検索が可能になるまで時間がかります。パソコン等を使用してSDカードに曲を保存する場合、複数のフォルダに分けて格納してください。

1 SD再生画面で **サーチ** にタッチする

2 **Audio** にタッチする



3 希望のサーチモードにタッチする



ジャンル

録音されているアルバムのジャンルのリストが表示されます。選んだジャンルの曲が再生されます。

アーティスト

アーティストのリストが表示されます。選んだアーティストの曲が再生されます。

アルバム

アルバムのリストが表示されます。選んだアルバムの1曲目から再生されます。

曲

録音されている曲名リストが表示されます。選んだ曲が再生されます。

プレイリスト

プレイリストのリストが表示されます。選んだプレイリストの曲が再生されます。

- プレイリストに曲を追加するには80ページを参照してください。

作曲家

作曲家のリストが表示されます。選んだ作曲家の曲が再生されます。

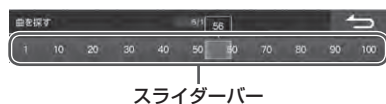
フォルダ

フォルダのリストが表示されます。選んだフォルダ内の曲が再生されます。

ダイレクトサーチ機能

リスト表示された曲などが多いときは、画面上部に表示されるスライダーバーの **1** ~ **100** のいずれかをタッチするとその近辺がリスト表示され、選びやすくなります。

例: リストされている曲が80曲あるとき、**50** を選択すると40曲目前後のリストが表示されます。

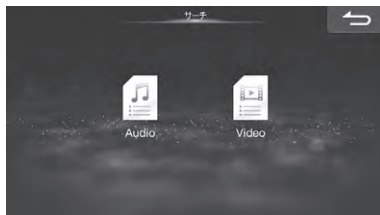


SDビデオの映像を探す

SDカード内のフォルダとファイルをサーチします。

1 SD再生画面で **サーチ** にタッチする

2 **Video** にタッチする



フォルダリストが表示されます。

3 フォルダを選んでタッチする



フォルダの中のファイルリストが表示されます。

4 再生したいファイルにタッチする

SDオーディオの録音曲を編集する

「SDカードに曲を録音する」(75ページ)でSDカードに録音した曲を編集します。

SD AUDIO再生画面から **編集** → **録音曲編集** の順にタッチすると録音曲編集画面が表示されます。編集したい曲が収録されているアルバムを選択します。

- 本機でCD再生しながら録音した曲のみ編集することができます。パソコン等を使用してSDカードに格納されたオーディオデータは編集画面に表示されません。
- 走行中は安全のため編集を行うことはできません。



演奏順UP/演奏順DN

SDカードに収録されているアルバムの中の曲順を変更します。

名称変更

SDカードに収録されている曲のアルバム名・アーティスト名・曲名・ジャンル・作曲者名を編集します。

消去

SDカードに録音されている曲やアルバムを消去します。

- 曲を選択して **消去** をタッチすると選んだ曲を削除します。 **消去** をタッチし続けると、再生中の曲が含まれているアルバムを削除します。
- プレイリストに登録されているSDカードの曲を消去すると、プレイリストからも曲が消去されます。

再取得

SDカードへの録音終了時に、自動的に付与されなかった曲のタイトルデータを本機に登録しているデータから再取得することができます。本機に登録がない場合は、インターネット上のGracenoteメディアデータベースからダウンロードすることができます。

- 本機と携帯電話を接続して、再取得画面で **通信** にタッチすると、Gracenoteメディアデータベースにアクセスします。オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」が必要です。96ページを参照してください。

SDオーディオのプレイリストを編集する

SD AUDIO再生画面から **編集** → **プレイリスト編集** の順にタッチするとプレイリスト編集画面が表示されます。

- プレイリスト再生中はプレイリストの編集はできません。
- 走行中は安全のため編集を行うことはできません。



名称変更

登録されているプレイリスト名を変更します。

編集

プレイリスト内の曲の消去や演奏順の変更を行うことができます。

消去： 選択した曲を消去します。タッチし続けるとリスト内の曲をすべて消去します。

演奏順UP / 演奏順DN： プレイリストの曲順を変更します。

- プレイリストから曲を消去しても、SDカードの音楽データは消去されません。

曲を追加

再生中の曲をプレイリストへ登録します。

- 1つのプレイリストに登録できる曲数は最大999曲です。
- 同じ曲を違うプレイリストに登録することもできます。また1つのプレイリストに何度も同じ曲を登録することができます。

HDMI操作

iPhoneやスマートフォンまたはビデオカメラなどを本機とHDMI接続し、ビデオ・音楽・写真などを再生することができます。お使いになるiPhoneやスマートフォン・ビデオカメラによりHDMI接続ケーブルが異なります。お使いになる機種に合う市販のHDMI接続ケーブルをご用意ください。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 本機で対応しているHDMI規格については「オーディオソースメディアについての注意」(163ページ)を参照してください。

HDMI/MHL対応機器(iPhoneやスマートフォンなど)をつないで使う

1 HDMI接続ケーブルで本機とHDMI/MHL機器を接続する

- 運転中はHDMI/MHL機器を接続しないでください。事故やケガの原因となります。
- HDMI/MHL機器を接続しても映像・音楽・写真などが再生できないときやHDMI/MHL機器を認識しない場合は、一度HDMI/MHL機器を外して再接続してください。
- HDMI/MHL機器に映像・音声出力設定がある場合は、本機に接続する際に「オン」にしてください。オンにしないと、映像・音声を本機に出力することができません。
- 本機とBluetooth接続している機器をHDMI/MHL接続すると、音声が出力されない場合があります。

2 [♪]スイッチを押し、オーディオメニューの **HDMI** にタッチする



3 HDMI/MHL機器でビデオ映像や写真の再生操作をする

- 運転中はHDMI/MHL機器を操作しないでください。事故やケガの原因となります。
- HDMI/MHL機器を使用しているときにエンジンをOFFにしてもHDMI/MHL機器の電源は切れません。HDMI/MHL本体の電源をOFFにしてください。
- お使いになる機種やコンテンツにより画像の表示品位が変わる場合があります。その場合には画面サイズの設定(129ページ)をしてください。
- 走行中は安全のため映像が消えて音声だけとなります。
- [AV]スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声・映像はそのままオーディオソースをOFFにすることができます([AUDIO OFF]61ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。

iPhone/iPod操作

iPhone/iPodを本機に接続して音楽を再生することができます。

- ビデオ再生を楽しむ場合には、iPhone/iPodをHDMI接続する必要があります。オーディオソースはHDMIとなります。
- 機種によってはBluetoothで接続できます。オーディオソースはBluetooth AUDIOとなります。詳しくは「Bluetoothオーディオ機器を接続する」(85ページ)を参照してください。
- iPhone/iPodなどは、車の中に放置したままにしないでください。車室内の熱による故障の原因になります。
- 本機で対応しているiPhone/iPodについては「オーディオソースメディアについての注意」(163ページ)を参照してください。

iPhone/iPodを聴く

1 USB接続ケーブルにLightningケーブルを使用してiPhone/iPodを接続する

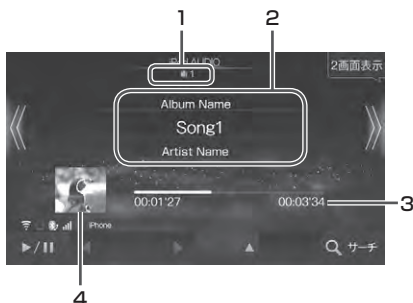
- 運転中はiPhone/iPodの接続や取り外し、操作はしないでください。事故やケガの原因になります。
- 運転中はiPhone/iPodのイヤホンを使用しないでください。事故やケガの原因になります。
- iPhone/iPodを接続しても音が出ないときや、iPhone/iPodを認識できない場合は、一度iPhone/iPodを外して再接続するか、iPhone/iPodのリセットを行ってください。
- 本機にiPhone/iPodを接続する前に、iPhone/iPodのイコライザー(EQ)機能を「オフ」に設定することをおすすめします。
- USBメモリー・Androidスマートフォン・iPhone/iPodを同時に接続することはできません。
- iPhone/iPodの機種によっては、本機と接続中はiPhoneのiPod機能とiPodは操作ができなくなります。
- iPod touchやiPhoneのインターネット機能や電話機能等は本機から操作することはできませんが、iPod touchやiPhone本体を操作して使用することができます。
- 「iPod自動ソース切替」(119ページ)を「する」に設定すると、iPod接続時に自動的にソースをiPodへ切りかえることができます。

2 [A]スイッチを押し、オーディオメニューの **iPod** にタッチする



- [AV]スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声・映像はそのままオーディオソースをOFFにすることができます(「AUDIO OFF」61ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。

iPhone/iPod操作を行う



- 1 曲番号**
再生している曲の番号が表示されます。
- 2 曲情報表示**
再生中の曲の曲名・アルバム名・アーティスト名が表示されます。
 - Podcast再生時は、エピソード名・番組名・放送日が表示されます。
 - タッチすると再生対象となっている曲名・アルバム名・アーティスト名をリスト表示します。リストから聴きたい曲・アルバム・アーティストを選ぶことができます。
- 3 再生時間表示**
再生中の曲の再生経過時間が表示されます。

4 アートワーク/イメージ表示

iPhone/iPodに登録しているアルバムのジャケット画像などが表示されます。

- アートワークデータを取得する間(最大3秒間)は操作を行うことができません。
- 1つの曲に複数のアートワークが設定されていても、取得できるアートワークは1つになります。カラーとモノクロのアートワークがある場合はカラーが、サイズの大きさに違いがある場合は大きなサイズのアートワークが優先して取得されません。

⏮ (ダウンスイッチ) [⏮⏮]

再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。

⏭ (アップスイッチ) [▶▶⏭]

次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。



再生を一時停止(ポーズ)します。一時停止中に をタッチすると再生を開始します。

◀アーティスト▶ (ダイレクトアップ/ダウンスイッチ)

別のジャンルやアーティストなどの曲に切りかえて再生します。

- 画面に表示されるタッチスイッチは、サーチモードで決定したモードになります。

ダイレクトアップ/ダウンスイッチの種類:

ジャンル/アーティスト/アルバム/プレイリスト/Podcast/作曲者



曲・アルバムなどを順不同に再生することができます(シャッフル再生)。タッチするたびにシャッフル再生の種類が変わります。

⏮ SONGS → ⏮ ALBUMS → OFF → …

⏮ SONGS:

サーチモードで曲を選択した場合に、選択したモード内のすべての曲を順不同に再生します。

⏮ ALBUMS:

サーチモードで曲を選択した場合に、選択したモード内のアルバムをランダムに選択し、アルバムの曲の順番どおりに再生します。

- サーチで選択したモードによってシャッフル再生の種類が異なります。



曲を繰り返し再生します(リピート再生)。タッチするたびにリピート再生の種類が変わります。

🔄 ALL → 🔄 → OFF → …

🔄 ALL: 全曲を繰り返し再生します。

🔄: 1曲のみを繰り返し再生します。

サーチ

アルバムやアーティストごとにリスト表示させて聴きたい曲を選ぶことができます(84ページ)。

iPhone/iPodの曲を探す

iPod AUDIO再生画面で「**検索**」をタッチすると、曲やアーティストの検索画面が表示されます。

オーディオデータのタグ情報を使って検索することができます。

- 1つのフォルダに1万曲以上格納されているとタグ情報を使用した検索が可能になるまで時間がかかります。



プレイリスト

プレイリストのリストが表示されます。選んだプレイリストの曲が再生されます。

- 本機は音楽データとビデオデータが混在しているプレイリストの再生には対応していません。再生すると不具合が生じる場合がありますので、自動的に音楽データとビデオデータが混在してしまう「トップ25」や「購入したもの」「最近再生した曲」などのプレイリストを選ぶときは注意してください。また、不具合が生じた場合にはiPodを取り外してリセットをしてください。

アーティスト

アーティストのリストが表示されます。選んだアーティストのアルバムが再生されます。

アルバム

アルバムのリストが表示されます。選んだアルバムの1曲目から再生されます。

曲

登録されている曲名リストが表示されます。選んだ曲が再生されます。

ジャンル

登録されているアルバムのジャンルのリストが表示されます。選んだジャンルのアルバムが再生されます。

Podcast

Podcastのリストが表示されます。

オーディオブック

オーディオブックのリストが表示されます。

作曲家

作曲家のリストが表示されます。選んだ作曲者の曲が再生されます。

Apple Music Radio

登録されているApple Music Radioのリストが表示されます。

アルファベット検索機能

リスト表示された曲などが多いときは、画面上部に表示されるスライダーバーの文字のいずれかをタッチすると、その文字から始まるタイトルがリスト表示され、選びやすくなります。



Bluetooth® オーディオ操作

Bluetoothオーディオ機器を接続する

携帯電話・スマートフォンなどのBluetoothオーディオ機器と本機をBluetoothで接続すると、本機で曲を再生することができます。初めてお使いになるときは、お使いのBluetoothオーディオ機器を以下の手順に従って本機に登録してください。

1 **[▲]スイッチ**を押し、**設定** → **通信設定** → **Bluetooth設定** の順にタッチする

2 **登録/変更** → **未登録** → **機器登録** の順にタッチする



- **登録/変更** をタッチした後にBluetooth機器との接続解除のメッセージが出てきた場合は **はい** を選択してください。
- 本機にはBluetooth機器を5台まで登録できますが、Bluetoothオーディオ機器として2台以上を同時に使うことはできません。

3 接続する機器のBluetooth機能をオンにし、接続する機器で本機を検索する

4 接続する機器にコードが表示されたら、ナビ画面のコードと同じであることを確認して登録する

5 **オーディオ** または **ハンズフリー+オーディオ** にタッチする

- Bluetoothオーディオとして使うときは **オーディオ**、Bluetoothオーディオとハンズフリー電話どちらにも使う場合は **ハンズフリー+オーディオ** にタッチします。

6 Bluetooth接続が開始される

- オンラインサービスの登録メッセージが表示されたら **はい** または **いいえ** を選択してください。**はい** にタッチした場合は、「[BIG X CONNECT]をインストールして本機と連携する」(97ページ)を参照してください。

7 **[♪]スイッチ**を押し、**Bluetooth AUDIO** をタッチする

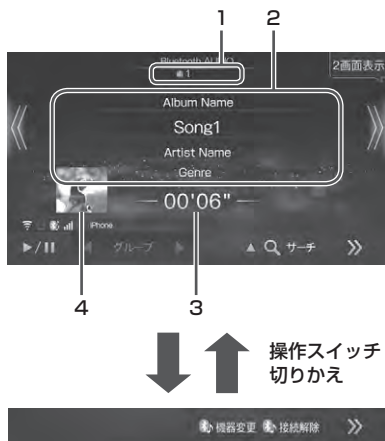
- Bluetooth機器によっては自動的に再生を開始します。自動的に再生を開始しない場合はBluetooth機器または本機から操作してください。
- **[AV]**スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声・映像はそのままオーディオソースをOFFにすることができます(「AUDIO OFF」61ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合にご使用ください。
- 接続したBluetooth機器のリストに、本機は「CAR NAVIGATION」と表示されます。
- **1** にタッチすると、接続した携帯電話の詳細情報を表示することができます。

Bluetoothオーディオ操作を行

う

お使いの携帯電話のAVRCP(Bluetooth接続して音楽再生するためのプロファイル)のバージョンによって、再生画面に表示される内容や操作が異なります。

- 下記の画面は、AVRCPバージョン1.6に対応したBluetoothオーディオ機器を接続したときの表示例です。
- Bluetoothオーディオ使用中にハンズフリー機能・Wi-Fi通信機能・電話帳転送機能を使用すると、一時的にBluetoothオーディオ機能が停止したり、音切れやAVプロファイルが切断されたりする場合があります。



1 曲番号

再生している曲の番号が表示されます。

2 曲情報表示

再生中の曲の曲名・アルバム名・アーティスト名・ジャンル名が表示されます。

- 接続するBluetooth機器によっては対応していない場合があります。
- 曲名表示部分にタッチすると、再生対象となっている曲名をリスト表示します。リストから聴きたい曲を選ぶことができます。

3 再生時間表示

再生中の曲の再生経過時間が表示されます。

4 ア트워크/イメージ表示

アルバムのジャケット画像などが表示されます。

- 接続するBluetooth機器によっては対応していない場合があります。
- 1つの曲に複数のア트워크が設定されていても、取得できるア트워크は1つになります。カラーとモノクロのア트워크がある場合はカラーが、サイズの大きさに違いがある場合は大きなサイズのア트워크が優先して取得されます。

◀ (ダウンスイッチ) [◀◀◀]

再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。

▶ (アップスイッチ) [▶▶▶]

次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。



再生を一時停止(ポーズ)します。一時停止中に▶▶をタッチすると再生を開始します。

◀ グループ ▶

別のグループの曲に切りかえて再生します。

- 接続するBluetooth機器によっては対応していない場合があります。



曲を順不同で再生します(ミックス再生)。タッチするたびにミックス再生の種類が変わります。

◀ GROUP → ◀ ALL → OFF → ...

◀ GROUP: グループ内の曲を順不同に再生します。

◀ ALL: 全曲を順不同に再生します。

- 接続するBluetooth機器によっては対応していない場合があります。
- 接続するBluetooth機器によってGROUP再生の範囲が異なります。



曲を繰り返し再生します(リピート再生)。タッチするたびにリピート再生の種類が変わります。

◀ → ◀ GROUP → ◀ ALL → OFF → ...

◀ : 1曲のみを繰り返し再生します。

◀ GROUP: グループ内の曲のみを繰り返し再生します。

◀ ALL: 全曲を繰り返し再生します。

- 接続するBluetooth機器によっては対応していない場合があります。
- 接続するBluetooth機器によってGROUP再生の範囲が異なります。

サーチ

再生対象となっている曲名をプレイリスト・アルバム・アーティストなどのリストで表示します。リストから聴きたい曲を選ぶことができます。

- 接続するBluetooth機器によっては対応していない場合があります。

機器変更

接続するBluetoothオーディオ機器を切りかえます。

- Bluetooth機器が1台も登録されていない場合、**機器設定** と表示され、Bluetooth機器を新規登録することができます。**機器設定** にタッチし、メッセージが表示されたら **はい** にタッチして「Bluetoothオーディオ機器を接続する」(85ページ)の手順2へ進んでください。

接続解除/再接続

登録しているBluetoothオーディオ機器と接続解除、または再接続します。

USB機器操作

本機にUSBメモリー /MTP接続したAndroidスマートフォンを接続して、音楽・動画を再生することができます。

USBメモリー /Androidスマートフォン のオーディオ/ビデオ データを再生する

1 USB接続ケーブルにUSBメモリー、 またはスマートフォン付属のケーブル を使用してAndroidスマートフォンを 接続する

- 運転中はUSBメモリー・Androidスマートフォンの接続や取り外しはしないでください。事故やケガの原因になります。
- USBメモリー・Androidスマートフォンを接続しても音が出ないときやUSBメモリー・Androidスマートフォンを認識しない場合は、一度取り外して再接続してください。
- USBメモリー・Androidスマートフォン・iPhone/iPodを同時に接続することはできません。

2 [♪]スイッチを押し、オーディオメニューの **USB** または **MTP** にタッチする

■ USBメモリー接続時表示例



■ Androidスマートフォン接続時表示例



- USBメモリー /Androidスマートフォンの操作方はSDカードと同様になります。詳しくは76ページを参照してください。
- 再生できるUSBメモリーおよびファイルの種類などについては「本機対応のフォーマットについて」(166ページ)を参照してください。
- Androidスマートフォンでは、データが格納されているフォルダ名称によって本機で再生できない場合があります。Android、DCIM、Download、Pictures、Camera等のフォルダにデータが格納されている場合は、別な名称のフォルダに移動して再生してください。
- [AV]スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声・映像はそのままオーディオソースをOFFにすることができます([AUDIO OFF]61ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。

外部機器操作

外部機器の接続方法については、取付説明書を参照してください。

外部機器(ドライブレコーダーやゲームなど)の映像を見る

1 [♪]スイッチを押し、オーディオメニューの **外部入力** にタッチする

- 著作権保護(コピーガード)の信号が記録されている映像はディーラーオプションのリヤモニターに表示できません。

外部接続機器を設定する

別売のドライブレコーダーや市販のゲーム機などを本機に接続したら、外部接続機器を設定してください。設定した表示名がソース名称として表示されます(初期設定は「外部入力」)。

- 市販品についてはSUBARUの保証対象外となります。

1 外部接続機器選択画面は[▲]スイッチを押し、**設定** → **各種設定** → **接続機器** タブ → **外部接続機器選択**の順にタッチする

- 接続した機器に合わせて選択してください。選んだ表示名が外部入力モードのソース名として表示されます。
- 別売のドライブレコーダーを接続した場合は、自動的に **ドライブレコーダー** に設定され、「外部接続機器選択」は設定できません。
- 接続する外部機器によっては、音声ハウリングする場合があります。
- 走行中は安全のため映像が消えて音声だけとなります。

ドライブレコーダーのカメラ映像を表示する

別売のドライブレコーダー接続時は、ドライブレコーダーのカメラ映像を本機に表示することができます。

- 本機にカメラ映像を表示できるドライブレコーダーについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ドライブレコーダーの操作について詳しくは「ドライブレコーダー操作」(144ページ)を参照してください。

1 [♪]スイッチを押し、オーディオメニューの **ドライブレコーダー** にタッチする

ドライブレコーダー画面を表示します。

2 **カメラモニター** にタッチする

カメラ映像が表示されます。

- 録画した映像の再生はできません。

4. 電話

携帯電話・スマートフォンを接続する

Bluetooth対応の携帯電話を本機とBluetooth接続することでハンズフリー通話ができます。ハンズフリー電話を使うと、本機から電話をかけたり受けたりすることができ、運転中でも携帯電話を持たないで通話することができます。また本機に携帯電話の電話帳を読み込んで電話をかけることもできます。

初めてお使いになるときは、お使いの携帯電話を以下の手順に従って本機に登録してください。登録した携帯電話は、Bluetooth機能がONになっていれば、エンジンをACCまたはONにするだけで本機と自動的に接続されます。

- Bluetooth2.0以下のBluetooth機器は接続できません。

1 [▲]スイッチを押し、**設定** → **通信設定** → **Bluetooth設定** の順にタッチする

2 **登録/変更** → **未登録** → **機器登録** の順にタッチする



- 登録/変更** をタッチした後にBluetooth機器との接続解除のメッセージが表示された場合は **はい** を選択してください。
- 本機にはBluetooth機器を5台まで登録できますが、2台以上の携帯電話をハンズフリー機器として同時に使うことはできません。複数台を登録したときは、利用する携帯電話を切りかえてお使いください。

3 携帯電話のBluetooth機能をオンにし、携帯電話で本機を検索する

4 携帯電話にコードが表示されたら、ナビ画面のコードと同じであることを確認して登録する

5 **ハンズフリー** または **ハンズフリー+オーディオ** にタッチする

- ハンズフリー電話としてお使いになるときは **ハンズフリー**、ハンズフリー電話とBluetoothオーディオどちらにもお使いになる場合は **ハンズフリー+オーディオ** にタッチします。
- Bluetoothオーディオとしてお使いになる場合は **オーディオ** にタッチします。(85ページ)

6 Bluetooth接続が開始される

- オンラインサービスの登録メッセージが表示されたら **はい** または **いいえ** を選択してください。**はい** にタッチした場合は、「BIG X CONNECT」をインストールして本機と連携する(97ページ)を参照してください。
- Bluetooth機器設定画面に戻ります。
- 接続した携帯電話のBluetooth機器リストには「CAR NAVIGATION」と表示されます。
- 登録した携帯電話が音楽機能つきの場合は、携帯電話の音楽も再生できます。
- i** にタッチすると、接続した携帯電話の詳細情報を表示することができます。

長期間接続していないBluetooth機器のお知らせ機能

60日以上本機とBluetooth接続していないBluetooth機器がある場合、本機起動時にお知らせメッセージが表示されます。



- Bluetooth機器が1台も登録されていない場合は **機器設定** と表示され、機器登録を行うことができます。

消去する : 表示されたBluetooth機器の登録が消去されます。

消去しない : 登録は消去されず、次回本機起動時に再度通知されます。

今後表示しない : 登録は消去されず、次回起動時から通知は行われません。

携帯電話の接続を解除する/再接続する

Bluetooth接続を解除します。

- 1 **[⏻]**スイッチを押し、**ハンズフリー** にタッチする
- 2 **接続解除** にタッチする
接続解除 が **再接続** に変わります。
- 3 再度Bluetooth接続を行うときは **再接続** にタッチする

接続する携帯電話を変更する

- 1 **[⏻]**スイッチを押し、**ハンズフリー** にタッチする
- 2 **機器変更** にタッチする
登録した携帯電話がリスト表示されます。
- 3 接続する携帯電話にタッチする

電話をかける・受ける

ハンズフリーで通話するときには窓を閉め、大きめの声ではっきりお話しください。

電話をかける

- 1 [Ⓜ]スイッチを押し、**ハンズフリー** にタッチする
- 2 電話をかける方法を選ぶ



- 走行中は短縮ダイヤルとリダイヤル以外は無効です。
 - 短縮ダイヤルとリダイヤル発信のときは手順3は不要です。
- 3 電話をかけたい相手を選び、**発信** にタッチする

- 通話を終了するには **終了** にタッチしてください。地図画面などを表示しているときは、**電話** にタッチして通話中画面に切りかえ、**終了** にタッチします。

通話履歴

携帯電話の発信履歴/着信履歴を使用して電話をかけます。

- 通話履歴合計60件まで表示します。60件を超えると古いものから削除されます。
- 携帯電話の履歴を自動的に同期するかどうか設定できます(「履歴自動同期」132ページ)。
- 通話履歴を消去したいときは、通話履歴画面で消去したい相手を選び、**消去** をタッチします。**消去** をタッチしたままにすると履歴をすべて消去できます。ただし「履歴自動同期」(132ページ)が「する」に設定されている場合は、履歴を消去することはできません。

番号入力

相手の電話番号を入力して電話をかけます。電話番号は市外局番から入力してください。

電話帳

携帯電話の電話帳を本機に読み込んでおくと、本機の電話帳から電話をかけることができます。

- 取り込んだ電話帳を消去したいときは、電話帳画面で消去したい相手を選び、**消去** をタッチします。**消去** をタッチしたままにすると取り込んだ電話帳をすべて消去できます。ただし「電話帳自動同期」(132ページ)が「する」に設定されている場合は、電話帳を消去することはできません。また、本機の電話帳を消去しても携帯電話からは消去されません。
- **i** にタッチすると、読み込んだ電話番号の詳細情報を表示することができます。
- 電話帳の読み込みについては95ページを参照してください。

短縮ダイヤル

短縮ダイヤルに登録した相手に電話をかけます。

■ 短縮ダイヤルに登録するには

本機に読み込んだ電話帳から短縮ダイヤルに登録します。

- 1 [Ⓜ]スイッチを押し → **ハンズフリー** → **電話帳** の順にタッチ
- 2 短縮ダイヤルに登録したい相手を選択してタッチ
- 3 **i** → **電話番号** タブの順にタッチ
- 4 登録したい電話番号を選択してタッチ → **短縮登録** にタッチ
- 5 登録する短縮ダイヤルを選択
 - 短縮ダイヤルに登録されている電話番号には電話帳詳細情報画面に **1** **2** **3** のアイコンが表示されます。
 - 上記手順5で登録済みの短縮ダイヤルを選ぶと電話番号が上書きされます。
 - 手順5で **登録解除** にタッチすると、短縮ダイヤルを解除できます。

リダイヤル

直前にかけた相手に電話をかけます。

電話を受ける

1 電話がかかってきたら **開始** にタッチする

■ 着信全画面割込み設定が「する」の場合



■ 着信全画面割込み設定が「しない」の場合



- 電話がかかってくると着信音が鳴り、着信メッセージが表示されます。テレビの音声や音楽などはオフになります。着信メッセージ画面の大きさは変更できます（「着信全画面割込み」132ページ）。
- 通話を終了するには **終了** にタッチしてください。地図画面などを表示しているときは、**電話** にタッチして通話中画面に切り替え、**終了** にタッチします。通話を終了すると自動で元のソースに切りかわり、元の画面に戻ります。
- 応答拒否** にタッチすると、着信状態を解除します。なお、お使いの携帯電話によっては応答拒否機能が使用できない場合があります。
- かかってきた電話を自動的に受けるように設定することができます（「自動着信」132ページ）。
- 本機の電話帳に相手の名前と電話番号を登録しておくと、電話がかかってきたときにその名前と電話番号が画面に表示されます（相手が電話番号を通知して発信した場合）。登録してある画像を表示することもできます（「画像ファイル読み込み設定」132ページ）。
- 携帯電話で応答時間を設定している場合は携帯電話の設定が優先されます。

通話中の操作

通話中は下記の通話中画面が表示され、音量調整などを行うことができます。



1 名前

電話帳に登録されている名前が表示されます。

- 電話帳に登録した相手・登録地点・検索した施設に電話をかけた場合にのみ表示されます。非通知発信の場合は表示されません。
- 画面に名前を表示しないようにすることもできます（「着信・通話画面情報表示」132ページ）。

2 電話番号

相手の電話番号が表示されます。

- 相手が電話番号を通知してこない場合などは何も表示されません。
- 画面に電話番号を表示しないようにすることもできます（「着信・通話画面情報表示」132ページ）。

3 通話時間

4 画像

電話帳に登録されている画像を読み込んだ場合、その画像が表示されます。

送話音量/受話音量

現在の音量が表示されます。◀ または ▶ をタッチすると音量を調整できます。

ナビ/携帯

本機のハンズフリー機能で通話するか、携帯電話で通話するかを切りかえます。

- ハンズフリー通話の場合：
- 携帯電話での通話の場合：
- 携帯電話で通話になっている場合でも、着信音は携帯電話とナビゲーションの両方で鳴ります。

トーン

トーン発信用の数字入力画面を表示します。

- 音声ガイダンスなどに従って数字を入力する必要があるときなどにタッチしてください。

終了

通話を終了します。

三者通話を行う

三者通話サービスに対応している携帯電話が接続されているときに、三者通話を行うことができます。通話中に電話をかける、または電話を受けることができます。



通話中電話をかける

1 発信 にタッチする



ハンズフリーメニュー画面が表示されます。発信方法を選んで電話をかけます。

通話中電話を受ける

1 開始 にタッチする



かかってきた電話と通話状態になり、今までの電話は保留中になります。

2 三者通話 にタッチする



三者通話をせずに通話相手を切りかえるには、**通話切替** にタッチします。

電話帳を読み込む

本機の電話帳は携帯電話の電話帳を読み込んで登録します。本機に電話帳を登録しておく、電話帳から電話をかけたり短縮ダイヤルを登録したりすることができます。

1 携帯電話を本機と接続する

2 [△]スイッチを押し、**ハンズフリー** → **電話帳読み込み** → **追加** の順にタッチする



- 電話帳を読み込む携帯電話がPBAPのプロファイルに対応している場合は、**追加** をタッチするか代わりに **同期** をタッチすると、本機の電話帳がすべて更新されます。

3 携帯電話から電話帳を転送する

本機に電話帳が登録されます。

- 携帯電話の電話帳を自動的に同期するかどうか設定できます（「電話帳自動同期」132ページ）。
- 電話帳に登録されている画像ファイルを読み込むかどうか設定できます（「画像ファイル読み込み設定」132ページ）。読み込みできる画像ファイルは携帯電話5台分合計で最大3000枚です。携帯電話によっては画像が読み込めない場合があります。
- 本機の電話帳には携帯電話1台につき最大3000件まで登録できます。
- 電話帳1件あたり最大5つまで電話番号を読み込むことができます。
- 取り込み可能な名称・読みは32文字まで、電話番号は31桁までです。
- 長い名称や電話番号は一部が表示されない場合があります。

5. 情報・更新

オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」を使う

オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」をiPhoneまたはAndroidスマートフォンにインストールして本機を便利に使うことができます。

本機と連動して次の機能を使用することができます。

- 地図更新
- データ更新(本機プログラム、Gracenoteデータベース)
- アプリで見つけた行きたい場所を本機に送信
 - 本機で目的地・経由地として設定することができます。



ナビに送信

- ルート案内中、おすすめの立ち寄り地点を本機に送信

- 本機で目的地・経由地として設定することができます。
- お出かけ中にすぐに欲しい情報もサポートします。



お出かけサポート

また、本機のログデータをアルプスアルパイン株式会社またはそのグループ会社が管理するサーバーへアップロードします。ログデータは、今後の製品開発や不具合が発生した際のログ解析などの用途で使用させていただきます。

- 「BIG X CONNECT」(iOS版/Android版)は無料で利用することができます。
- 本機はNTTドコモ・au・ソフトバンクのスマートフォンに対応しています。動作確認済みのスマートフォン機種についてはアルパインのホームページ(<https://www.alpine.co.jp/dealer-option/subaru/>)を参照してください。
- 「BIG X CONNECT」の詳細については、アルパインのホームページ(<https://www.alpine.co.jp>)を参照してください。
- 「BIG X CONNECT」を利用すると通信費が発生します。通信費はお客様負担となります。

「BIG X CONNECT」をインストールして本機と連携する

App StoreまたはGoogle Playで「BIG X CONNECT」を検索するか、下記QRコードを読み込んだリンク先でアプリをスマートフォンにインストールしてください。



本機では下記手順でQRコードを表示し、本機と連携できます。

- クイックセットアップ時にもQRコードが表示されます(4ページ)。

1 [🔍]スイッチを押し、設定 → 通信設定 → オンラインサービス設定の順にタッチする

- 「BIG X CONNECT」がインストールされていない場合は、インストールしてください。

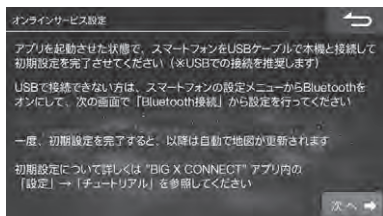


インストール後、スマートフォンと本機を接続します。iPhoneとAndroidスマートフォンでは接続方法が異なります。

■ iPhoneのお客様

2 iPhoneで「BIG X CONNECT」を立ち上げ、iPhoneをお使いの方 にタッチする

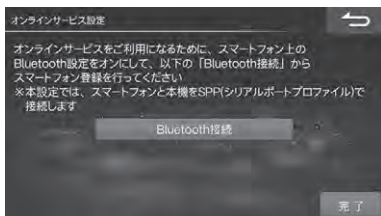
3 添付のUSBケーブルで本機とiPhoneを接続する



4 次へ にタッチする

5 Bluetooth接続 にタッチし、iPhoneの名称が表示されているのを確認したら 接続 にタッチする

Bluetooth接続が完了し、手順1の画面に戻ります。



- 他のiPhoneで「NaviCon」を使用する場合は、機器設定 にタッチします。以降の操作は、「携帯電話・スマートフォンを接続する」(90ページ) 手順2～6を参照してください。
- 「NaviCon」を使用しない場合は 完了 にタッチしてください。

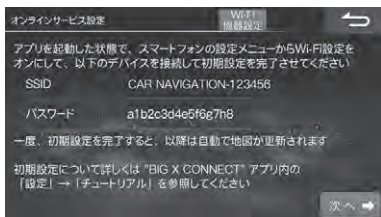
■ Androidスマートフォンのお客様

2 スマートフォンで「BIG X CONNECT」を立ち上げ、Androidをお使いの方 にタッチする

3 スマートフォンの設定画面を開いてWi-Fi機能をONにし、スマートフォンから本機を検索する

- 本機名称の初期値は「CAR NAVIGATION-xxxxxx」(6桁の数字)です。

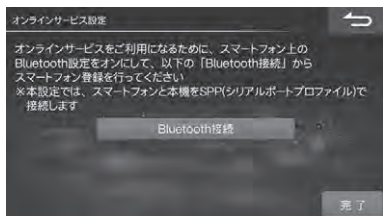
4 スマートフォンに本機Wi-Fiパスワードを入力して本機を登録する



5 次へ にタッチする

6 Bluetooth接続 にタッチする

「NaviCon」(100ページ)を使用するために、スマートフォンを本機とSPP(シリアルポートプロファイル)で接続します。



- 「NaviCon」を使用しない場合は **完了** にタッチしてください。

7 本機画面にスマートフォンの名称が表示されているのを確認したら、スマートフォンで「NaviCon」を立ち上げ、本機と接続設定を行う

「NaviCon」との接続が完了し、手順1の画面に戻ります。

- スマートフォン側での接続先設定が必要になります。NaviConの「設定」メニュー→「接続先設定」→本機(初期設定は「CAR NAVIGATION」と表示)を選択して「完了」をタッチしてください。
- 他のスマートフォンで「NaviCon」を使用する場合は、**機器設定** にタッチします。以降の操作は、「携帯電話・スマートフォンを接続する」(90ページ)手順2～6を参照してください。

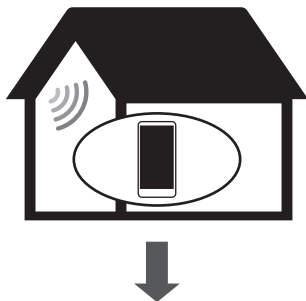
地図データを更新する

地図データなどの更新用データは自宅のWi-Fi接続時にスマートフォンにダウンロードされます。ダウンロードされたデータは、スマートフォンと本機が接続されると自動的に本機に転送されます。転送が完了したデータは削除されます。

ダウンロードされるデータの大きさはスマートフォンの空きストレージ容量で変わり、一度にダウンロードできない場合は数回に分けてスマートフォンへのダウンロード・本機への転送を自動で繰り返します。更新に必要なデータがすべて転送されると、本機のデータ更新が開始されます。

- 「地図更新について」(102ページ)も参照してください。
- iPhoneから地図データを転送するときは、iPhoneをUSB接続で本機と接続してください。

■ 自宅で最新データをスマートフォンに自動でダウンロード



■ スマートフォンを持って車に乗ると本機のデータを自動で更新



1 インストールが可能になると本機に確認メッセージが表示される。


今すぐインストール または **後でする** を選んでタッチする

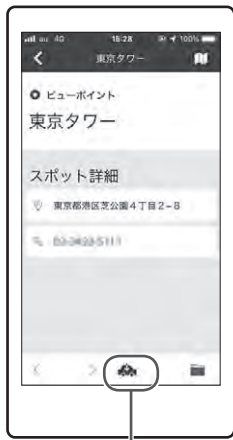
- すぐにインストールをしない場合は **後でする** にタッチします。

2 **インストール開始** にタッチし、確認画面が表示されたら **はい** にタッチする

目的地・経由地を設定する

アプリから簡単に行きたい場所を本機に送信することができます。最大5つの地点を送信できます。

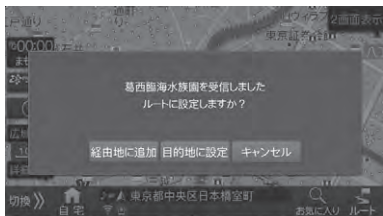
- 1 スマートフォンを操作して「BIG X CONNECT」を起動する
- 2 行きたい場所の記事画面で「」をタップする



タップするとナビへ送信します。

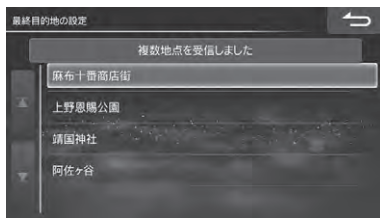
3 送信された地点が目的地に設定され、ルートが設定される

- すでに目的地が設定されている場合は、**目的地に設定** または **経由地に追加** にタッチします。



複数地点が送信された場合

1 最終目的地設定画面で地点を選んでタッチする



残りの地点は経由地に設定されます。

2 ルート取り込み画面で立ち寄り順序を編集し、完了にタッチする



ルートが設定されます。

- **上へ移動** または **下へ移動** にタッチすると経由地の順番を入れかえることができます。**周遊** にタッチすると近い順に経由地を並べることができます

「NaviCon」を使う

株式会社デンソーが提供するスマートフォン向けアプリケーションです。

NaviConは多彩な連携アプリで探した行先を、ワンタッチでカーナビに転送し目的地に設定できるお出かけサポートアプリです。

- NaviConは、他のスマートフォン検索アプリと連携することができます。また、他のアプリで検索した地点情報や店舗情報をNaviCon上に取り込むこともできます。連携できるアプリの種類や詳細についてはNaviConサポートサイト(<https://navicon.com/user/support/>)を参照してください。
 - スマートフォンの連絡先などに登録されている住所情報を「NaviCon」に取り込み、取り込んだ地点情報をNaviConで目的地に設定することができます。
- NaviCon (iOS版/Android版)は無料で利用することができます。「NaviCon」をApp StoreまたはGoogle Playからスマートフォンにインストール方法についてはNaviConサポートサイト(<https://navicon.com/user/support/>)を参照してください。
 - 一部機能については走行中の操作はできません。
 - 本機はNTTドコモ・au・ソフトバンクのスマートフォンに対応しています。動作確認済みのスマートフォン機種についてはアルパインのホームページ(<https://www.alpine.co.jp/dealer-option/subaru/>)を参照してください。
 - 「NaviCon」を利用すると通信費が発生します。通信費はお客様負担となります。

「NaviCon」をインストールして本機と連携する

1 スマートフォンを操作してApp StoreまたはGoogle Playからアプリケーション「NaviCon」をダウンロードする



2 本機にスマートフォンをBluetooth接続する

- 接続方法については、「[BIG X CONNECT]をインストールして本機と連携する」(97ページ)を参照してください。
- iPhoneの場合は、添付のUSBケーブルで本機とiPhoneを接続しても「NaviCon」と連携ができます。

3 スマートフォンを操作して「NaviCon」を起動する

- NaviConが起動し、本機との接続が完了するとNaviConの接続インジケータ表示が「ONLINE」になり、スマートフォンと本機の画面上に同じ位置の地図が表示されます。ナビ画面の状態・使用アプリによっては地図表示がされない場合があります。
- Androidスマートフォンの場合、スマートフォン側での接続先設定が必要になります。NaviConの「設定」メニュー→「接続先設定」→本機(初期設定は「CAR NAVIGATION」と表示)を選択して「完了」をタッチしてください。
- 安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。

目的地・経由地を設定する

NaviConで検索した地点をBluetooth通信で本機側へ転送し、本機側で目的地設定・案内することができます。

- **上へ移動** または **下へ移動** にタッチすると経由地の順番を入れかえることができます。**周遊** にタッチすると近い順に経由地を並べることができます

1 スマートフォンを操作して「NaviCon」を起動する

2 NaviConから本機に地点情報を転送する

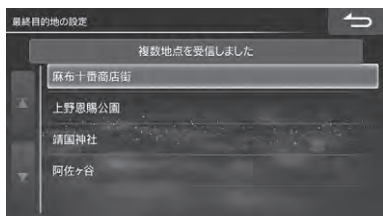
転送された場所が本機に画面表示されます。

- 地点情報の転送方法についてはNaviConの操作方法をご覧ください。
- 有料道路付近の施設に目的地・経由地を設定しても、一般道路に設定される場合があります。目的地・経由地を有料道路に設定する場合は、ルートの条件変更(51ページ)で **一般** **有料** を再度選択してください。

3 本機の地図画面上で目的地設定を行い、**案内開始** をタッチする

複数地点が送信された場合

1 最終目的地設定画面で地点を選んでタッチする



残りの地点は経由地に設定されます。

2 ルート取り込み画面で立ち寄り順序を編集し、**完了** にタッチする



ルートが設定されます。

地図更新について

地図更新には、全国地図データ年度更新と、最新の高速道データだけを更新する高速道配信があります。年度更新と年度更新の間の期間中は、複数回の高速道配信が行われます。

全国の地図データ年度更新サービスは、2021年度版～2023年度の3回の更新を無償で行うことができます。2024年度以降の地図データ更新は有償の「地図更新データ」が必要になります。

■「お客様登録」のお願い

地図更新のご案内などのためにアルパインホームページで「お客様登録」を行ってください。

Webサイト <https://www.alpine.co.jp/dealer-option/subaru/>

- 本製品に同梱されている地図更新DVDディスク送付申込ハガキでもお客様登録が行えます。必要事項を記入のうえ送付してください。

地図更新の方法について

地図データ更新はオリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」をインストールしたiPhoneまたはAndroidスマートフォンを本機と接続して行います。1年分の年度更新データと高速道配信データを自動で更新することができます。「オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」を使う」(96ページ)を参照してください。

- 「BIG X CONNECT」を使用しない場合、高速道配信データはSDカードまたはUSBメモリーを使用して更新することができます。「メディアデータ更新」(104ページ)を参照してください。
- 「BIG X CONNECT」を使用しない場合の年度更新や、一度に2年分以上まとめて年度更新をする場合などは、地図更新用データディスク(DVD-ROM)を使用します。更新方法については地図更新用データディスクに添付されている取扱説明書を参照してください。
- 地図更新や高速道配信スケジュールは変更する場合があります。詳しくは、アルパインホームページをご覧ください。

個人情報のお取扱いについて

「個人情報のお取扱いについて」に関し、ご確認・同意いただいた上で地図更新DVDディスク送付申込ハガキをご送付ください。

(1) 個人情報保護方針

お客様から取得した個人情報は、「個人情報保護方針」に則って適切に取扱います。

個人情報保護方針(<https://www.alpine.co.jp/privacy/policy/>)

(2) 個人情報取扱事業者名(当社名)

アルプスアルパイン株式会社、アルパインマーケティング株式会社及びアルパインカスタマーズサービス株式会社

(3) 個人情報の利用目的

お客様の個人情報は、地図更新DVDディスクの送付及び各種企画・商品に関するご案内の目的で利用されます。

(4) 個人情報の提供

当社は、次の場合を除き、お客様の個人情報を第三者に提供しません。

- お客様ご本人の同意がある場合
- 法的な根拠に基づいて開示が要求された場合
- 人の生命、身体又は財産の保護のために必要であって、お客様ご本人の同意を取ることが困難であるとき
- お客様に明示した目的を実施するために、当社の業務委託先に開示する必要がある場合
- 合併、会社分割、営業譲渡その他の事由による事業の承継に伴って開示する場合
- 国の機関もしくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する場合であって、お客様ご本人の同意を得ることによって当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき

(5) 個人情報の開示、訂正、利用停止等について

お客様が個人情報の開示、訂正、削除などを希望される場合には、「アルパイン・インフォメーションセンター」までお問い合わせください。当社は、お客様ご自身、もしくは代理人(お客様ご本人から委任された方、または親権者などの法定代理人)からのお問い合わせであることを確認させていただいた上で、合理的な期間及び範囲で対応いたします。

オンラインデータ更新

オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」を使ってデータ更新を行う

更新可能なデータがある場合はメッセージで通知されます。手動でデータ更新をする場合は下記操作を行います。

- 1 **[Ⓜ]**スイッチを押し、**情報/更新** にタッチする
- 2 **オンライン更新** タブにタッチし、**データ更新** にタッチする
更新可能なデータリストが表示されます。
- 3 **インストール開始** にタッチし、確認画面が表示されたら **はい** にタッチする

メディアデータ更新

パソコンを利用して更新データをダウンロードし、SDカード/USBメモリーに保存して本機に接続するとデータを更新できます。

- お客様登録が必要です。アルパインホームページ
<https://www.alpine.co.jp/dealer-option/subaru/>

1 **[Ⓜ]**スイッチを押し、**情報/更新** にタッチする

2 **メディア更新** タブにタッチし、**SDで更新** または **USBで更新** にタッチする



更新可能なデータリストが表示されます。

3 **インストール開始** にタッチし、確認画面が表示されたら **はい** にタッチする

VICS情報を見る

- 1 [Ⓐ]スイッチを押し、**情報/更新** にタッチする
- 2 **VICS情報** タブにタッチし、**確認したい情報**にタッチする



気象警報/災害エリア

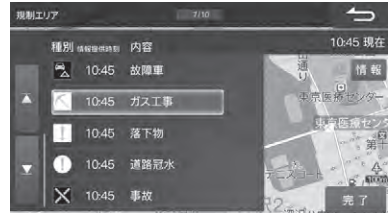
大雨・大雪・津波など異常気象や災害に関する情報のリストを表示します。



- 走行中は安全のためリストは2行のみ表示されます。
- 気象警報・災害エリアリストは、特別警報アイコンが表示されたVICSタイムスタンプにタッチしても表示されません(29ページ)。
- リスト表示画面で **特別警報** **全情報** にタッチすると、特別警報リストと全情報リストを切りかえることができます。
- リストを選択して **情報** にタッチすると詳細情報を見ることができます。
- リストを選択して **完了** または地図にタッチすると、対象となっている地点を地図上で確認できます(「規制や災害エリアの表示例」59ページ)。
- リストには警報や注意報の種類に応じたアイコンが表示されます。表示されるアイコンおよび地図上のマークは「VICS情報マーク一覧」(60ページ)を参照してください。

規制エリア

規制・事故・災害・異常気象などが発生しているエリアのリストを表示します。



- 走行中は安全のためリストは2行のみ表示されます。
- リストを選択して **情報** にタッチすると詳細情報を見ることができます。
- リストを選択して **完了** または地図にタッチすると、対象となっている地点を地図上で確認できます(「規制や災害エリアの表示例」59ページ)。
- リストには規制の種類に応じたアイコンが表示されません。表示されるアイコンおよび地図上のマークは「VICS情報マーク一覧」(60ページ)を参照してください。

割込み情報

ETC2.0車載器で、割り込みされたVICS割込み情報を呼び出して見ることができます。



- ディーラーオプションのETC2.0車載器が接続されていれば、自動で割り込まれるように初期設定されています(「情報割込み」117ページ)。自動割り込みを解除することもできます。

交通情報

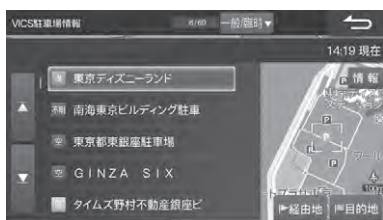
道路状況を文字または簡易図形として表示します。



- 番号にタッチすると情報を確認することができます。
- 文字 図形 にタッチすると文字情報・図形情報を切りかえることができます。

駐車場情報

VICSと提携している駐車場(一般駐車場/臨時駐車場)リストを、高速道路ではサービスエリア(SA)/パーキングエリア(PA)のリストを表示します。



- 走行中は安全のため駐車場リストは2行のみ表示されます。
- リスト表示画面で **一般/臨時 SA・PA** にタッチすると、駐車場リストとSA/PAリストを切りかえることができます。
- リストを選択して **情報** にタッチすると詳細情報を見ることができます。
- 地図上の駐車場マークをタッチしても情報を表示することができます。 **情報** にタッチすると詳細情報を表示します。 **次へ** にタッチすると近くの駐車場を選択できます(58ページ)。
- リストには利用状況に応じたアイコンが表示されます。表示されるアイコンおよび地図上のマークは「VICS情報の表示例」(58ページ)および「VICS情報マーク一覧」(60ページ)を参照してください。

充電施設

電気自動車の充電施設のリストを表示します。



- 走行中は安全のためリストは2行のみ表示されます。
- リストを選択して **情報** にタッチすると詳細情報を見ることができます。
- 地図上の充電施設マークをタッチしても情報を表示することができます。 **情報** にタッチすると詳細情報を表示します。 **次へ** にタッチすると近くの充電施設を選択できます(58ページ)。
- リストには充電施設の種類に応じたアイコンが表示されます。表示されるアイコンおよび地図上のマークは「VICS情報の表示例」(58ページ)および「VICS情報マーク一覧」(60ページ)を参照してください。

予告配信

規制やイベントなどが予定されているエリアのリストを表示します。



- 走行中は安全のためリストは2行のみ表示されます。
- リストを選択して **情報** にタッチすると詳細情報を見ることができます。
- リストを選択して **完了** または地図にタッチすると、対象となっている地点を地図上で確認できます(「規制や災害エリアの表示例」59ページ)。
- リストには規制の種類に応じたアイコンが表示されます。表示されるアイコンおよび地図上のマークは「VICS情報の表示例」(58ページ)、および「VICS情報マーク一覧」(60ページ)を参照してください。

放送局選択

VICS情報を受信するための放送局を設定します。受信する地域は自動選択で設定されますが、特定の地域を選択することもできます。



初期設定値：自動選択・特定の地域を指定する場合は **エリア選択** にタッチし、都道府県を指定してください。

- 放送局の周波数を指定する場合は **周波数選択** にタッチし ▼ または ▲ で周波数を指定してください。

車両情報について

1 [▲]スイッチを押し、**情報/更新** にタッチする

2 **車両情報** タブにタッチし、**GPS情報**
車両情報 **メンテナンス** のいずれかにタッチする



GPS情報を見る

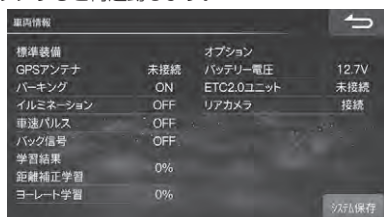
衛星情報画面が表示されます

- 衛星(GPS・みちびき等)の受信情報を表示します。

車両情報を見る

GPSアンテナや周辺機器の接続状況、車速パルスなどの信号のON/OFF、距離補正学習やヨーレート学習の学習結果を表示することができます。

- **システム保存** をタッチするとシステム設定を保存します。電源OFF時に保存される情報ですので、通常はこの機能を使用する必要はありません。**はい** をタッチすると再起動します。



メンテナンス機能

車速・GPSアンテナからの情報をもとに、エンジンオイル・タイヤなど車両に関する各種交換・点検時期を画面表示することができます。お知らせするメンテナンス時期は、事前に年月日または走行距離をもとに設定した項目をお知らせするものです。

- お知らせ表示例(オイルフィルターの場合)
 - お知らせ開始3日前:「オイルフィルター交換日が近づきました」

1 **メンテナンス画面**で設定したい項目にタッチする



お知らせ設定 :

する に設定するとお知らせ表示します(初期設定値:しない)。

お知らせ日 :

各種交換・点検日をお知らせする日付を設定します。

お知らせ開始日 :

「お知らせ日」で設定した日付の何日前からお知らせメッセージを表示するかを設定します。**当日** **3日前** **7日前** から選んでください(初期設定値:7日前)。

お知らせ開始距離 :

何キロ走行するとお知らせするかを設定します。**+** **-** をタッチするたびに500km単位で入力できます。

日付リセット :

お知らせ日をリセットします。

走行距離リセット :

走行した距離(お知らせまでの残距離)がリセットされます。

- メンテナンス機能で計測される走行距離と実際の走行距離で誤差が生じることがあります。

本機情報を確認する

- 1 [Ⓐ]スイッチを押し、**情報/更新** にタッチする
- 2 **その他** タブにタッチし、確認したい情報にタッチする



バージョン情報

使用中のプログラムのバージョンやデータベースの情報を見ることができます。

- 車種データが取得できない場合は、車種データバージョンは「表示できません」と表示されます。

録音用SD情報

録音用SDカードの総曲数と空き容量を確認できます。

地図更新状況

最新のデータ更新の履歴が表示されます。データ更新中は進捗状況を確認することができます。

- 最後に更新した履歴が路線別更新の場合は **高速道更新情報** をタッチして高速道更新情報画面を表示することができます。高速道差分配信画面上で **情報** にタッチすれば詳細情報を確認することができます。
- 全国地図データ年度更新を行うと、高速道更新情報は消去されます。

お問い合わせ

本機に関するお問い合わせ先を表示できます。携帯電話を接続している場合は、お問い合わせ先に電話をかけることができます。

- QRコードのリンク先アドレスは下記の通りです。本機のWeb版取扱説明書を表示します。
<http://www.net-de-torisetsu.jp/20003/top.html>

6. 設定・調整

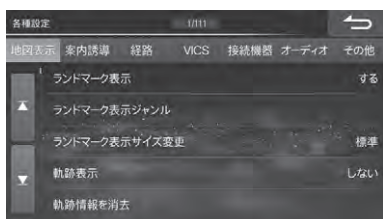
各種設定

地図表示設定

地図表示設定の一部項目は、現在地画面で **地図設定** にタッチして操作することができます。その場合は、左画面(1画面)と右画面を個別に設定することができます(「地図設定について」36ページ)。

1 **[▲]スイッチを押し、設定 → 各種設定 → 地図表示 タブの順にタッチする**

2 **設定する項目にタッチする**



3 **画面説明を見て設定を行う**



ランドマーク表示

コンビニエンスストア(コンビニ)・ガソリンスタンドなど、お好みの施設のランドマークを地図上に表示します。

初期設定値: **する**

- ランドマークは200mスケール図以下の詳細な地図で表示されます。

ランドマーク表示ジャンル

「ランドマーク表示」を「する」設定時に、表示するブランド名をジャンルごとに選択できます。

初期設定値: **ガソリンスタンド・コンビニのみ 全てする**

- 最大20種類のジャンルを設定することができます。
- 1つのジャンルに設定できるブランド名は最大5つです。6つ以上設定するときは、**全てする** に設定してください。

ランドマーク表示サイズ変更

表示するランドマークの大きさを変更します。

初期設定値: **標準**

軌跡表示

走行した軌跡を地図上に「点(白色)」として表示するかどうかを設定します。

初期設定値: **しない**

- 表示可能な距離(100km)を超えると古い軌跡から消えていきます。

軌跡情報を消去

地図上の軌跡をすべて消去します。

渋滞・混雑表示

VICS渋滞情報をもとに、渋滞・混雑している道路を矢印で表示します(渋滞:赤実線矢印、混雑:橙実線矢印)。

初期設定値: **する**

- 渋滞・混雑表示は縮尺1km以下の地図で表示されません。
- 高速・有料道路では縁取りのある矢印、一般道路では縁取りなしの矢印になります。

空き道表示

VICS渋滞情報をもとに、空いている道路を緑実線矢印で表示します。

初期設定値: **しない**

- 空き道表示は縮尺1km以下の地図で表示されます。
- 高速・有料道路では縁取りのある矢印、一般道路では縁取りなしの矢印になります。

渋滞推測(渋滞・混雑)表示

渋滞統計・渋滞学習情報をもとに、渋滞・混雑が予想される箇所を地図上に破線で表示します(渋滞:赤破線矢印、混雑:橙破線矢印)。

初期設定値: する

- 実線矢印で表示されるVICS情報と破線表示の渋滞予測が両方ある場合は、VICS情報が優先して表示されます。
- 渋滞推測線(渋滞・混雑)は縮尺1km以下の地図で表示されます。

■ 渋滞推測機能について

- 本機能はJARTIC/VICSセンターから提供された現状情報をもとに、NTTデータが独自に作成した渋滞予測データを利用しています。
- 渋滞予測は現況の渋滞情報を考慮したものではありません。

渋滞推測(空き道)表示

渋滞統計・渋滞学習情報をもとに、渋滞が発生しないと予想される箇所を緑破線矢印で表示するかどうかを設定します。

初期設定値: しない

- 実線矢印で表示されるVICS情報と破線表示の渋滞推測が両方ある場合は、VICS情報が優先して表示されます。
- 渋滞推測線(空き道)は縮尺1km以下の地図で表示されます。

気象警報・災害エリア表示

VICS情報で受信した大雨特別警報や土砂災害警戒情報などに関するエリアを地図上に表示するかどうかを設定します。

初期設定値: する

VICS駐車場・充電施設表示

VICSが提供する駐車場を地図上に表示するかどうかを設定します。

初期設定値: しない

- 駐車場マークは縮尺1km以下の地図で表示されます。

規制エリア表示

規制・事故・災害・異常気象などが発生しているエリアを地図上に表示するかどうかを設定します。

初期設定値: する

予告配信表示

規制やイベントなどが予定されているエリアを地図上に表示するかどうかを設定します。

初期設定値: しない

規制マーク表示

規制マーク(工事・通行止めなど)を案内画面に表示しません。

初期設定値: する

- 規制マークは縮尺1km以下の地図で表示することができます。ただし、通行止め・入り口閉鎖・オフランプ(出口)閉鎖は関連する事象も含めて20kmスケール以下の道路が表示されるスケールの地図まで表示します。

VICS提供道路

VICS情報を提供する道路を全道路・高速道・一般道から選択することができます。

初期設定値: 全道路

路上駐車場マーク表示

市街詳細地図に路上駐車場のマークを表示します。

初期設定値: する

渋滞線明滅表示

渋滞している区間の渋滞線(赤実線矢印)・混雑線(橙実線矢印)を点滅表示します。

初期設定値: する

地図色切換

昼画面と夜画面を切りかえることができます。昼・夜それぞれの地図表示色は4種類(標準(昼)・標準(夜)・道路強調(昼)・道路強調(夜))から選択することができます。

初期設定値: 昼→標準(昼)、夜→標準(夜)

地図色昼/夜切換

車両のイルミネーション信号に連動して昼画面/夜画面を切りかえるかどうかを設定します。

初期設定値: する

行政界色分け

市街地図で行政界(大字)の色を分けて表示します。

初期設定値: する

誘導方向表示

ルート案内中に目的地の方向を直線の誘導線で表示するかどうかを設定します。

初期設定値: しない

ビル立体表示

3Dマップでビルを立体的に表示します。

初期設定値: する

3Dランドマーク表示

主要施設のリアルな立体的アイコンを地図上に表示させることができます。

初期設定値: する

- 3Dランドマークは縮尺200m以下の地図で表示されます。

冬期規制アイコン表示

冬に通行止めとなる箇所にアイコンを表示します。

初期設定値: する

- 冬期規制アイコンは縮尺1km以下の地図で表示されます。
- **する** に設定すると、冬期(11月～3月)の間、冬期規制アイコンが表示されます。道路によっては4月～10月の期間内でも冬期閉鎖になっている場合がありますのでご注意ください。

細街路オートスケール

目的地案内中に細街路を走行すると、自動的に2画面表示に切りかわります。右画面には25mスケール市街地図が表示され、細街路の案内を行います。

初期設定値: する

- 市街地図が収録されていない地域では50mスケール地図が表示されます。
- 音声案内は行われません。

走行連動地図切換

走行中の市街詳細地図を見やすく簡略化して表示します。

初期設定値: する

高速・有料モード地図

高速・有料道路走行中に、高速・有料道路を見やすく強調した地図を表示します。

初期設定値: する

自動ハイウェイモード

高速・有料道路を走行するときに行程ガイド(ハイウェイモード)が自動的に表示されます。

初期設定値: する

地図の文字サイズ変更

地図上に表示される文字サイズをお好みに合わせて設定することができます。

初期設定値: 標準

自転車マーク

自転車マークの表示をマーク1・マーク2・マーク3の中からお好みに合わせて変更することができます。

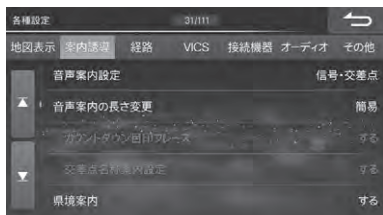
初期設定値: マーク1

- マーク3のイラストは「車種専用チューニング」(6、123ページ)で設定した車種に連動します。

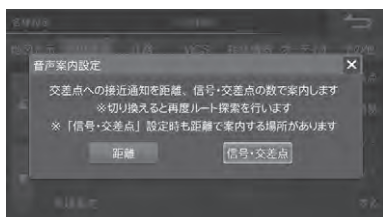
案内誘導設定

1 [⊕]スイッチを押し、**設定** → **各種設定** → **案内誘導** タブの順にタッチする

2 設定する項目にタッチする



3 画面説明を見て設定を行う



音声案内設定

交差点案内を、信号・交差点で行うか、交差点までの距離で行うかを設定します。

初期設定値: 信号・交差点

- 「信号・交差点」設定時も、距離で案内する場合があります。

音声案内の長さ変更

交差点接近時の音声案内の長さを設定します。

簡易 に設定すると必要最小限の案内フレーズになります。通常の案内にする場合は **標準** に設定してください。

初期設定値: 簡易

カウントダウン目印フレーズ

する に設定すると、交差点案内を信号・交差点の数で行う場合、目印になる施設が案内フレーズに入ります。

初期設定値: する

- 「音声案内の長さ変更」を「標準」に設定した場合、本設定を行うことができます。

交差点名称案内設定

交差点案内時、交差点名称を音声案内するかどうかを設定します。

初期設定値: する

- 「音声案内の長さ変更」を「標準」に設定した場合、本設定を行うことができます。

県境案内

都道府県境を越えるときに音声で案内します。

初期設定値: する

合流案内

一般道路や高速道路のインターチェンジ(IC)・ジャンクション(JCT)・SA/PA出口など、合流が近づいたときに警告するかどうかをそれぞれ設定することができます。

初期設定値: 「一般道・する」「SA・PA・する」「IC・する」「JCT・する」

踏み切り案内

踏み切りに近づいたときに警告します。

初期設定値: する

逆走警告案内

高速道路で逆走を検知したときに警告します。

初期設定値: する



- 下記のような場合は、逆走していても警告案内を行わないことがあります。
 - 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
 - 形状が複雑なIC付近を走行しているとき
 - 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
 - GPSアンテナ上に障害物があり、GPS信号が正常に受信できていないとき
 - トネル、高架橋、高層ビルなどの遮蔽物により、GPS信号が正常に受信できていないとき
 - 本機の地図画面上の自転車マークの位置と、実際の自転車位置が違うとき
 - 直前に自転車位置、または方位の補正が行われたとき

- 下記のような場合は、逆走していなくても警告案内を行うことがあります。
 - 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
 - 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が違うとき
 - 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
 - 警察や道路管理会社の誘導によりUターンをしたとき

狭路進入案内

道幅が狭い道路に近づいたときに警告します。

初期設定値: する

残距離音声案内

案内地点までの距離が残り10kmになると音声で案内します。

初期設定値: する

到着予想時刻音声案内

目的地や経由地への到着予想時刻を音声案内します。

初期設定値: する

到着予想時刻速度設定

目的地や経由地への到着時間予想のための条件(速度)を設定します。

初期設定値: 「一般道・30km/h」「有料道・60km/h」
「高速道・80km/h」

案内図表示

交差点に近づいた時に表示する案内図を、交差点拡大図にするかビッグアローにするかどうかを設定できます。

初期設定値: 交差点拡大図

- 「車種専用チューニング」(123ページ)または「クイックセットアップ(販売店設定)」(6ページ)で選択した車種によっては、「ビッグアロー」が初期設定になります。

詳細案内図表示

3Dイラスト情報のある交差点の詳細案内図を表示します。

初期設定値: する

方面看板表示

交差点の手前で方面看板を表示します。

初期設定値: する

レーンガイド表示

ルート案内中に右左折専用などのレーン情報を表示します。

初期設定値: する

ナビ案内画面割込み

オーディオ画面にナビの案内映像を割り込み表示します。

初期設定値: する

ナビ案内画面割込み時画面状態

オーディオ画面を表示している場合のナビ案内割込み時に、左側画面にオーディオ画面を表示するのか地図画面を表示するのか選択することができます。

初期設定値: オーディオ

料金所ゲート案内

インターチェンジの入口や出口でETCの情報を案内します。

初期設定値: しない

車両情報

軽自動車や普通車などの車種を設定しておく、高速道路の通行料金を車種に合わせて表示することができます。さらに車のサイズもあわせて登録しておく、駐車場を探す際に立体駐車場など条件に合わないところを選べるすることができます。

初期設定値: 「車両種別・普通」「長さ・450cm」
「幅・160cm」「高さ・150cm」

- 車両寸法は車検証を参照してください。

デモ走行速度設定

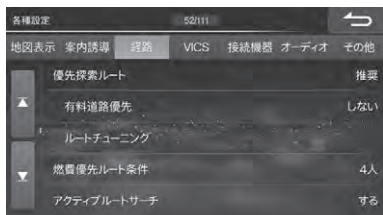
デモ走行の速度を変更することができます。

初期設定値: 標準

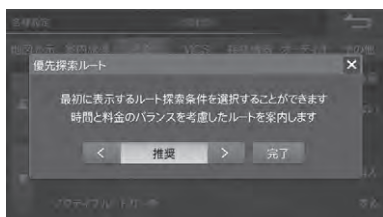
経路設定

1 [⊕]スイッチを押し、**設定** → **各種設定** → **経路** タブの順にタッチする

2 設定する項目にタッチする



3 画面説明を見て設定を行う



優先探索ルート

優先的に探索・表示するルート条件を選択することができます。探索条件は「推奨」「一般」「チューニング」「幹線」「燃費」「別ルート」の6ルートです。

初期設定値: 推奨

- 「有料道路優先」(次項目)を「する」に設定すると、「推奨」は「推奨(有料優先)」と表示されます。

有料道路優先

推奨ルート設定時、有料道路を優先して案内するかどうか設定します。

初期設定値: しない

- 「**しない**」に設定すると、目的地までの距離が短いときは、一般道路を優先したルートで案内します。

ルートチューニング

推奨ルートをベースとして、有料道路優先(全般)/有料道路優先(近距離)/広い道路優先/渋滞回避優先の各パラメーターを調整することにより、より好みの条件のルートを検索することができます。

初期設定値: 5

- 設定する項目にタッチし **◀** または **▶** をタッチして調整します。

燃費優先ルート条件

普段乗車される際の乗車人数の設定を行います。設定された人数は燃費優先ルート探索条件として使用されます。

初期設定値: 4人

- 乗車人数選択範囲は1人～10人です。

アクティブルートサーチ

ルート案内中に、距離・時間・VICSの渋滞情報・スマートIC規制などあらゆる道路情報を常時演算し、時間短縮できるルートを発見した場合にリアルタイムに新しいルートを探します。

初期設定値: する

- 時間短縮できるルートが見つからない場合はアクティブルートサーチ機能は働きません。
- 「短縮時間」(115ページ)で設定した時間よりも到着予想時刻が短縮できる場合のみ、アクティブルートサーチ案内が行われます。

短縮時間

アクティブルートサーチで通知する短縮時間の目安を設定します。5分刻みで時間を選択し、**完了** をタッチすると設定されます。

初期設定値: 15分以上

- ここで設定した時間を短縮できない場合は、アクティブルートサーチ案内は行われません。
- 「アクティブルートサーチ」設定が「する」の場合のみ設定できます。

アクティブルートサーチ案内音声割込み

アクティブルートサーチが行われる際に音声案内を割り込みするかどうか設定します。

初期設定値: する

- 「アクティブルートサーチ」設定が「する」の場合のみ設定できます。

スマートIC利用

ルート探索時にスマートインターチェンジを利用するかどうかを設定します。

初期設定値: **しない**

- スマートICを利用するにはディーラーオプションのETC2.0車載器が必要です。
- スマートICには、営業時間・営業期間・対象車種・出入り方向などに制約があります。また社会実験として期間限定で開設されているスマートICもあります。ご利用の際はご注意ください。

時間曜日規制考慮

時間や曜日によって規制される区間を避けたルートを探索します。

初期設定値: **する**

フェリー使用

フェリー航路を利用したルートを探索することができます。

初期設定値: **しない**

迂回エリア考慮

あらかじめ登録しておいた迂回地点を避けてルートを探索します。

初期設定値: **する**

迂回距離

一般道と有料道路・高速道路に分けて設定できます。

初期設定値: 「一般道5km」「有料・高速20km」

- 「迂回エリア考慮」(116ページ)を「する」に設定した場合のみ、迂回距離を設定できます。

冬期閉鎖区間考慮

冬に通行止めとなる区間を避けてルートを探索することができます。

初期設定値: **する**

- 冬期(11月～3月)の期間に考慮されます。4月～10月は通常ルートとなります。道路によっては4月～10月の期間内でも冬期閉鎖になっている場合があります。
- **しない** に設定すると、冬期閉鎖区間が発見された時点でメッセージが表示され、避けるかどうかを選択できます(「規制考慮」44ページ参照)。

ルート学習

よく通る道が優先してルート探索されるように、走行記録を記憶します。

初期設定値: **する**

- ナビが探索した推奨ルートまたは一般道優先ルートを走行中に、ルートからの離脱と復帰をそれぞれ同じ地点で2回繰り返すと、次回のルート探索を行う際に、そのルートが推奨ルートまたは一般道優先ルートとして探索されます。
- 案内対象外道路はルート学習に反映されません。離脱・復帰地点が同じでも、途中のルートが案内対象外道路になると学習結果は無効になります。
- ルート学習中に目的地や経由地を変更したり別のルートの選択や周辺迂回を行った場合は、ルート学習は中止されます。
- 最大200ルートまで学習することができます。

ルート学習結果を消去

ナビが記憶した学習ルートをすべて消去します。

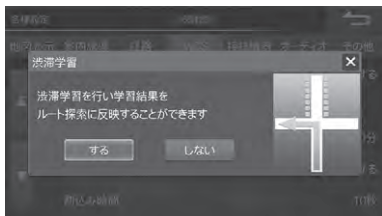
VICS設定

1 [Ⓜ]スイッチを押し、**設定** → **各種設定** → **VICS** タブの順にタッチする

2 設定する項目にタッチする



3 画面説明を見て設定を行う



渋滞学習

渋滞や混雑する地点を季節別・曜日別・時間帯別に記憶して、それら避けてルート案内されるように設定します。

初期設定値： する

渋滞学習結果を消去

ナビが記憶した渋滞学習結果をすべて消去します。

情報保持時間

受信したVICS情報の保存時間を120分、60分または30分に設定します。ここで設定した時間が経過すると情報は自動的に消去されます。

初期設定値： 60分

情報割込み

ビーコンによる図形・文字情報を画面に割り込ませて表示します。

初期設定値： する

- 緊急情報や安全運転支援に関わる情報は、**しない** に設定しても割り込みを行います。

割込み時間

ビーコンの情報割込み画面の表示時間を5～20秒まで、5秒刻みで設定します。

初期設定値： 10秒

- 「情報割込み」を **する** に設定した場合のみ本項目を設定できます。

オーディオモード画面への割込み

ビーコンによる図形・文字情報を、サウンド・映像モード画面に割り込ませて表示することができます。

初期設定値： する

- 「情報割込み」を **する** に設定した場合のみ本項目を設定できます。

特別警報アイコン表示

大雨・大雪・大津波などの特別警報情報を受信した際、VICSスタンプに特別警報アイコンを表示するか設定します。

初期設定値： する

プローブ通信

ナビと路側機で通信を行うかどうか設定します。走行情報の送受信により各種サービスや信号情報活用運転支援システムを利用できるようになります。

初期設定値： する

- ディーラーオプションのETC2.0車載器が接続されていない場合は設定できません。
- プローブ情報についてはETC2.0車載器の取扱説明書をご覧ください。

VICSでの音声読み上げ

ビーコンによる音声情報を読み上げます。

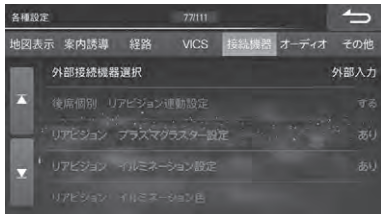
初期設定値： する

- 音声読み上げはディーラーオプションのETC2.0車載器の接続が必要です。

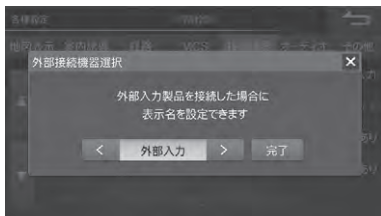
接続機器設定

1 [Ⓜ]スイッチを押し、**設定** → **各種設定** → **接続機器** タブの順にタッチする

2 設定する項目にタッチする



3 画面説明を見て設定を行う



外部接続機器選択

ビデオやゲームなど、外部機器を接続する場合に設定します。設定した表示名がソース名称としてオーディオメニュー画面やソース別音量調整画面に表示されます。

初期設定値：外部入力

- 別売のドライブレコーダーを接続した場合は、自動的に**ドライブレコーダー**に設定され、「外部接続機器選択」は設定できません。

後席個別 リアビジョン連動設定

本設定は使用しません。

リアビジョン プラズマクラスター設定

本設定は使用しません。

リアビジョン イルミネーション設定

本設定は使用しません。

リアビジョン イルミネーション色

本設定は使用しません。

ダブルゾーンサウンドコントロール

前席/後席それぞれの音量が最適値を超えた場合、本機画面にメッセージ表示してお知らせします。

初期設定値：ON

- 「車種専用チューニング」(6、123ページ)を行っていない場合は、本設定を行うことはできません。

ステアリングリモコン

車種専用チューニング後、ステアリングリモコン設定のみ変更したい場合は本設定を行ってください。

- 選択した車種にステアリングリモコン設定がない場合は本設定を行うことはできません。

ステアリングリモコンキー割り当て

ステアリングリモコンに本機の操作を割り当てます。

初期設定値：しない

- リストから割り当てたい機能にタッチし、続けて割り当てるステアリングリモコンのキーを押します。確認画面が表示されたら**はい**にタッチします。
- 割り当てた機能を解除するには**設定一覧**にタッチし、リストから解除する機能にタッチします。確認画面が表示されたら**はい**にタッチします。
- ステアリングリモコンのボリュームアップ/ダウンキー以外のキーに本機の操作を割り当てることができます。

カメラ接続

接続するカメラ機器を設定します。

初期設定値：なし

リアカメラガイド調整

汎用リヤビューカメラでは固定ガイドの調整を行うことができます。

■ 固定ガイドを調整する

固定ガイド調整 にタッチしてください。

画面に表示される ▲ ▼ で調整したいガイドを選び、↑ ↓ ← → にタッチして位置を調整します。

OFF または **ON** にタッチすると選択したガイド線を消去または表示することができます。

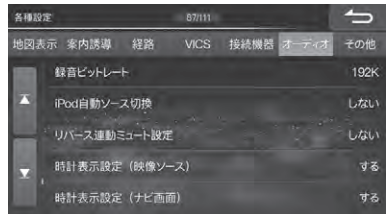
最後に **セット** にタッチすると調整位置が記録されません。

- 固定ガイド線は車種専用で設定されるため「車種専用チューニング」(6、123ページ)を設定した後は、「リアカメラガイド調整」は行わないでください。車の状態によりガイド線の微調整が必要な場合のみ調整を行ってください。
- 固定ガイド調整はガイド線に直接タッチして、なぞり操作で調整することができます。
- 固定ガイドを調整中、**初期値** にタッチすると調整値が初期化されます。固定ガイド調整前の設定に戻ります。初期化するには、確認メッセージが表示されたら **はい** にタッチしてください。
- 調整中 **クリア** にタッチすると、調整前の設定に戻ります。
- 走行中は調整できません。車を安全な場所に移動し、停車後にパーキングブレーキを引いてから操作してください。

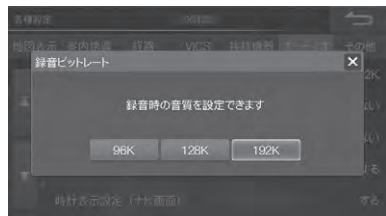
オーディオ設定

- 1 **[▲]スイッチを押し、設定 → 各種設定 → オーディオ タブの順にタッチする**

- 2 **設定する項目にタッチする**



- 3 **画面説明を見て設定を行う**



録音ビットレート

SDカードへ録音時の音質を96k/128k/192kの中から選択します。

初期設定値: 192k

- 録音ビットレートの数字が大きくなるほど音質は良くなりますが、データの容量も大きくなります。

iPod自動ソース切替

本機能を **する** に設定すると、iPod接続時に自動的にソースをiPodへ切りかえることができます。

初期設定値: しない

リバース連動ミュート設定

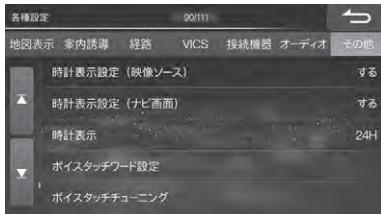
シフトレバーをリバースに入れたときにオーディオソース再生音量をミュートすることができます。

初期設定値: しない

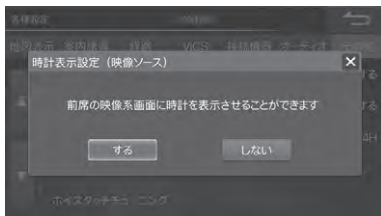
その他設定

1 [Ⓜ]スイッチを押し、**設定** → **各種設定** → **その他** タブの順にタッチする

2 設定する項目にタッチする



3 画面説明を見て設定を行う



時計表示設定(映像ソース)

テレビやDVDなどの本機の映像ソース画面に時計を表示するかどうか設定できます。

初期設定値: する

時計表示設定(ナビ画面)

ナビの地図画面に時計を表示するかどうか設定できます。

初期設定値: する

時計表示

時刻の表示形式を12時間制または24時間制に設定します。

初期設定値: 24H

ボイスタッチワード設定

ボイスタッチワードを使用するかどうか設定することができます。 **する** に設定したワードを発声すると、音声で本機を操作することが可能になります。ボイスタッチ機能を使用しないワードは **しない** に設定してください。一括で切りかえる場合には **全てする** または **全てしない** にタッチします。

初期設定値: する

- **テスト** にタッチすると、選んだワードを発話して認識するかどうか確認することができます。

ボイスタッチチューニング

ボイスタッチワードの認識率を設定することができます。ワード全体の認識率を設定する方法と、それぞれのワードを個別に調整する方法があります。

初期設定値: 推奨

- **推奨** には各ワードのメーカー推奨値が設定されています。
- **テスト** にタッチすると、ワードを発話して認識するかどうか確認することができます。

■ 各ワード個別調整

ワードごとに認識率を調整することができます。初期設定値には各ワードの推奨値が設定されています。

- ボイスタッチワード全体を設定すると、すべてのワードの個別調整の設定値に反映されます。「認識率:低 誤検出:少」に設定すると各ワード個別調整値は「MIN(0)」に、「推奨」に設定すると各ワードの推奨値に、「認識率:高 誤検出:多」に設定すると「MAX(10)」に変更されます。

ボイスタッチインジケータ設定

ボイスタッチ動作時にインジケータを明滅させることができます。

初期設定値: する

メニューの文字サイズ変更

メニュー画面の文字表示サイズを変更します。 **大** に設定すると、オーディオメニュー画面・ナビメニュー画面で文字を大きく表示します。

初期設定値: 標準

アートワークアニメーション表示

アートワークをアニメーション表示します。

初期設定値: する

メニューアニメーション表示

ナビメニュー画面とオーディオメニュー画面をアニメーション表示します。

初期設定値: する

距離補正

本機はGPSからの位置情報と車速パルス信号による計算上の走行距離とを比較し、それらの情報を蓄積・学習することで自車位置を補正しています。地図上の自車位置が実際の位置と大きくずれてしまう場合は、まず距離補正値を初期化して数十キロ程度走行してください。それでもずれてしまう場合には手動で距離補正を行ってください。

- 通常は距離補正を行う必要はありません。
- 走行距離はタイヤ1回転ごとに発生させる車速パルスの数にタイヤの円周を乗じて計算します。このためタイヤを交換したときは自車位置がずれる場合があります。

■ 自動距離補正設定

距離補正を自動で行います。

初期設定値: ON(自動)

■ 自動距離補正值

自動距離補正を開始する値を設定します。

初期設定値: -1.2%

■ 手動距離補正值

自車位置が実際の位置と合うように計算上の走行距離を微調整します。

- はじめは0.5～1%程度の調整で様子を見ることをおすすめします。極端な補正は誤動作の原因になる場合があります。

■ 学習結果

距離補正の学習状況です。

■ 初期化

自車位置が大きくずれる場合やタイヤを交換したときは距離補正値を初期化してください。

モニター自動CLOSE

エンジンをOFFにするとモニターが自動的に閉じます。

初期設定値: する

イルミネーション連動設定

車両のイルミネーション信号に連動してディスプレイと照光スイッチの明るさを切り替え、画面を見やすくすることができます。

初期設定値: する

夜用明るさ調整

「イルミネーション連動設定」を **する** に設定すると夜用の画面の明るさを調整することができます。

初期設定値: 0

夜用照光明るさ調整

「イルミネーション連動設定」を **する** に設定すると夜用の本体スイッチの明るさを調整することができます。

初期設定値: 標準

オプションスイッチ

ダブルゾーンコミュニケーション、VICS割込み情報、ミュート、画面OFF、ドライブレコーダー録画・停止(※1)、TVをみる、自宅に帰る、後席個別ON/OFF、ダブルゾーンメニュー、ボイスタッチワード一覧、のいずれかの機能を割り当てることができます。

初期設定値: 1. 1回押し…ボイスタッチワード一覧
長押し…1. ダブルゾーンコミュニケーション、2. 画面OFF、3. ミュート

※1 未接続の場合は、選択リストに表示されません。

自車位置修正

地図上の自車マークの位置と向きが実際とは異なっている場合は手動で修正することができます。

自車位置修正 をタッチしたら自車マークが実際の位置にくるまで地図をスクロールし、**↶** または **↷** をタッチして向きを調整します。**登録** をタッチすると自車位置がセットされます。

- 自車位置修正については「現在地」(54ページ)を参照してください。

画面カラー変更

ナビメニュー画面やオーディオメニュー画面などのタッチスイッチ・背景の色を変更します。

初期設定値: ホワイト

セキュリティ設定

セキュリティコードを設定します。バッテリーを外して再度使用を開始したときに、設定したセキュリティコードを入力しないと本機を使用することができなくなります。

する にタッチした後セキュリティコードを入力し、**完了** をタッチします。

初期設定値： しない

- セキュリティ設定を解除するにはセキュリティコードが必要です。セキュリティコードを忘れてしまった場合には、お客様登録したうえで、アルパインインフォメーションセンターにご相談ください。

セキュリティインジケータ設定

「セキュリティ設定」(前項目)と「セキュリティインジケータ設定」が **する** に設定されている状態で、車のエンジンをACC OFFにした時にセキュリティインジケータ用の照光スイッチが点滅します。

初期設定値： しない

クイックセットアップ状態初期化

既に設定した設定値を保持した状態で、セットアップ状態を初期化することができます。

- リセット後に再起動します。

全設定項目初期化

本機で設定したすべての項目の設定値を初期化します。DVD/CDディスク・USBメモリーを取り出してから操作を行ってください。

- 一度消去したものは復活できませんのでご注意ください。

全情報初期化

登録地点や設定項目の設定値などすべての情報を初期化し、工場出荷時の状態にします。DVD/CDディスク・USBメモリーを取り出してから操作を行ってください。

- 一度消去したものは復活できませんのでご注意ください。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、お客様が入力された個人情報(登録地の住所や電話番号など)、登録ルートなどの登録情報を必ず削除してください。

車種専用チューニング

一部の車種に限りませんが、Webサイトから車種データをダウンロードして設定できます。メディアデータ(SDカード/USBメモリー)を使用して本機にインストールしてください。

- SDカードまたはUSBメモリーを使用する場合、ダウンロードしたデータはZIPファイルです。ZIPファイルを解凍したデータをSDカードまたはUSBメモリーに保存してください。

- 1 **[▲]スイッチを押し、設定** → **車種専用チューニング** の順にタッチする



- 2 設定する項目にタッチし、設定を行う



車種選択

スピーカー選択が設定できます。(音響空間の設定)

オープニング画像

本設定は使用しません。

メニューデザイン

「車種選択」の設定が反映されます。本設定は使用しません。

メディア編集

1 [Ⓜ]スイッチを押し、設定 → メディア編集 の順にタッチする



2 項目を選んでタッチし、メディア操作 を行う



メディアへの地点保存

本機で設定した登録地点をSDカードまたはUSBメモリにコピーして保存することができます。

- 登録地点保存用のフォルダがSDカードやUSBメモリ内に自動的に作成されます。
 - フォルダ名: NAVDATDRフォルダ - POIXフォルダ
 - 地点ファイル拡張子: .poix
- 作成したファイルの削除とファイル名の変更はパソコンから行うことができます。ただし拡張子.poixを変更するとファイルが認識されなくなりますので、拡張子の変更は行わないでください。なおファイル名に使用できる文字は半角英数字のみになります。
- メディア内に同一登録地点が存在する場合は上書き保存されます。
- 登録地点をメディアへコピーしている途中で他の画面に移動した場合、コピー処理はキャンセルされます。

メディアからの地点追加

SDカードまたはUSBメモリに保存した地点を本機の地図メモリにコピーすることができます。

- 本機の登録地点の最大数(700か所)を超えた場合は、地点のコピーは行われません。
- 本機とメディアに同一地点のデータが存在した場合は、その地点のデータはコピーされません。

SD初期化

SDカード挿入口に挿入されているSDカードを初期化して、録音等に使用するSDカードを作成します。何らかの原因によりSDカードが正常に動作しなくなった場合または本機でSDカードを認識しない場合は、本機でSDカードの初期化を行ってください。

- 初期化中は、エンジンを切ったり、SDカードを取り出したりすることは絶対にしないでください。SDカード内のデータが破損する場合があります。

メディア情報

SDカードまたはUSBメモリの残容量を確認することができます。

音質調整

基本設定

- 1 [F]スイッチを押し、音質調整 → 基本設定 タブの順にタッチする



- 2 設定する項目にタッチし、設定を行う

車種専用サウンド

登録されている車種名をリストから選択します。

- 車種専用サウンドの設定はMedia Xpander・Parametric EQ・T.CORR・X-OVERに反映され、Bass Max EQの設定が解除されます。
- ディフェルトがONのときは操作できません。また、リヤモニターサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別がONのときも操作できません。
- 「車種専用チューニング中です」と表示されているときは電源をOFFにしないでください。
- 車種専用設定中はハンズフリー機能が使用できない場合があります。

Media Xpander

映画などの音声を聞き取りやすくしたり、CDの音楽をメリハリのある音で再生するなど、音声や楽器の音をメディアごとに際立たせて再生することができます (Media Xpander)。

初期設定値: OFF



メディア	レベル			
	OFF	1	2	3
DVD	OFF	MOVIE	MOVIE	DVD MUSIC
CD	OFF			
COMPRESS MEDIA※	OFF			
FM	OFF			
AM	OFF	—	—	—
外部入力/ドライブレコーダー/ゲーム/ウォークマン	OFF	圧縮メディア	MUSIC	MOVIE
HDMI	OFF	圧縮メディア	MUSIC	MOVIE
TV※	OFF			
Bluetooth AUDIO※	OFF			

- MP3・WMA・AAC・WAV・FLAC・ALAC・iPod・SDオーディオ/ビデオ・USBオーディオ/ビデオは「COMPRESS MEDIA」に割り当てられます。
- DVDビデオとDVD-VRは「DVD」に割り当てられます。
- MXレベルは1→2→3の順で効果が大きくなります。
- ディフェルトがONのときは操作を受けつけません。
- CD録音中に視聴している音はSDカードに録音したAACであるため、COMPRESS MEDIAに割り当てられます。

※ COMPRESS MEDIA・TV・Bluetooth AUDIOは、いずれかの設定を変えると同じMXレベルに設定変更されます。

BASS MAX EQ

あらかじめ設定されているイコライザー特性を選択し、お好みの音質に設定できます。

初期設定値: FLAT

設定値: FLAT・POPS・ROCK・NEWS・JAZZ・ELECTRICAL DANCE・HIP HOP・EASY LISTENING・COUNTRY・CLASSICAL



- ディフェルトがONのときは操作できません。
- Bass Max EQで各音響特性を選択すると選択したEQカーブがParametric EQへ反映されます。
- 右側画面に表示されているEQカーブはイメージです。

サブウーファーレベル

本設定は使用しません。

FAD./BAL.

前後・左右のスピーカーの音量バランスを別々に調整することにより、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。バランスポイントのお好みのポイントにタッチします。

BALANCE: L15 ~ R15(初期設定値は「0」)

FADER: R15 ~ F15(初期設定値は「0」)



バランスポイント

- 微調整するときは、▲フロント ▼リア ◀左側 ▶右側 をタッチしてください。
- 初期設定値に戻すには センター をタッチします。
- 「スピーカー設定」(128ページ)でリアスピーカーが「OFF」設定の場合はFADERは設定できません。
- 本設定は詳細設定1画面・詳細設定2画面からも操作することができます。

- リヤモニターのサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別ONのときは操作できません。

DEFEAT

ONに設定すると、MXをOFFに、EQを初期設定状態に戻します。OFFにすると、設定した値に戻ります(初期設定値は「OFF」)。

DEFEAT ON表示: ディフェルトがONのとき。

DEFEAT OFF表示: ディフェルトがOFFのとき。

- ディフェルトをONに設定すると **車種専用サウンド** **Media Xpander** **Bass Max EQ** **Parametric EQ** はトーンダウンしてタッチできなくなります。
- 本設定は詳細設定1画面・詳細設定2画面からも操作することができます。

詳細設定1

- 1 [♪]スイッチを押し、音質調整 → 詳細設定1 タブの順にタッチする



- 2 設定する項目にタッチし、設定を行う

Parametric EQ

Parametric EQ(パラメトリックEQ)は、中心周波数・Q(帯域幅)・レベルをそれぞれ調整できるので、狙った帯域だけを微妙に調整することができます。高度で本格的な補正や音創りを行うことができます。本機では4種類のスピーカーの設定が可能な「詳細モード」と、2種類のスピーカーの設定が可能な「シンプルモード」があります。

■ 詳細モード



■ シンプルモード



- 1) **詳細モード** または **シンプルモード** にタッチしてモードを選ぶ
- 2) 調整したいスピーカーを選ぶ
シンプルモード:
フロントスピーカー、リアスピーカー
詳細モード:
左フロントスピーカー、右フロントスピーカー、左リアスピーカー、右リアスピーカー
- 3) **チャンネル** にタッチして調整するチャンネルを選ぶ、または調整したいチャンネルのエリアにタッチする
- 4) レベル、周波数、Q調整を行う

レベル: -9 ~ +9

Q調整: 1、2、3

周波数: フロント/リアスピーカー:チャンネル
1 ~ 13

- チャンネル1: 20Hz ~ 100Hz
- チャンネル2: 63Hz ~ 315Hz
- チャンネル3: 100Hz ~ 500Hz
- チャンネル4: 160Hz ~ 800Hz
- チャンネル5: 250Hz ~ 1.25kHz
- チャンネル6: 315Hz ~ 1.6kHz
- チャンネル7: 500Hz ~ 2.5kHz
- チャンネル8: 1kHz ~ 5kHz
- チャンネル9: 1.6kHz ~ 8kHz
- チャンネル10: 2.5kHz ~ 12.5kHz
- チャンネル11: 4kHz ~ 20kHz
- チャンネル12: 6.3kHz ~ 31.5kHz
- チャンネル13: 10kHz ~ 40kHz

- 5) 設定値を記憶するには **プリセット1** **プリセット2** **プリセット3** のいずれかにタッチし続ける

記憶した設定値を呼び出すには **プリセット1** **プリセット2** **プリセット3** のいずれかにタッチします。

- ディフェルトがONのときは操作できません。
- 隣り合うチャンネルの周波数を超えて設定することはできません。
- Parametric EQ設定時は、Bass Max EQの設定は解除されます。
- 設定したいチャンネルのエリアにタッチしても調整できません。
- **フラット** をタッチすると、設定した内容をフラットの状態にすることができます。

- 「スピーカー設定」(128ページ)で **OFF** に設定しているスピーカーは、Parametric EQの設定画面に表示されません。
- リヤモニターのサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別がONのときは操作できません。

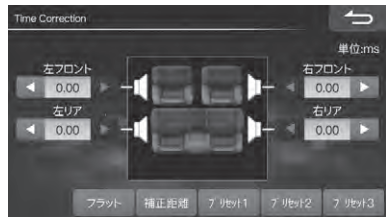
T.CORR(タイムコレクション)

T.CORR(タイムコレクション)は音が各スピーカーから耳に届くまでの時間を補正し、距離の違いによって生じる到達時間差を調整することができます。

補正時間 または **補正距離** にタッチするたびに補正モードが切りかわります。

補正時間: 時間補正值で調整します(単位はms)

補正距離: リスニングポジションと各スピーカーまでの距離で調整します(単位はcm)



- 1ch・20msまで調整することができます。
- 「スピーカー設定」(128ページ)で **OFF** に設定しているスピーカーは、タイムコレクションの設定画面に表示されません。
- リヤモニターのサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別がONのときは操作できません。
- **プリセット1** **プリセット2** **プリセット3** のいずれかにタッチし続けると調整した設定値を記憶します。タッチするとスイッチに記憶されていた設定値が呼び出されます。
- **フラット** をタッチすると、設定した内容を「0」の状態にすることができます。

X-OVER

X-OVER(クロスオーバー)は、HPF(ハイパスフィルター)とLPF(ローパスフィルター)を設定することで好みの音響空間を再現することができます。



1) フロントHPF フロントLPF リアHPF リアLPF にタッチして調整するチャンネルを選ぶ

2) レベル、周波数、スロープ調整を行う

レベル: -12 ~ 0dB

周波数: フロントHPF:20Hz ~ 250Hz
フロントLPF:4kHz ~ 20kHz
リアHPF:20Hz ~ 250Hz
リアLPF:4kHz ~ 20kHz

スロープ: 0/6/12/18/24dB/oct

3) 設定値を記憶するには **プリセット1** **プリセット2** **プリセット3** のいずれかにタッチし続ける

記憶した設定値を呼び出すには **プリセット1** **プリセット2** **プリセット3** のいずれかにタッチします。

- 「スピーカー設定」(128ページ)で **OFF** に設定しているスピーカーは、X-OVERの設定画面に表示されません。
- 接続するスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。
- リヤモニターのサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別がONのときは操作できません。
- **フラット** をタッチすると、設定した内容を「0」の状態にすることができます。

詳細設定2

1 [♪]スイッチを押し、音質調整 → 詳細設定2 タブの順にタッチする



2 設定する項目にタッチし、設定を行う

スピーカー設定

リアスピーカーのON/OFFを設定します。

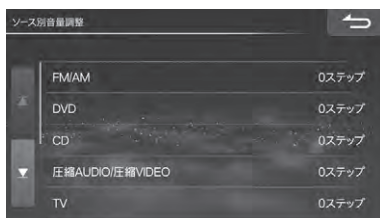


初期設定値: **OFF**

- サブウーファー、PHASE設定は使用しません。
- リヤモニターのサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別がONのときは操作できません。

ソース別音量調整

ソースごとに基準となる音量レベルを調整します(初期設定値はいずれも「0ステップ」)。



- CD録音中に視聴している音は「圧縮AUDIO」で調整します。

画質調整

画質調整は、全ての画面(映像ソース画面・カメラ画像以外)・映像ソース画面・カメラ(汎用リヤビューカメラ)画面によって調整できる項目が変わります。本項ではDVDの映像ソース画面を例に説明しています。

- オーディオソースのDVD・テレビ・外部入力・HDMI・SD/USBビデオは、それぞれで画質を調整し、設定値を記憶することができます。
- カメラの画質調整については139ページを参照してください。

1 [▲]スイッチを押し、**設定** → **画質編集** の順にタッチする

2 **全ての画面** **映像ソース** **リアカメラ** のいずれか設定したいモードにタッチする



3 調整する項目の **設定** にタッチし、**◀** または **▶** にタッチして調整する



- 映像ソース画面の調整内容を記憶/呼び出しできます。
プリセット1 または **プリセット2** にタッチし続けると調整した設定値を記憶します。タッチするとスイッチに記憶されていた設定値が呼び出されます。

画面サイズ

表示する映像をワイド、シネマ、ノーマルの3つのサイズに変えることができます。

ワイド: 16:9の映像を見るときに選択します。

シネマ: 映像を上下方向に拡大して表示したいときに選択します。画面の上下が少しカットされます。

ノーマル: 4:3の映像を見るときに選択します。画面の左右が黒く表示されます。

- テレビ以外の映像ソース画面のみで調整ができます。

ライブコントラスト

画面の明るすぎる部分や暗すぎる部分の明るさを自動的に調整し、自然な明るさに補正します。

設定値: OFF/弱/強(初期設定値は「弱」)

- 映像ソース画面・カメラ画面で調整ができます。

VISUAL EQ

設定値: フラット(OFF)/ナイトモード/ソフト/シャープネス/ハイコントラスト

フラット(OFF):
工場出荷時設定

ナイトモード:
暗いシーンが中心の映画に最適

ソフト: CGやアニメーションの映画に最適

シャープネス:
映像がくっきりしていない古い映画に最適

ハイコントラスト:
最新の映画に最適

- 映像ソース画面で調整ができます。
- お好みで映像の明るさや色の濃さを調整した場合は「カスタム」と表示されます。

明るさ

設定値: -15 ~ +15(初期設定値は「0」)

- 最大値時は「MAX」、最小値時は「MIN」と表示します。
- 全ての画面で調整ができます。

色の濃さ

設定値: -15 ~ +15(初期設定値は「0」)

- 最大値時は「MAX」、最小値時は「MIN」と表示します。
- 映像ソース画面・カメラ画面で調整ができます。

コントラスト

設定値: -15 ~ +15 (初期設定値は「0」)

- 最大値時は「HIGH」、最小値時は「LOW」と表示します。
- 全ての画面で調整ができます。

シャープネス

設定値: -5 ~ +5 (初期設定値は「0」)

- 最大値時は「HARD」、最小値時は「SOFT」と表示します。
- 映像ソース画面で調整ができます。

音量調整

- 1 [⏪]スイッチを押し、**設定** → **音量調整** の順にタッチする



- 2 設定したい項目にタッチし、**◀** または **▶** にタッチして調整し、**完了** にタッチする

前席操作音

本機スイッチを押した時の操作音の音量を7段階で調整します。操作音は前席スピーカーから出力されます。

初期設定値: 3

後席操作音

本設定は使用しません。

案内音声

ナビゲーション案内音声の音量を7段階で設定します。音声をOFFにすることもできます。

初期設定値: 4

音声読み上げ

VICS・ETC音声読み上げの音量を7段階で設定します(117ページ)。

初期設定値: 4

着信音量

電話着信音の音量を11段階で設定できます。

初期設定値: 4

受話音量

受話音量を11段階で設定できます。

初期設定値: 4

送話音量

送話音量を11段階で設定できます。

初期設定値: 6

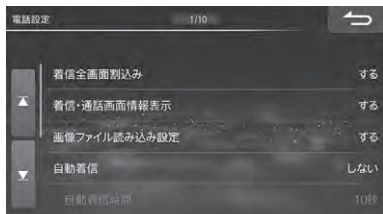
オープニングアニメーション音量

本設定は使用しません。

電話設定

1 [Ⓜ]スイッチを押し、**設定** → **電話設定** の順にタッチする

2 設定する項目にタッチし、画面説明を見て設定を行う



着信全画面割込み

電話がかかってきたときに、着信全画面を自動で表示するかどうか設定します。

初期設定値: する

- **する** に設定していても、カメラ画面表示中は簡易画面表示となります。

着信・通話画面情報表示

着信時または通話時に、相手の電話番号や名前などを画面に表示するかどうか設定します。

初期設定値: する

画像ファイル読み込み設定

電話帳を本機に読み込むときに、画像ファイルも読み込むかどうか設定します。

初期設定値: する

- **する** に設定した場合、携帯電話によっては電話帳の読み込みに時間がかかる場合があります。

自動着信

電話がかかってきたときに、自動的に電話を受けるかどうか設定します。

初期設定値: しない

自動着信時間

自動着信設定時に何秒経過したら電話を受けるのかを5秒～20秒の範囲で5秒刻みに設定することができます。

初期設定値: 10秒

- 「自動着信」(前項目)を **する** に設定した場合のみ、本項目を設定することができます。

履歴自動同期

通話履歴を自動的に同期するかどうか設定します。

初期設定値: する

電話帳自動同期

電話帳を自動的に同期するかどうか設定します。

初期設定値: する

エコー・ノイズ軽減設定

通話時のエコーとノイズ音を軽減するかどうか設定できます。

初期設定値: ON

バッテリー残量警告

接続している携帯電話のバッテリーが少なくなったときに警告音で通知します。

初期設定値: する

外部ハンズフリーマイク

付属の外部ハンズフリーマイクを接続した場合は **あり** に設定してください。

初期設定値: あり

- 外部ハンズフリーマイクが接続されていない場合、**あり** に設定するとハンズフリー時に送話できません。こちらの声が相手に聞こえなくなりますのでご注意ください。

通信設定

Bluetooth設定、Wi-Fi設定、オンラインサービス設定を行います。

オンラインサービス設定は、オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」を利用するための設定です。「BIG X CONNECT」については、「[BIG X CONNECT]をインストールして本機と連携する」(97ページ)を参照してください。

Bluetooth設定

- 1 [Ⓞ]スイッチを押し、**設定** → **通信設定** → **Bluetooth設定** の順にタッチする



- 2 設定する項目にタッチし、画面説明を見て設定を行う

自機情報編集

自機名称を設定します。

自機名称初期設定値: ALPINE

- 自機名称の最大入力文字数は英数記号合計32文字です。

ハンズフリー

接続している携帯電話の名称と接続状況、通信接続先を表示します。**再接続** / **接続解除** をタッチすると接続状態が切りかわります。

オーディオ

接続しているBluetoothオーディオ機器の名称と接続状況を表示します。Bluetooth AUDIOソース時に**再接続** / **接続解除** をタッチすると接続状態が切りかわります。また、自動接続をするかどうかを設定します。

初期設定値: しない

- 「自動接続」を**する** に設定した場合、オーディオソースにBluetooth AUDIOを選択すると自動的にBluetoothオーディオ機器に接続します。前回接続したBluetooth機器に接続することができます。前回接続した機器に接続できなかった場合は、ハンズフリーで接続している機器、または以前接続した履歴のある機器へ接続を開始します。

登録/変更

Bluetooth機器設定画面を表示します。Bluetooth機器の登録方法については「携帯電話・スマートフォンを接続する」(90ページ)を参照してください。

- 1 **i** : 登録Bluetooth機器の詳細情報(機器名称・機器アドレス・機器種別・利用可能プロファイル)を表示します。



- 2 **消去** : 登録したBluetooth機器を消去します。

- 3 **接続機器変更** : 接続機器を変更します。登録している機器をリストから選択し**接続機器変更** をタッチします。接続するサービス(ハンズフリー・オーディオ・ハンズフリー+オーディオ)から選択し変更します。

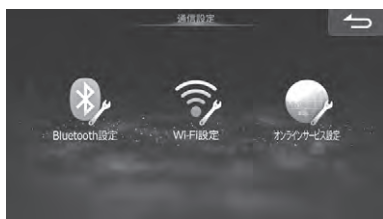
- 4 **機器登録** : 本機に接続するBluetooth機器を登録します。「携帯電話・スマートフォンを接続する」(90ページ)を参照してください。

- 未登録を選択しているときは**機器登録** のみ選択できます。

Wi-Fi設定

本機とスマートフォンなどをWi-Fiで接続すると、専用スマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」を使用したリ(Androidスマートフォンの場合)、Gracenoteデータベースから曲情報を取得したりすることができます。

- 1 **[▲]スイッチ**を押し、**設定** → **通信設定** → **Wi-Fi設定** の順にタッチする



- 2 設定が完了したら **適用** にタッチする

無線LAN-本機と携帯電話をWi-Fi接続する

- 1 Wi-Fi設定画面で「無線LAN」の **ON** にタッチする



- 2 携帯電話のWi-Fi機能をONにし、携帯電話から本機を検索して登録する

本機のWi-Fi名称(初期値は「CAR NAVIGATION-xxxxxx(6桁の数字)」)を検索し、画面に表示されているパスワードを入力して登録してください。

SSID

携帯電話などに表示されるWi-Fi名称を変更することができます。**SSID** にタッチし、半角英数字8～32桁の範囲で設定します。

パスワード

Wi-Fi接続の際に携帯電話などに入力するパスワードを変更することができます。**パスワード** にタッチし、半角英数字16～63桁の範囲で設定します。**表示** にタッチするとパスワードが表示されます。パスワード非表示にする場合は **非表示** にタッチします。

7. オプション機器

ETC2.0を使う

ETC2.0画面はディーラーオプションのETC2.0車載器を接続すると表示されます。

ETCについて

ETC(Electronic Toll Collection System: 有料道路自動料金収受システム)とは、自動車に装備した車載器と料金所に設置したアンテナとの間で無線通信により料金支払いに必要な情報がやりとりされ、ノンストップで自動的に通行料金を支払うシステムです。

本機ではETC2.0車載器を接続してETCカードを挿入することにより、料金所の手前でETC専用レーンの案内を表示するなど、ナビゲーション機能に連動してETC情報を提供します(47ページ)。

- ETC2.0車載器の取扱説明書も参照してください。

ETC2.0について

ETC2.0とは、高度道路交通システム(ITS)で採用されている双方向無線通信技術のひとつDSRC(Dedicated Short Range Communication)を使用したシステムです。5.8GHz帯を使用し、数十mでの狭い範囲で双方向通信を行い、通信範囲内では最大4Mbpsの通信が可能となっています。すでにETCでも利用されており、さまざまなETC2.0サービス(旧ITSスポットサービス)を提供することができます。

本機ではディーラーオプションのETC2.0車載器を接続することにより、ITSスポット(ETC2.0の路側アンテナ)で、ナビゲーション機能と連動し道路交通情報(VICS情報)などを提供します。

- VICSについては「VICSについて」(56ページ)を参照してください。
- ETC2.0車載器の取扱説明書も参照してください。
- ETC2.0サービスで提供される情報によっては対応できない場合があります。
- ETC2.0サービスについては、国土交通省のホームページをご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/etc2/index.html>

ETC2.0情報を表示する

ディーラーオプションのETC2.0車載器を本機に接続することにより、道路交通情報や安全運転支援情報を音声や画像で案内したり、渋滞・規制情報を考慮したルート探索(VICS情報を見る)56～60ページ)ができます。さらに、ETC機能と連動して、本機から料金案内や料金履歴表示することもできます。

■ ETC2.0車載器を本機に接続してできること

- ETCゲート通過案内
ETCゲートを通する際に利用料金の表示・音声案内を行います(47ページ)。
- 安全運転支援



走行ルート上に渋滞や落下物などがある場合、簡易図形と音声で注意喚起を行います。

- 道路交通情報提供
広範囲の道路の渋滞情報や、簡易図形と音声での道路交通状況の提供を行います(106ページ)。

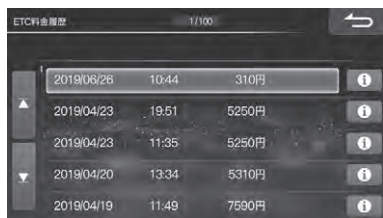
1 [▲]スイッチを押し、情報/更新 → ETC タブの順にタッチする



2 料金履歴 ユーザー情報 のいずれかに タッチする

料金履歴

ETCを利用した日時や料金をリスト表示し、利用したインターチェンジ(IC)名などの詳細情報を確認することができます。 **i** にタッチすると料金の詳細情報が表示されます。



ETC料金履歴	1/100		
2019/06/26	10:44	310円	i
2019/04/23	19:51	5250円	i
2019/04/23	11:35	5250円	i
2019/04/20	13:34	5310円	i
2019/04/19	11:49	7590円	i

- ETCカードを挿入していないときは利用できません。
- 取得できるETCカードの料金履歴は最大で100件です。100件を超えると古い順に消去されます。
- 走行中は安全のため操作できません。安全な場所に停車してから操作してください。

ユーザー情報

ETC2.0車載器に登録されているユーザー情報を確認します。車載器管理番号などのユーザー登録情報が表示されます。

リビューカメラ操作

本機はスバル用品レビューカメラ/汎用レビューカメラを接続できます。

バックギアにシフトすると本機の画面に自動で後方のカメラ映像およびガイド(車両の車幅や距離感覚を補助する補助マーク)を映すことができます。

レビューカメラ接続時の注意

警告

●警告

- 運転者は走行中に本機のカメラ画像を注視しないでください。運転者が走行中、画面を注視することは法律で禁止されています。
- カメラをご使用の際は事故防止のため、カメラ画像だけでなく、必ず目視やルームミラー/ドアミラーにより、周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- カメラ画像はドライバーの視界を補助するためのものであり、全ての危険および障害物をカメラで映し出せるものではありません。

●注意

- カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なるため、注意が必要です。
- 乗車人数や積載量により車両が傾き、カメラ映像のガイドの示す位置と実際の路面上の距離や障害物との距離が変化します。必ず、後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

- タイヤおよびサスペンションを交換すると、画面に表示される距離目安マークやガイドの示す位置に誤差が生じることがあります。
- 本機起動直後は下記の表示・操作を行うことができます。
 - シフトレバーをバックギア(R)に入れたときのレビューカメラガイド表示
- 接続しているレビューカメラについて詳しくは、カメラに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 以下のような状況では使用しないでください。
 - 凍結したりすべりやすい路面または雪道。
 - ドアが完全に閉まっていないとき。
 - タイヤチェーンや応急タイヤを使用しているとき。

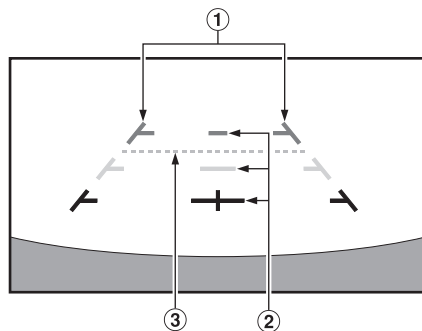
レビューカメラ映像を表示する

後方の映像はシフトレバーをバックギア(R)に入れると自動的に映し出されます。解除するにはシフトレバーをバックギア(R)以外に入れる、または **キャンセル** にタッチするか、**[開/閉] [+] [-] [I◀◀] [▶▶I]**以外の本体スイッチを押してください。シフトレバーがバックギア(R)の状態であれば本機画面に表示される **リアカメラ** にタッチすると、再度レビューカメラ映像が表示されます。

レビューカメラのガイド線について

ここでは汎用レビューカメラを接続したときに表示されるガイド線について説明しています。汎用レビューカメラ以外のガイド線についてはカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。

■ ガイド線の見かた



● 固定ガイド線

- ① **車幅延長マーク(手前より赤色、黄色、緑色のライン)**
車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたいときの進路の目安を示します。
- ② **距離目安マーク**
クルマの後方(バンパー後端から)の距離を示します。
 - それぞれの中心位置で、約0.5m先(赤色)・約1m先(黄色)・約2m先(緑色)を示します。

● バックドア開閉ガイド線

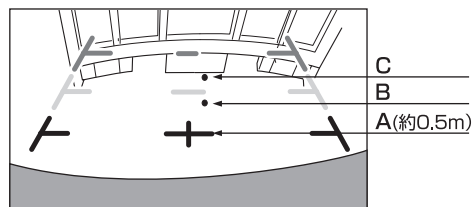
- ③ **バックドアガイド線(水色のライン)**
バックドア(トランク)の開け閉めスペースを考慮したガイド線を表示します。
 - 「車種専用チューニング」(6、123ページ)で対象車種を選択した場合のみ表示されます。

- ナビゲーション起動時は、ガイド線が表示されるまでに時間がかかります。
- 車や路面の状況により映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- 映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 車両によりガイドが左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。

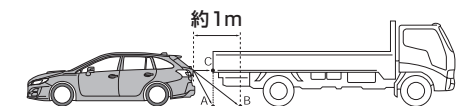
■ 距離目安マーク

距離目安マークは路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

<画面>



<A,B,Cの位置>



画面では距離目安マークにより約1m先(Bの位置)にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退するとぶつかります。画面ではA・B・Cの順に近く見えますが実際の距離はAとCは同じ距離で、BはAやCより遠い距離にあります。

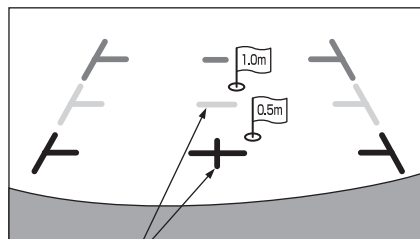
- 車幅延長マークは路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し込まれた場合は実際の距離感とは異なります。
- 次のようなときは画面が見づらくなることがありますが異常ではありません。
 - 暗いところ(夜間など)。
 - レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
 - カメラに水滴がついたときや湿度が高いとき(雨天時など)。
 - カメラ付近に異物(泥など)がついたとき。
 - 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。

画面と実際の路面との誤差

以下の状態のときは画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます(イラストは標準的なカメラ取付位置の場合を示します)。

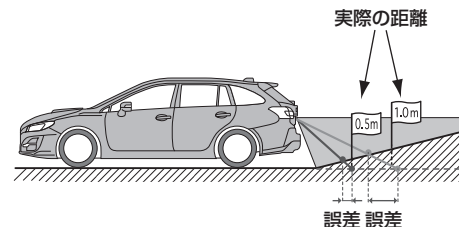
■ 急な上り坂が後方にあるとき(例)

<画面>



距離目安マーク

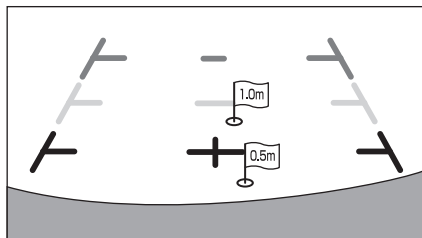
<車の状況>



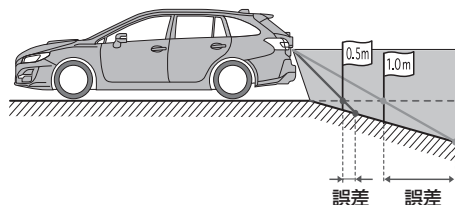
距離目安マークは平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安マークが表示されます。例えば上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。同様にガイドと実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■ 急な下り坂が後方にあるとき(例)

<画面>



<車の状況>



下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりうしろに距離目安マークが表示されます。そのため下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。同様にガイドと実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

カメラ画像の調整

汎用リヤビューカメラでは画質調整が行えます。

カメラ画像を調整する

- 1 カメラ画面にタッチし、**画質調整** にタッチする

調整操作、設定内容/設定値については「画質調整」(129ページ)を参照してください。

ガイド表示のON/OFF

- 1 カメラ画面にタッチし、**画質調整** にタッチする
- 2 **ガイド表示ON** または **ガイド表示OFF** にタッチする

コーション表示位置の変更

画面に表示される注意文の位置を変更することができます。

- 1 カメラ画面にタッチし、**画質調整** にタッチする
- 2 **コーション↑** または **コーション↓** にタッチする

リヤモニター操作

本機にディーラーオプションのリヤモニターを接続すると、車室内の前席(運転席、助手席)と後部座席で、同じオーディオソースを楽しむことはもちろん、それぞれ独立した空間をつくり出すこともできます。例えば、前席でラジオを聴きながら、後部座席ではDVDを楽しむことができます(後席個別モード)。

リヤモニター設定

1 [♪]または[🔊]スイッチを押し、 リアビジョン/アロマ にタッチする



2 設定する項目にタッチし、設定を行う



プラズマクラスター

本機では使用しません。

イルミネーション

本機では使用しません。

サウンドスピーカー設定

出力するスピーカーを選ぶことができます。

前席のみ: フロントスピーカーのみ音声を出力します。後席で子どもが寝ているとき等に使用してください。

後席のみ: リアスピーカーのみ音声を出力します。リヤモニターで視聴中のソースを前席では聞かないときに使用してください。

前後座席: 設定されているすべてのスピーカーから出力されます。

- **前席のみ** または **後席のみ** を選択中は、下記の音質調整操作を行うことはできません。また、設定した音質調整は無効になります。

- 車種専用サウンド
- T.CORR
- X-OVER
- FAD./BAL.

- **後席のみ** に設定した場合でも、ナビ音声案内・電話・操作音は前席スピーカーから出力されます。

前席優先/後席優先

T.CORR(タイムコレクション)(127ページ)のリスニングポジションを切りかえることができます。

前席優先: 運転席に最適な数値に設定されます。

後席優先: 後席に最適な数値に設定されます。

- 「車種専用チューニング」(6、123ページ)で、車種を設定していない場合は設定ができません。また、選択した車種に、T.CORR(タイムコレクション)データがない場合も設定ができません。
- 「スピーカー設定」を **前後座席** に設定している場合にだけ、本設定を行うことができます。

アロマ

本機では使用しません。

ダブルゾーン設定

1 [♪]スイッチを押し、**ダブルゾーン**にタッチする



2 設定する項目にタッチし、設定を行う



後席個別

リヤモニターに表示する映像を設定できます。

TV/DVD/HDMI/SD/USB/外部入力または
ドライブレコーダー:

後席個別モード。前席(本機)のオーディオソースに関わらず、リヤモニターに選んだオーディオソースの映像が表示されます。音声は後席スピーカーから出力されます。

フロントリンク:

前席(本機)と同じ映像がリヤモニターに表示されます。

前と同じ: 前席(本機)と同じオーディオ画面がリヤモニターに簡易表示されます。

- 「後席個別」モードに切りかえたとき、「後席スピーカー音量」が21以上に設定されている場合は、20に変更されます。

前席スピーカー音量

前席スピーカーの音量レベルを調整できます。

消音にタッチするとフロントスピーカーの音を消すことができます。

設定値: 0 ~ 35(初期設定値は10)

- 「後席個別」で **前と同じ** **フロントリンク** を選んだときは、前席スピーカー音量は調整できません。

後席スピーカー音量

後席スピーカーの音量レベルを調整できます。

消音にタッチするとリアスピーカーの音を消すことができます。

設定値: 0 ~ 35(初期設定値は10)

- 「後席個別」で **前と同じ** **フロントリンク** を選んだときは、後席スピーカー音量は調整できません。
- ナビの案内音声・通話音は後席スピーカーからは出力されません。
- 後席スピーカーから出力されるオーディオ音声には音質調整の設定は適用されません。「後席個別」で **フロントリンク** を選んだときは、音質調整の設定は適用されますが、Media Xpanderの効果のみ反映されません。

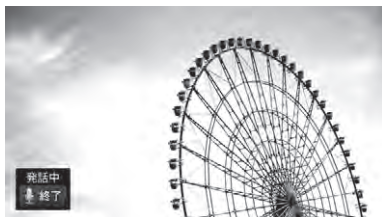
ダブルゾーンコミュニケーション

後部座席では聞こえにくい運転手の声を、ハンズフリーマイクを利用してリアスピーカーから出力することができます。運転中でも、後ろを振り返ることなく会話がしやすくなります。

■ 本機側の画面表示例





■ リヤモニター側の画面表示例(DVDソース視聴・後席個別モード時)





1 [*](オプションスイッチ)を1秒以上押し、表示されたリストの**ダブルゾーンコミュニケーション**にタッチする

■ ダブルゾーンコミュニケーション画面以外の表示例



-  (マイクアイコン)が画面に表示されます。 にタッチすると、ダブルゾーンコミュニケーション画面が表示されます。
- 「ダブルゾーンコミュニケーション」は[*](オプションスイッチ)の長押しに設定されています。変更する場合は「オプションスイッチに機器を登録する」(22ページ)を参照してください。

- ステアリングリモコンの「」または「」キーを押してもダブルゾーンコミュニケーションモードを呼び出すことができます(23ページ)。

2 ハンズフリーマイクに向かって発話する

3 ダブルゾーンコミュニケーションを終了する場合は、**終了**にタッチする、または[*](オプションスイッチ)を1秒以上押し**ダブルゾーンコミュニケーション**にタッチする

ダブルゾーンコミュニケーション発話が終了します。

- 室内の状況により、送話音量・オーディオミュートをそれぞれ調整してください。
- 車種によっては、スピーカーの位置が後席から遠いため、前席の発話音声が届き取りにくい場合があります。
- ダブルゾーンコミュニケーション中は、音質調整を行うことはできません。
- 取付車両のサイズ、形状、スピーカー位置などによってはダブルゾーンコミュニケーション使用時にハウリングが起き、本機能を使用できない場合があります。

ダブルゾーンコミュニケーション設定

ダブルゾーンコミュニケーションに関する設定を行うことができます。

1 ダブルゾーンコミュニケーション画面にタッチし、設定したい項目の、 または にタッチして設定する



- **送話音量** : リアスピーカーに出力する音量を調整します。
初期設定値: 1 ~ 7(初期設定値は5)
- **オーディオミュート** : ダブルゾーンコミュニケーション時のオーディオソース音量のミュートレベルを調整します。
初期設定値: 弱

2 設定が終了したら にタッチする

- **終了** にタッチするとダブルゾーンコミュニケーションモードが解除されます。

ダブルゾーンサウンドコントロール

リヤモニターのソースが「後席個別」モードのときに、前席(本機)またはリヤモニターの視聴の妨げとならない音量の目安をインジケータ色で表示します。

前席(本機)の音量が大きいときは、本機の音量調整スイッチ[-]で、リヤモニターの音量が大きいときは、ダブルゾーン設定画面の「後席スピーカー音量」(141ページ)でリヤモニターの音量を下げてください。

- 「ダブルゾーンサウンドコントロール」(118ページ)を「ON」に設定してください。

■ 前席側(本機)の画面表示例

(前席音量をVol. 21にしたとき)



音量が適正値を超えると、インジケータが青色から赤色に変化します。

- 車種専用チューニング設定が未設定の場合には、本機能を使用することはできません。

ドライブレコーダー操作

別売のドライブレコーダー(ナビ連動モデル)を接続すると、録画したデータの再生などの操作を本機から行うことができます。

ここでは本機から操作できる内容のみを説明しています。ドライブレコーダー本体の操作については、ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

- 接続できるドライブレコーダーについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 走行中は安全のためドライブレコーダーの操作はできません。安全な場所に停車してから操作してください。

ドライブレコーダー設定

1 [♪]スイッチを押し、オーディオメニューの **ドライブレコーダー** にタッチする



ドライブレコーダー画面を表示します。

- ボイスタッチ操作の場合は「オーディオ変更」→「ドライブレコーダーに変更」と発話します。

2 **設定** にタッチする



3 録画を停止するメッセージが表示されたら **確認** にタッチする

自動録画を停止します。

4 設定する項目にタッチし、設定を行う



手動録画タッチキー

地図画面にタッチスイッチを表示し、動画や静止画を撮影することができます。

初期設定値：動画

画質

ドライブレコーダーで録画する画質を変更できます。

初期設定値：高画質

音声録音

映像と同時に音声を録音することができます。

初期設定値：する

急加速・急減速の感度

急加速・急減速の測定感度を設定します。

初期設定値：3

急加速・急減速の感知音

急加速・急減速を検知した場合に感知音でお知らせすることができます。

初期設定値：する

起動音

ドライブレコーダーが起動したことを音でお知らせすることができます。

初期設定値： する

センサー調整

ドライブレコーダーのセンサー調整を行います。正しく取り付けした後、平らな場所に停車している状態で

調整する にタッチしてください。

SDカードの初期化

ドライブレコーダーに挿入されているSDカードを初期化します。

- 一度消去したデータは復活できませんのでご注意ください。

設定初期化

ドライブレコーダーの設定内容を初期化します。

- 一度消去したものは復活できませんのでご注意ください。

駐車録画

駐車中に衝撃を検知すると自動で録画します。

初期設定値： しない

駐車録画のお知らせ

駐車中に自動で録画された場合に起動時にお知らせすることができます。

初期設定値： しない

駐車録画の感度

駐車中に自動録画する場合の衝撃感度を設定します。

初期設定値： 3

駐車録画の時間

駐車中に自動録画する場合の録画時間を設定します。

初期設定値： 30秒

駐車録画の無効時間

エンジンを切ってから駐車録画モードに切りかわるまでの時間を設定できます。

初期設定値： 1分

ドライブレコーダー警告音量

警告音量を設定します。

初期設定値： 3

リヤカメラ録画

フロントカメラ映像と同時にリヤカメラ映像を録画することができます。

初期設定値： する

カメラの映像を確認する

ドライブレコーダーの映像を本機の画面に表示します。

- 1 **[♪]**スイッチを押し、オーディオメニューの **ドライブレコーダー** にタッチする

ドライブレコーダー画面を表示します。

- 2 **カメラモニター** にタッチする



カメラ映像が表示されます。

- **切換** にタッチするとフロント側のカメラ映像とリア側のカメラ映像を切りかえることができます。

常時録画する(動画)

ドライブレコーダーの電源が入ると、自動的に録画を開始し、1分ごとに記録ファイルをmicroSDメモリーカードへ保存します。

microSDメモリーカードの容量がなくなると、自動的に古い記録ファイルから順に自動削除して繰り返し保存し続けます。

- 手動録画した記録ファイル(146ページ)、保存フォルダに移動した記録ファイル(147ページ)は、自動削除されません。

手動で動画を録画する

手動で動画を録画すると、常時録画で保存されている記録ファイルを手動録画の記録ファイルに置きかえます。手動録画の記録ファイルは自動削除されません。

- 「手動録画タッチキー」(144ページ)を「動画」に設定してください。

1 地図画面で にタッチする

動画の録画を開始します。

- 手動録画は録画を開始後、2分経過すると自動的に録画を停止します。

手動で録画を終了させる

1 地図画面で にタッチする

動画の録画を終了します。

手動で静止画を撮影する

- 「手動録画タッチキー」(144ページ)を「静止画」に設定してください。

1 地図画面で にタッチする

タッチした瞬間の静止画が撮影されます。

録画したデータを再生する

録画したデータを本機から再生できます。

1 [♪]スイッチを押し、オーディオメニューの **ドライブレコーダー** にタッチする

ドライブレコーダー画面を表示します。

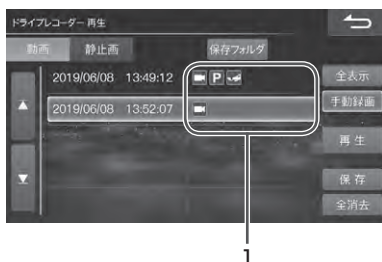
2 **再生** にタッチする






3 録画を停止するメッセージが表示されたら **確認** にタッチする

自動録画を停止し、ドライブレコーダー再生リストが表示されます。

4 リストから希望のファイルを選び、**再生** にタッチする



1 マーク表示

- : 手動録画したファイル
- : 駐車時に録画されたファイル
- : 急加速/急減速情報のあるファイル

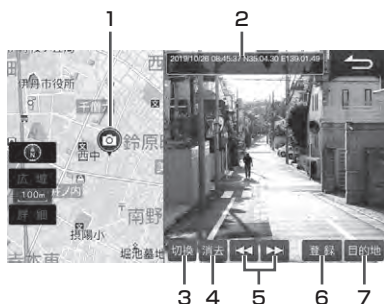
- **動画** にタッチすると動画ファイルを、**静止画** にタッチすると静止画ファイルを選ぶことができます。
- **保存フォルダ** にタッチすると、保存フォルダに移動したファイルリストを表示します。保存フォルダに保存するには「ファイルを保存フォルダに移動する」(147ページ)を参照してください。
- **全表示** にタッチすると、すべてのファイルリストを表示します。**手動録画** にタッチすると手動録画したファイルリストを表示します。

■ 動画再生画面



- 1 録画した地点
- 2 情報表示
録画日時、位置情報(緯度・経度)、動画情報
- 3 フロント側のカメラ映像とリア側のカメラ映像を切りかえます。
- 4 再生中の動画ファイルを削除します。
- 5 ファイルを切りかえます。タッチし続けると早戻しします。
- 6 再生/一時停止
- 7 ファイルを切りかえます。タッチし続けると早送りします。
- 8 加速度インジケータ
録画地点の加速度(加速・減速)を6段階で表示します。
- 9 スピードインジケータ
録画地点のおおよその車速を表示します。

■ 静止画再生画面



- 1 撮影した地点
- 2 情報表示
撮影日時、位置情報(緯度・経度)
- 3 フロント側のカメラ映像とリア側のカメラ映像を切りかえます。
- 4 再生中のファイルを削除します。
- 5 ファイルを切りかえます。
- 6 撮影地点を登録地点に登録します。
- 7 撮影地点を目的地に設定します。

ファイルを保存フォルダに移動する

保存フォルダに移動すると録画ファイルは自動で削除されなくなります。

- 1 ドライブレコーダー再生リストから移動させたいファイルを選んで **保存** にタッチする
- 2 **はい** にタッチする
ファイルが保存フォルダに移動します。

すべてのファイルを削除する

- 1 ドライブレコーダー再生リストで **全消去** にタッチし、**はい** にタッチする
全てのファイルが削除されます。

駐車録画のお知らせ

「駐車録画のお知らせ」(145ページ)設定が「する」に設定されていると、エンジンをかけたときに駐車録画があったことをお知らせする画面が表示されます。「録画したデータを再生する」(146ページ)で録画の内容をご確認ください。



8. 付録

困ったときは(よくあるご質問)

Q 自車位置って何?

A 現在、自分の車がいる場所のことです。どの画面からでも現在地(自車位置画面)を表示できます。

Q どうして自車位置(現在地)がわかるの?

A 自車位置は「GPS信号とジャイロ/車速センサー」を組み合わせたシステムで割り出します。

- GPS(グローバル・ポジショニング・システム)とは高度21,000kmの宇宙空間に浮かぶ3個以上のGPS衛星の電波を受信して、自車位置を割り出すシステムです。4個以上の衛星を受信すると3次元側位(高度/経度/緯度)となり、3個の場合は2次元(経度/緯度)となります。この情報は、米国国防総省によって管理されており、意図的に精度をかける場合があります。

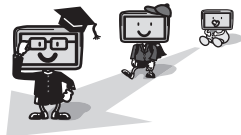


- 高い精度で使い続けるために次のような利用をおすすめします。
 - ・ ナビ画面でGPS信号が受信できていることを確認してから走行する
 - ・ 良好な信号が受信できるようにアンテナをきれいにする
 - ・ アンテナや車速信号の接続に異常がないか定期的に確認する
 - ・ やさしくていねいに扱う

- ジャイロ・車速センサーとはジャイロセンサーとは航空機や船舶などの移動体の方向変化を計測するためのもので、カーナビゲーション用に使用する場合は車速センサーと共に用います。ジャイロセンサーで方向を、車速センサーで走行距離を検出して自車位置を算出します。



- 使い始めの自車位置精度についてジャイロ・車速センサーはその車の走行情報を蓄積しなければ本来の性能を発揮できません。今までの情報がないシステムの取り付け直後や今までの情報が生かせないタイヤ交換直後などは、自車位置が正しく表示されないことがあります。そのまま走行を続けると、センサーの情報から算出した位置とGPSの位置の誤差量を学習して次第に精度が上がっていきます。

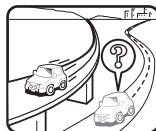


このシステムの場合、GPS信号を受信できない場合でも測位が続けられますし、ジャイロセンサーだけの走行で表われる「ずれの積み上げ」も発生しないメリットがあります。

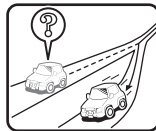
Q どうして自車位置がずれるの?

- A 記憶されている車速信号情報は車やタイヤの種類で異なります。別の車に付けかえる/タイヤを履きかえる/タイヤローテーションを行うと、車速信号情報と実際の位置情報にずれが生じます。このような場合は距離補正値を一度初期化して、再度、自動距離補正を行う必要があります(「距離補正」121ページ)。
- GPS衛星は米国の国防総省により管理されており衛星自体が故意に位置精度を落とすことがあります。このようなときは自車位置マークがずれることがあります。多少の「ずれ」は本機性能の限界も考えられます。またGPSが受信できない場合や次のようなときにも自車位置がずれることがあります。

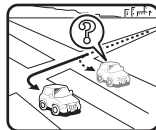
高速道路を走行している場合、その側道に自車位置マークがのるときがあります。またその逆もあります。



角度の小さなY字路や平行路を走行しているとき他方の道路に自車位置マークがのる場合があります。



碁盤目状の道路を走行している場合、隣りの道路に自車位置マークがのるときがあります。



螺旋状の道路やヘアピンの道路などを走行している場合、自転車位置マークがずれるときがあります。



勾配の急な山岳等を走行している場合、自転車位置マークがずれるときがあります。



雪道や舗装していない道路などの滑り易い道路を走行しているとき、自転車位置マークがずれることがあります。また、タイヤチェーン等を装着して走行している場合でも、自転車位置マークがずれることがあります。



以下の場合には故障ではありません。そのまましばらく走行を続けると自動的に修正します。

- 直線または緩やかなカーブを長い距離走行した直後。
 - 立体駐車場などで切り返しや旋回をした場合。
 - 混雑や渋滞で低速発進や停止を繰り返した場合。
- ただし、高速道路と一般道路が重なっているときなどでは自動的に修正できない場合があります。このようなときは、自転車位置を修正してください(「自転車位置修正」121ページ)。
また、経路誘導中の場合は路線切換(「路線切換」31ページ)を行ってください。

Q 画面上に表示された「十字カーソル」を消すには？

A 地図をスクロールしたときの「十字カーソル」を消すには、**[現在地]** スイッチを押して現在地画面に戻してください。

Q 止まっているのに、どうして自転車位置が勝手に動き回るの？

A 車速の接続が正しいか確認してください。接続が正しいときは、スピードセンサーコード(車速信号線)にノイズが乗っている可能性があります。ナビのACCやバッテリーコードにノイズサプレッサーを入れたり、スピードセンサーコードを車両配線から離してください。

Q 正しい案内がされなくなつた

A 以下の事項を確認してください。

- タイヤを交換していませんか？
タイヤ交換後、記憶されている車速信号情報と実際の位置情報にずれが生じてしまう場合がありますが、走行すると自動で修正されます。それでもずれが生じる場合には、距離補正値を初期化してください(「距離補正」121ページ参照)。
- スピードセンサーコード(車速信号線)は外れていませんか？
「車両情報」(108ページ)で確認し、お買い上げの販売店にご相談ください。
- GPSアンテナを確認する。
「車両情報」(108ページ)で確認し、お買い上げの販売店にご相談ください。

Q 音声案内が遅れるのは？

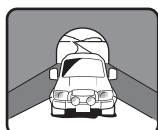
A 自転車位置と現在地に誤差が生じるためです。
本機は距離係数などを学習し、自動補正を行いますので、走行するたびに自転車位置精度が向上していきます。どうしても案内が遅れる場合には手動補正する必要があります(「距離補正」121ページ)。

Q VICS渋滞情報の一部がいつのまにか表示されなくなつた

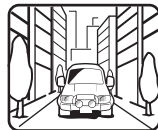
A 道路交通情報をナビゲーションなどに的確に表示できるよう、VICSリンク(主要交差点毎に道路を区切った単位)というデータ方式を採用しています。このため、道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況に変化をきたす場合は、VICSリンクの追加や変更を行っています。この結果、新しいVICSリンクにより情報の提供が行われると、ごく一部の地域ですが、変更前のVICSリンクでは情報が提供されなくなります。
ただし情報提供サービスを維持するため、変更前のVICSリンクにも変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。そのため、地図ソフトの発売時期から3年間程度経過すると、地図画面上で渋滞情報(赤・橙・緑色の矢印等)などを表示できない場所が徐々に出てきます。この現象はVICS地図表示でのみ発生します。VICSリンクは随時更新されますので、できるだけ新しい地図のご利用をおすすめします(本製品の道路単位は2019年11月版です)。

Q どうしてGPSが受信できないの？

A GPSアンテナ近くに携帯電話などを使用したり、次のような場所ではGPSが受信できないことがあります。



トンネルの中



高層ビル等の間



高架道路の下



樹木の間

- ルーフキャリアなどの使用時には、GPS衛星の電波がさえぎられて自転車位置を測位できなくなることがあります。このようなときは、アンテナとルーフキャリアを離して設置してください。
- ナビ本体のアースの接続は確実でしょうか？
お買い上げの販売店にご相談ください。

Q ナビゲーションを高い精度で使うには？

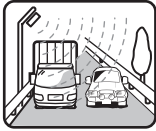
A 使いはじめなどは、受信感度の良い状態で100km以上走行することをおすすめします。

Q VICSサービスの提供区域なのに受信されない

A VICSサービスの提供区域は、全都道府県の区域でおおむねNHK-FM放送を受信することができる範囲です。ただしサービスの提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用できない場合があります。

Q どうしてFM多重放送やVICS情報が受信できないの？

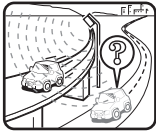
A FM多重放送は、FM放送の音声のすき間にVICS情報を盛り込みます。利用する場合は、情報を提供している放送局に周波数を合わせる必要があります。また、情報を取り込んでから表示するので、受信状態になるとすぐに表示されるわけではありません。受信しにくいときは、受信エリアの確認をしてください。
VICSには、さらに狭い範囲を対象にした「光ビーコン」、 「電波ビーコン」があります。ディーラーオプションのETC2.0車載器が必要です。
この情報は次のようなとき受信できないことがあります。



大型車と並走



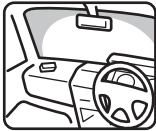
アンテナの上に物を置く



高速高架道路の下



雪などの悪天候



アンテナ受光部の汚れ
フロントガラスの汚れ

- ・高速高架下の一般道を走行している場合に、高速道路のITSスポットから情報を受信してしまう場合があります。
- ・本機は光ビーコンには対応していません。

Q VICSの渋滞情報ってなに？

A VICS渋滞情報は、地図上に渋滞地点や渋滞区間を「矢印」で提供します。方向は矢印で、混み具合は色(渋滞は赤)で表します(「渋滞情報や道路交通情報マークの表示例」58ページ)。

Q ルートを外れたらどうするの？

A ルートの外れには「測位誤差」によるもの「運転ミス」によるものの二つがあります。ルートは走行中に自車位置が近接する道路に移動してしまうのが「測位誤差」によるものです。この場合はそのまま走行を続けると自車位置は「本来の道路」に戻ってきます。
案内している交差点で曲がれなかったときなどの間違いによるルートの外れは、リルート機能によって「新たなルート」を自動的に探し出してくれます(「リルート」52ページ)。

Q ルートを消すにはどうするの？

A ルートは目的地周辺で案内を終了しますが、目的地情報は残ります。また、目的地への接近が少ないといつまでも目的地への案内を続けます。これらを消す場合は、ナビメニュー画面でルートを消去してください(「ルート消去」52ページ)。

Q ルートは記憶できないの？

A ルートを記憶させることはできません。

Q ルート探索対象道路は？

A ルート探索対象道路は道幅が5.5m(一部3.0m)より広い道路となります。

Q ルート探索のコツってなに？

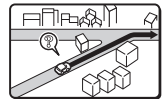
- A いろいろな使い方がありますが、下記は周遊コース設定のコツの一例です。
2泊3日の旅行で出発地に戻ってくる場合は以下の操作を行います。
- 1) 出発地(自車位置)を目的地に設定します(当然コースは表われません)。
 - 2) 立ち寄り地点(経由地)をすべて設定します(43ページ)。
 - 3) 自車位置から2泊3日のコースを確認します。
各経由地を宿泊地にしておくと、それぞれの日の走行距離を知ることができます。

Q こんなルートは故障なの？

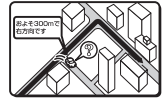
A ルート探索やルート案内において、次のような場合がありますが故障ではありません。

- ・冬期の閉鎖・歩行者天国・時間規制などで通行できない場合
- ・新道の開通などにより通行できない場合
- ・実際に通行できない道を表示する場合
- ・再探索してもルートがかわらない場合
- ・ルートが渋滞している場合
- ・目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は目的地から離れた所までしかルート表示しない場合
- ・高速優先であっても、高架下の一般道路の案内を行う場合または逆の場合
- ・Uターンするルートを表示する場合

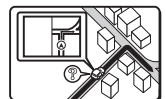
交差点で、案内されない場合があります。
また、交差点名称が案内されない場合もあります。



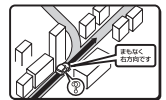
手前の交差点等で曲がったときなど音声案内される場合があります(案内ルートを外れた場合)。



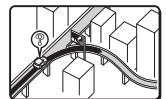
交差点拡大図が実際の道路形状と異なる場合があります。



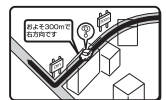
右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をする場合があります。



高速/有料道路で方面案内が表示/案内されない場合があります。



案内距離が実際の道路状況と異なる場合があります。



Q 思い通りのルートを引くには？

A ナビが自動で設定したルート以外の道を通って目的地まで行きたい場合は、利用するインターチェンジ(IC)を変更したり、通りたいルート上に経由地を追加すると、その地点を通るルートに変更することができます。経由地は最大で5箇所まで指定できます(43ページ)。

Q 時計(現在の時刻)がずれたら？

A 本機の時計表示はGPS情報から時間を算出していますので、時計表示がずれることはありません。ただし長い期間GPSが受信されない状態が続いた場合は時計がずれることがあります。GPSが受信されると正常な時間表示に戻ります。GPSを受信していてもずれている場合は本機を点検に出してください。

Q バッテリーを外してもメモリーは消えないの？

A 地点情報、設定(DVD初期設定は除く)、ルート学習・渋滞学習、電話帳などは消えません。

Q どうして夜画面がちらつくの？

A 電圧が低いときは画面がちらつくことがあります。

Q 駐車場マークを消すにはどうするの？

A 駐車場マークには、ランドマークとVICS情報マークがあります。地域によっては駐車場マークが画面いっぱいに表示され、地図が見づらくなる場合があります。110、111ページを参照して駐車場マークを消してください。

トラブルシューティング(故障かな?と思ったら)

操作のミスや勘違いを故障と間違えていませんか?



下の表または「Web版取扱説明書」(裏表紙)をご覧ください。



お買い上げの販売店にご相談ください。

操作中に停止したままになったり、画面が暗くなるなど正常に動作しなくなった場合は、一度エンジンキーをOFF/ONしてください。それでも正常動作しない場合は以下の表または「Web版取扱説明書」(裏表紙)を参照して処置を行ってください。

■ ナビゲーション関係

症状	原因	対処	参照ページ
動作しない	周囲の温度が50度以上である	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を50度以下にする	
	結露している	しばらく(1時間程度)放置し、乾いてから使う	
	内部のマイコンがノイズなどの原因で誤動作してしまった	一度エンジンをOFF/ONし、本機をリセットする	
画面がふらつく	電圧が低い	お買い上げの販売店にご相談ください。	
走行しても地図が動かない	現在地画面以外になっている	現在地画面を表示させる	29ページ
自車位置を正しく測定できない	ACCが「OFF」になってから自車位置が変わった フェリーポートによる移動 駐車場のターンテーブルによる回転 レッカー車による移動等	GPS信号受信状態(測位状態)でしばらく走行する	
自車位置マークが表示されない	現在地画面以外になっている	現在地画面を表示させる	29ページ
GPS信号が受信できない	GPS情報を利用できない状態である	周囲に障害物がない所へ移動する	
	GPSアンテナの近くで携帯電話を使っている	電話の使用をやめる	
	GPSを利用したレーダー探知機を使っている	本機のGPSアンテナと離して使用してください	
自車位置の誤差が大きい	衛星の配置が悪い	衛星の電波が受信しやすい場所へ移動する	
	2次元測位をしている		
データが保存できない	周囲の温度が50度以上である	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を50度以下にしてから保存する	
タッチスイッチがグレーになり操作できない	操作できないタッチスイッチをタッチした	車を安全な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引いてから操作する。また、状況・設定などにより、操作できないスイッチがある場合があります	
音声案内が出力されない	音声案内の音量が小さく(音声OFFに)なっている	音量を大きくする	131ページ
案内音量が大きすぎる/小さすぎる	案内音量が調整されていない	音量を調整する	131ページ
画面が見にくい	画面のコントラストや明るさ調整が不適正である	コントラストや明るさを調整する	129ページ

症状	原因	対処	参照ページ
VICS読み上げ音声が出 力されない	音声読み上げの設定が「しない」に なっている	VICSでの音声読み上げ設定を「する」にす る	117ページ
VICS読み上げ音量が大 きすぎる/小さすぎる	音声読み上げ音量が調整されてい ない	音量を調整する	131ページ
VICSで受信した文字・図 形などの情報を表示でき ない	VICSの情報として送出されていない	地区等により送出される情報は異なる	
	VICSの放送エリア外である	VICSの放送エリアに移動する	
	放送局の周波数が合っていない	受信可能な放送局に周波数を合わせる	107ページ
	データの取り込みが完全ではない	更新データを受信するまで待つ	
VICS情報(渋滞、規制、 駐車場)の地図表示がで きない	「VICS設定」でこれらの表示条件が 表示しない設定になっている	「する」に設定する	117ページ
	VICSの放送エリア外である	VICSの放送エリアに移動する	
VICS渋滞が考慮探索さ れない	「アクティブルートサーチ」が「しな い」の設定になっている	「する」に設定する	115ページ
VICS情報の表示が乱れ る	電波や光の情報がうまく受信され ない	情報を受信次第表示が更新されます	
VICSの時間が時刻と違 う	時計ではなく、表示中のVICS情報 の提供時刻を示しています VICS情報を長時間受信していない 場合は古い時間が表示されます	情報を受信次第更新されます	
有料道路に目的地/経由 地を設定できない	付近の一般道路に目的地/経由地が 設定されている	目的地/経由地の属性を「有料」に変更する	51ページ

一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買い上げの販売店に問い合わせてください。

■ システム/オーディオ関係

症状	原因	対処	参照ページ
動作しない	周囲の温度が50度以上である	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を50度以下にする	
	結露している	しばらく(1時間程度)放置し、乾いてから使う	
操作していないのに本機が勝手に動作する	会話やオーディオの音声に反応してボイスタッチ機能が動作している	不要なボイスタッチワードをOFFに設定する	18、120ページ
		「ボイスタッチチューニング」で認識率の調整を行う	120ページ
セキュリティコードを忘れてしまい、セキュリティを解除できない	—	お客様登録したうえで販売店にご相談ください	
映像が不鮮明になったり、雑音が入ったりする	電波が弱い	他の場所に車を移動して再確認する	
	バッテリー電圧が低下している	お買い上げの販売店にご相談ください	
映像が出ないまたは動きが悪い	車室内の温度が低い	車室内の温度を常温にする	
映像に斑点やしま模様が出る	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、自動車などからの影響	妨害電波を受けない場所に車を移動する	
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります	故障ではありませんので、そのままご使用ください	
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い	液晶の特性によるもの	故障ではありません。しばらくそのままお待ちください	
電源をONにした後、しばらく画面にムラがある	液晶のバックライトの特性によるもの	故障ではありません。しばらくすると安定します	
音が出ない	音量の調整不良	音量スイッチを押して確認する	13～13ページ
片側のスピーカーだけ音が出る	音量の調整不良	左右音量調整をして確認する	126ページ
音質調整をしても音質が変化しない	調整した音質が放送やディスクに含まれていない	放送やディスクを変更して確認する	
CD/DVDが入らない	すでに1枚入っていて2枚目を入れようとしている	すでに入っているCD/DVDを取り出してから再生したいCD/DVDを入れる	16ページ
CD/DVDの再生ができない	結露している	しばらく放置してから使用する	
	CD/DVDに大きなキズやソリがある	他のCD/DVDを入れる	
	CD/DVDがひどく汚れている	クリーニングする	
ディスクの再生が始まらない/音が飛ぶ/音が歪む/早送り・早戻しができない	車内温度が50℃以上である	車内温度を常温まで下げてから再生する	
	ディスクに傷が付いている	他のディスクを再生してみる	
	ディスクがひどく汚れている		
	録音状態が良くない		
	本機対応のディスクでない		
結露している	しばらく放置してから使用する		
映像も音も出ない	オーディオソースがOFFになっている	AUDIO OFFモードを解除する	61ページ

症状	原因	対処	参照ページ
DVD初期設定において、暗証番号を入力してもエラーになる/暗証番号を忘れてしまった	DVDの暗証番号が違う	DVD初期設定の内容を初期値に戻して設定した暗証番号を消去する	71ページ
CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWが再生できない	クローズセッション(ファイナライズ)処理を行っていない	クローズセッション(ファイナライズ処理)を行い、再度、試してみる	
CD-R/CD-RW/CD-ROMを再生しない	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクを再生する	
CD-R/CD-RW/CD-ROM再生時にフォルダ名やファイル名が正しく表示されない	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクを再生する	
MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALACが再生されない	書き込みに失敗している/対応フォーマット以外で書き込まれている	書き込みに失敗していないか確認する。または、「ファイル規格について」を参照し、本機対応のフォーマットで書き込みを行う	167ページ
SDカードが入らない	すでに別のSDカードが入っている	SDカードを取り出してから入れなおす	17ページ
	SDカードの入れ方が間違っている	正しい向きで入れなおす	17ページ
SDカードの再生が始まらない/音が飛ぶ/音が歪む/早送り・早戻しができない	SDカードが壊れている	他のSDカードを再生してみる	
	SDカードの端子部がひどく汚れている		
	録音状態が良くない		
	本機対応の音楽データではない		
SDカードを取り出した後、ディスプレイが閉じない	破損しているSDカードを挿入した	SDカードを取り出し後、しばらく待ってから【開/閉】スイッチを押してディスプレイを閉じる	
SDカードの録音曲編集後、ACC OFF/ONすると再生している曲が変わった	SDカードのファイルシステムがFAT32になっている	FAT32の特性によるもので不具合ではありません。次回再生時から正常に再生を行います。	
放送局が受信できない/雑音が入る(ラジオ)	放送局の周波数(チャンネル)が合っていない	周波数(チャンネル)を正しく合わせる	66ページ
	周りに障害物などがあり、受信状態が良くない	見通しが良いところに移動する	
自動的に放送局が選ばれない(ラジオ)	電波の弱い地域にいる	手動で受信する	66ページ
テレビ放送が受信できない	放送が行われていない	他のチャンネルを選ぶ	
映像がモザイク状になる/ブロックノイズが出る(テレビ)	電波状態が悪い	場所を移動する	
映像に字幕が出ない(テレビ)	字幕が設定されていない	字幕を設定する	65ページ
	字幕情報のない番組を視聴している	字幕情報のある番組を視聴する	
iPodが再生しない/iPodの音が出ない	iPodが認識されていない	iPodをリセットする iPodのリセットについては、iPod側のユーザーズガイドを参照してください	

症状	原因	対処	参照ページ
USBメモリー、MTP接続Androidスマートフォン、SDカード、iPhone/iPodを接続した後、オーディオデータの検索操作が可能になるまで時間がかかる	1つのフォルダに1万ファイル以上を格納している場合はタグ情報を使用したサーチが可能になるまで時間がかかる	複数のフォルダに分けてファイルを保存する	
	メディアに15000ファイル(本機対応最大ファイル数)近く格納している場合、「曲」でサーチした後にメディアを再接続すると、タグ情報を使用したサーチが可能になるまで時間がかかる	フォルダサーチで曲を選択する	78ページ
メディア接続時、オーディオデータを再生するまで時間がかかる	メディアに15000ファイル(本機対応最大ファイル数)近くを格納している場合、メディアを抜き差しすると再生まで時間がかかる	そのまま約20秒待つ、またはメディアを抜いた後、約20秒待ってからメディアを接続する	
メディア接続時、黒画面で曲再生を行っている	メディアを接続して本機がメディア内のファイルサーチが完了するまでの間、拡張子が *.mp4/.mkv/.aviでオーディオデータしか格納されていないファイルを再生した場合に黒画面再生を行う	本機がメディア内のファイルサーチが完了すると、黒画面で再生しているファイルをスキップして正しく再生を開始します	
スマートフォンで撮影した動画を再生することができない	撮影した動画が「DCIM」フォルダに格納されている	別な名称のフォルダ(「Video」や「Movie」など)に再生したいファイルを移動する	
【開/閉】スイッチを押してもディスプレイが開かない	音楽用/登録地点保存用SDカードへのアクセスが終了していない	アクセス終了後にもう一度【開/閉】スイッチを押す。5分以上経ってもアクセスが終了しない場合は、一度エンジンキーをOFF/ONする。または【開/閉】スイッチを10秒以上押す	
映像または音が出ない(HDMI)	本機対応以外の規格で出力設定されている	HDMI機器の出力設定を確認し、本機対応の規格に設定する	164ページ
	HDMI機器から映像/音声が出力されていない	HDMI機器側で出力設定を行う	
		一度HDMI機器のOFF/ONを行う	
	HDMI機器が画面OFFになっている場合は、HDMI機器を操作して画面を表示する		
HDMI機器がBluetoothオーディオ機器として、本機またはそれ以外の製品に接続されている	Bluetoothオーディオ接続を解除する	85ページ	
ハンズフリー通話中にエコー(残響音)やハウリングが起こる	本機側の受話音量が大きすぎる	受話音量を小さくする	93ページ
ハンズフリー通話中、相手側の音声が聞き取りにくい	自分と相手側が同時に発声している	お互いに一呼吸おいて交互に通話してください	
	受話音量が小さい	受話音量を大きくする	93ページ
ハンズフリー通話中やBluetoothオーディオ再生中に音切れやノイズが発生する	2.4GHz帯が干渉している	Bluetooth接続機器とWi-Fi接続機器が近くにある場合は、なるべく離して使用する	
	本機とBluetooth接続機器の間に遮蔽物がある	接続機器と本機の人に人など遮蔽物がある場合は、遮蔽物がない環境で使用する	
Wi-Fi通信がつながりにくいデータのダウンロードに時間がかかる	Bluetooth接続をしている	Bluetooth接続を解除してください	85ページ

症状	原因	対処	参照ページ
リヤビューカメラのガイド線が2重に表示される	リヤビューカメラと本機の両方からリヤビューカメラガイド線が出カされている	リヤビューカメラ映像表示中に画質調整画面で「固定ガイドOFF」に設定してください。	139ページ
リヤビューカメラのガイド線が消せない			

トラブルシューティング(表示メッセージと対処方法)

■ 表示メッセージ(システム)

メッセージ	原因	対処	参照ページ
異常高温を検出しましたので電源をOFFします 車内の温度が下がれば自動的に復帰します	車内温度が高すぎる	車内温度を常温まで下げる	
データの読み込みに失敗しました メディアを確認してください	SDカード/USBメモリーの地図更新データまたはGracenoteタイトルデータ読み込みに異常が発生した	一度SDカード/USBメモリーの抜き差しを行い、再度更新を行う。それでも直らないときは、再度データ取得を行ってください	
車種専用チューニング中は操作できません チューニング完了後に再度操作を行ってください	車種専用チューニング中に 音質調整 、 リアビジョン/アロマ 、 ダブルゾーン にタッチした	車種専用チューニングが完了後に操作してください	
車種データが破損しています 再度ダウンロードしてください	ダウンロードしたコンテンツデータ、もしくはメディア(SDカード/USBメモリー)へ保存したコンテンツデータが破損している	一度SDカード/USBメモリーの抜き差しを行い、再度更新を行う。それでも直らないときは、車種データファイルを再度ダウンロードし、車種専用チューニング操作を行ってください	
車種専用チューニングに失敗しました	車種専用チューニング中にSDカード/USBメモリーを取り外した	再度チューニング操作を行う	6、123ページ
車種データの読み込みに失敗しました	車種データが破損している	車種データファイルを再度ダウンロードし、車種専用チューニング操作を行う	123ページ
データの読み込みができないため操作できません	なんらかの原因で本機の地図データにアクセスエラーが発生した	お買い上げの販売店にご相談ください	
データの読み込みができません 詳細は販売店へお問い合わせください	アクセスエラー後に復帰しない。本機の地図データが破損している	お買い上げの販売店にご相談ください	
携帯電話を確認してください	携帯電話が正しく接続されていない	携帯電話の接続と、「Bluetooth設定」を確認してください	90、133ページ
USB機器の接続を確認してください	接続エラー	一度本機からUSB機器を外し、再接続する	88ページ
DVDドライブにアクセスできません システムをリセットします	なんらかの原因でDVDメカにアクセスエラーが発生した	自動的に再起動します	
DVDドライブにアクセスできません 詳細は販売店へお問い合わせください	なんらかの原因でDVDメカにアクセスできなくなった	お買い上げの販売店にご相談ください	
異常が発生しました [開/閉]スイッチを押してください	ディスプレイのメカに異常が発生した	[開/閉]スイッチを押してください	
カードかETC車載器を確認してください	ETCカードやETC2.0車載器のシステムエラーが発生した	ETCカードを抜き差ししてください。それでも直らない場合はお買い上げの販売店にご相談ください	
ETC車載器がセットアップされていません	接続されているETC2.0車載器のセットアップが未完了の場合に表示される	お買い上げの販売店にご相談ください	

メッセージ	原因	対処	参照ページ
走行中は安全のため操作できません	走行中にメニュー操作を行った	車を安全な場所に移動し、必ず停車後パーキングブレーキを引いてから操作する。停車している状態でも変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください	
設定に失敗しました	スマートフォンとのWi-Fi接続設定に失敗した	スマートフォンのWi-Fi機能をONにし、本機を検索して登録する	
地図更新を中断しました再開するにはメディアを再接続してください ※ メディア未接続時はナビ機能をご利用できません	地図更新中にUSBメモリーを取りはずした	USBメモリーを再接続する	
アップデートに失敗しました メディアを抜かずにエンジンをOFF/ONしてください アップデートが再開します	メディア(DVD/SDカード/USBメモリー)でのプログラムアップデート中にエラーが発生した	メディアを抜かずに、エンジンをACC OFF/ONする	
オープニング画像が破損しています オープニング画像設定画面から書き換えをしてください	ダウンロードしたオープニング画像データ、もしくはメディア(SDカード/USBメモリー)へ保存したオープニング画像データが破損している	オープニング画像データを再度ダウンロードし、オープニング画像設定画面から書き換えをしてください	123ページ
ボイスタッチワード設定がしないに設定されています	ボイスタッチワード一覧画面表示時、ボイスタッチワード「しない」設定しているワードを発話した、またはボイスタッチワードが「全てしない」に設定されている	「ボイスタッチワード設定」で使用するボイスタッチワードを する に設定する	120ページ
スピーカーの接続に異常が発生しました 販売店へお問い合わせください	スピーカーの接続に異常がある状態で本機を起動した	スピーカーの接続を確認してください。または販売店へお問い合わせください	
SDカードにアクセスできません SDカードを確認してください	故障しているSDカード、データが破損しているSDカード、または対象外のファイルシステムでフォーマットされているSDカードを挿入した	SDカードの金属端子部分の汚れを乾いた柔らかい布で軽く拭き取り、再度本機に挿入する。または他の機器でSDカードを読み込めるか確認し、読み込めない場合は別のSDカードを使用する 本機対象のファイルシステムでフォーマットされたSDカードを使用する	
ドライブレコーダーが高温のため動作できません 温度が下がると動作を再開します	ドライブレコーダーが異常に高温になっている	高温時は、機器の保護のため動作を制限する場合があります。温度が下がると再開します	
ドライブレコーダーの録画機能が動作していません しばらくたっても録画が開始されない場合はエンジンを再始動するか、ドライブレコーダーを確認してください	システムがドライブレコーダーを認識できなかった	エンジンをACC OFF/ONする。それでもメッセージが表示されるときは、お買い上げの販売店にご相談ください	
SDカードに異常が発生したため認識できません 再度フォーマットするかSDカードを交換してください	故障しているSDカード、データが破損しているSDカード、または対象外のファイルシステムでフォーマットされているSDカードを挿入した	SDカード内のデータをパソコンに保存し、SDカードを初期化する。または新しいSDカードに交換してください	145ページ

メッセージ	原因	対処	参照ページ
駐車中にドライブレコーダーの録画が実行されましたがバッテリー電圧が低かったため録画できませんでした	駐車録画を開始したが、ドライブレコーダーを起動する電圧が低く録画できなかった	車のバッテリー容量を確認する。またはお買い上げの販売店にご相談ください	
ドライブレコーダーのSDカードのパフォーマンスが低下しています 大切な映像をパソコンに移動したあとSDカードのフォーマットを実施してください	SDカードが破損している	SDカード内のデータをパソコンに保存し、SDカードを初期化してください	145ページ
ドライブレコーダーのSDカードの交換時期になりました 新しいSDカードへの交換をお勧めします	SDカードを長期間使用した	SDカードには寿命があります。新しいSDカードに交換してください	

■ 表示メッセージ(ナビゲーション関係)

メッセージ	原因	対処	参照ページ
ルート計算できませんでした	目的地を指示したとき、周辺に道路がなくルート探索ができない	付近の主要道路にカーソルを合わせ、再度目的地を指示する	
これより広域の地図ではVICS情報を表示できません	10m ~ 1kmスケールの地図を表示中に2kmスケールの地図にした	VICS情報を表示させる場合は地図スケールを1km以下の詳細な地図に切りかえる	34ページ
情報受信中につきしばらくお待ちください	FM多重放送やVICS情報を受信していない	しばらくしてもメッセージを表示する場合は選局し直してください	
情報がありません	FM多重放送を行っている放送局を選局していないか、または情報を受信していない	他の放送局を選局する	
ETCゲートを通行できません	通信エラーまたはETC2.0車載器のエラー	料金所の係員の指示に従ってください	
切り換える道路がありません	路線切換操作を行ったときに、近くに切りかえられる有料道路または一般道路が存在しない	他の場所で路線切換操作を行う	31ページ
自宅が登録されていません	自宅が登録されていない状態でボイスタッチワード「自宅に帰る」を発話した	自宅を登録してから発話する	54ページ

■ 表示メッセージ(オーディオ関係)

メッセージ	原因	対処	参照ページ
読み込み異常が発生しました	書き込みに失敗している/対応フォーマット以外で書き込まれている	書き込みに失敗していないか確認する。または「オーディオソースメディアについての注意」を参照し、本機対応のフォーマットで書き込みを行う	163ページ
ライトプロテクトされています SDを確認してください	SDカードの書き込み禁止スイッチがLock側になっている	書き込み禁止スイッチを解除する	
iPodとの通信ができません 接続を確認してください	通信エラー	一度本機からiPhone/iPodを外し、再接続する	81ページ

メッセージ	原因	対処	参照ページ
ディスクを確認してください	ディスクが汚れている、または裏返しになっている	汚れている場合はクリーニングを行う。裏返しになっている場合は正しい向きで挿入する	16、164ページ
	再生可能なディスクではない	別のディスクを試す	
このチャンネルは視聴できません	本機が対応していない受信方式のチャンネルを受信した	受信可能なチャンネルを選ぶ	
	有料放送を受信している	本機では有料放送には対応していないため、受信可能なチャンネルを選ぶ	
データを取得できません	データ放送において閲覧対象のコンテンツが取得できない	再選局を行う	
双方向サービスには対応していません	データ放送受信時に双方向サービス対応のコンテンツ操作を行っている	双方向サービスには対応していないため、双方向サービスではないデータ放送コンテンツを選ぶ	
受信できません	存在しないチャンネルを受信しようとした	受信可能なチャンネルを選ぶ	
ワンセグ放送がありません	ワンセグ放送を行っていないチャンネルでワンセグ放送を受信しようとした	受信可能なチャンネルを選ぶ	
ワンセグ放送のみ受信可能です	受信状態が悪く地上デジタル放送は視聴できない状態であるが、ワンセグ放送であれば視聴可能であるチャンネルを視聴した	ワンセグ放送を視聴する 地上デジタル放送が視聴可能な場所へ移動する	
未対応のサービスです	本機で対応できないサービスを受信しようとした	受信可能なチャンネルを選ぶ	
放送チャンネルではありません	放送用のチャンネルではないチャンネルを受信しようとした	受信可能なチャンネルを選ぶ	
このチャンネルは放送を休止しています	定常サービス／臨時サービスにおいて、CHは存在しているが、番組が放送されていないチャンネルを受信しようとした	受信可能なチャンネルを選ぶ	
TVのスクリーンで受信できませんでした	ホームスクリーン／お出かけスクリーン完了後に、受信可能な放送局が全く無かった場合に表示される	テレビ放送が受信可能な場所へ移動して、再度スクリーンを実施する	
	情報更新完了後に一つも番組情報を取得できなかった	テレビ放送が受信可能な場所へ移動して、再度情報更新を実施する	
TVの自動サーチを中止します	TVの自動サーチ中にGPS衛星情報が受信できなくなり、自転車位置を測定できない	GPS衛星の電波が受信しやすい場所へ移動する	
情報が取得できなかった番組があります	情報更新完了後に一部番組情報を取得できなかった放送局があった	テレビ放送が安定して視聴可能な場所へ移動し、再度情報更新を実施する	63ページ
TVのアンテナ接続に不具合があります 接続をもう一度確認してください	テレビのアンテナがショートしている	お買い上げの販売店にご相談ください	
HDMI外部機器との通信ができません 機器との接続確認または映像の出力操作を行ってください	HDMI機器が正しく接続されていない	一度本機からHDMI機器を外し、再接続する／HDMI機器側の出力設定を行う	

メッセージ	原因	対処	参照ページ
HDMI外部機器の電源ラインに異常が発生しました 接続をもう一度確認してください	接続エラー	一度本機からHDMI機器を外し、再接続する	
非対応データのため再生できません	対応フォーマット以外の映像・音声データになっている	「HDMIについてのご注意」を参照し、本機対応のデータを再生する	164ページ
HDMIモニターとの通信ができません モニターとの接続確認またはエンジンをOFF/ONしてください	接続エラー	エンジン(ACC)をOFF/ONする。それでも直らない場合はお買い上げの販売店にご相談ください	

操作中の画面にはいろいろなメッセージが表示されます。メッセージには現在の状態を知らせたり次の操作をガイドしたりするもののほか、上記のようなエラーメッセージを表示する場合があります。上記のエラーメッセージが表示された場合は「対処」の内容をよくお読みになり、その指示に従ってください。

オーディオソースメディアについての注意

ディスクについてのご注意

<本機で再生できるディスクについて>

本機では次のディスクが再生できます。

	マーク(ロゴ)	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオ		音声 + 映像 (動画)	12cm
音楽CD※		音声	12cm

※ ディスクレーベル面に上記マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。

※ 8cmディスクはアダプターを使用しても再生できません。

本機は下記フォーマットで記録されたデータのみ再生することができます。「本機対応のフォーマットについて」(166ページ)を参照してください。

	CD-R/ CD-RW	DVD-R/ DVD-RW	DVD+R/ DVD+RW
CDフォーマット	○	—	—
MP3フォーマット	○	○	○
WMAフォーマット	○	○	○
AACフォーマット	○	○	○
WAVフォーマット	○	○	○
FLACフォーマット	○	○	○
ALACフォーマット	○	○	○
DVDビデオフォーマット	—	○	○
DVD-VRフォーマット	—	○	—
MPEG4 AVCフォーマット	—	—	—

・ ファイナライズ処理されていないディスクは再生されません。

<再生できないディスク>

DVD-RAM・CD-ROM(MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALACファイルを除く)・ビデオCD・フォトCDなど。

<DualDiscについて>

本機はDualDiscには対応しておりません。ディスクの出し入れの際、ディスクに傷がついたり故障の原因になる場合もありますので使用しないでください。

<DVDディスク映像規格について>

本機はNTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL/SECAM)用のディスクは再生することができません。

<DVDリージョン番号(再生可能な地域番号)について>

本機のリージョン番号は2です。

DVDビデオディスクに表示されている地域番号が下記のようなリージョン番号 を含んでいないまたは、 が表示されていないディスクは再生できません。なお、リージョン番号の設定を変更することはできません。



<DVDディスクに表示されているマークについて>

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには以下のようなものがあります。

マーク	意味
	再生できる言語の数を表します。
	字幕に表示できる言語の数を表します。
	アングルの数を表します。
	選択可能な画像の縦横の比率を表します。 ・「16:9」はワイド画面、「4:3」は標準画面を表します。
	再生可能な地域番号を表します。 ・「ALL」は全世界向け、数字は地域番号を表します。「2」は日本向け。

<コンパクトディスク(CD/CD-R/CD-RW)のご使用について>

CD規格外ディスクを使用された場合には安定した再生や最適な音質の保証はいたしかねます。

また本機は音楽専用機器で録音した音楽専用のCD-R(CD-Recordable)/CD-RW(CD-ReWritable)、MP3/WMA/AAC/FLAC/ALACファイル形式のCD-R/CD-RWの再生が可能です。

次のようなディスクは再生できないことがあります。指紋やキズが付いている/車内や製品内に長時間放置した/データ書き込み状態が不安定/データ書き込みに失敗し再録音した場合など。MP3/WMA/AAC/FLAC/ALACファイルは本機対応のフォーマットで記憶したディスクを使用してください。

<CD-R/CD-RWをご使用のお客様へ>

- ・ CD-R/CD-RWが再生できない場合は、クローズセッション(ファイナライズ処理)を行っているかどうか確認してください。行われていない場合は、クローズセッション(ファイナライズ処理)を行い、再度お試しください。
- ・ 音楽データ(CD-DA)とMP3/WMA/AAC/FLAC/ALACデータが混在するディスクでは、ファーストセッションがCDDAの場合はCD-DAのみ再生します。
- ・ マルチセッションに対応しております。「Track at once」で書き込んだ場合、クローズセッションや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。
- ・ ディスクに格納しているFLAC/ALAC/WAVデータ再生時は、音切れする場合があります。

<DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクのご使用について>

- ・本機は、DVD-VideoモードまたはDVD-VRモード(DVD-R/DVD-RWディスクのみ)で記録されたディスクに対応しております。
- ・ファイナライズ処理(再生専用DVDプレーヤーで再生可能にするための処理)がされていないディスクは再生できませんのでご注意ください。
- ・ディスクの書き込みに使用した機器の仕様によっては再生できない場合があります。
- ・本機には違法コピー検出機能を有しております。違法コピーを検出した際は再生を行いません。正しい方式で記録されないPCソフトで記録した場合、本機では違法コピーと検出する場合があります。
- ・録画に使用したDVDレコーダやDVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクの特性、傷、汚れ、またはDVDプレーヤーのピックアップレンズの汚れ、結露などにより再生できない場合があります。
- ・DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクの取り扱いにあたっては、ディスクの使用上の注意を必ずお守りください。
- ・DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクのレーベル面や記録面にシール・シート・テープなどを貼らないでください。
- ・DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクは通常のDVDに比べ高温多湿環境や直射日光に弱く、一部のディスクや長時間車室内に放置したディスクは再生できない場合があります。
- ・ディスク本体の再生可能な温度範囲は、次のとおりです。
DVD-R/DVD-RW: -25 ~ +70°C
DVD+R/DVD+RW: +5 ~ +55°C

<取り扱い上のご注意(ディスク)>

- ・故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。
盤面にさわらない/直射日光下に置かない/ラベルを貼らない/ホコリやごみが付いたら拭きとる/バリが無いことを確認する/市販のアクセサリを使わない。
特にCD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWは以下の点について十分に注意してください。
車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高温多湿の環境に弱いため、ディスクが劣化し再生不能となる場合があります。
- ・特殊な形状のディスクは使わない
必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。
- ・ディスクのお手入れ
柔らかいきれいな布で中心から外に向かってやさしく拭き取ってください。
- ・新品のバリに注意
ディスクの側面やセンターホール面にバリ(突起)があると勝手にイジェクトします。このような場合は、ボールペンなどで縁をなぞって突起を取り除いてください。

HDMIについてのご注意

本機で対応しているHDMI規格は次の通りです。下記以外の動作保証および性能保証はいたしかねます。

- ・映像規格
入力解像度: 1080p/720p/480p/VGA
出力解像度: 480p/720p
- ・入力音声規格
サンプリング: 32kHz/44.1kHz/48kHz
- ・出力音声規格
サンプリング: 48kHz

SDカードについてのご注意

<再生できるSDカードについて>

- ・本機はSD/SDHC/SDXCカードに対応しています。SDカード規格に準拠したカードをご使用ください。
- ・SanDisk製、Panasonic製、東芝製、TDK製のSDカードのご利用を推奨します。
- ・本機対応のフォーマットで記録されたデータのみ再生することができます。「本機対応のフォーマットについて」(166ページ)を参照してください。

<取り扱い上のご注意(SDカード)>

- ・大切なデータはパソコン等を用いて、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- ・SDカードの動作保証はしておりません。ご使用の際には、SDカードの使用条件内でのご利用をお願いいたします。
- ・SDカードは高温・低温時には正常に動作しない場合があります。
- ・SDカードで作成した地点登録ファイルは個人として利用するなどのほか、権利者に無断で使用できません。
- ・故障や動作不良をおこさないために次の点を守ってお使いください。また、SDカードの取扱説明書もよくお読みください。
端子部には手や金属で触れない/強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしない/分解したり、改造したりしない/水にぬらさない
- ・以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
 - 高温になった車内や炎天下など気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
 - 特に以下の点について十分に注意してください。
車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高温多湿の環境に弱いため、SDカードが劣化し再生不能となる場合があります。
- ・miniSDカード/microSDカードを本機で使用する際は、必ずカードに付属されている専用のアダプターを使用してください。またminiSDカード/microSDカードを取り出す時はアダプターごと取り出し、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

<誤消去防止スイッチについて>

誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集・消去ができなくなります。

<結露にご注意>

寒い車内を急に暖めると、本体内部に露がつき誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどSDカードを取り出しておくと正常に動作します。

USBメモリーについてのご注意

<再生できるUSBメモリーについて>

- ・本機はUSB Mass Storage Class 対応のUSBメモリーを操作できます。
- ・本機対応のフォーマットで記録されたデータのみ再生することができます。「本機対応のフォーマットについて」(166ページ)を参照してください。

<再生できないUSBメモリー>

- ・ハブ付USBメモリーは再生できません。またUSBハブも接続対象外です。

<取り扱い上のご注意>

- ・USBメモリーの動作保証はしておりません。ご使用の際にはUSBメモリーの使用条件内でのご利用をお願いします。USBメモリーの取扱説明書もよくお読みください。
- ・また以下のような場所での使用や保存は避けてください。
 - 高温になった車内や炎天下など気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
 - 特に以下の点について十分に注意してください。
車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高温多湿の環境に弱いため、USBメモリーが劣化し再生不能となる場合があります。
- ・USBメモリーは運転に支障をきたさない場所に固定してください。
- ・USBメモリーは高温・低温時には正常に動作しない場合があります。
- ・USBメモリー規格に準拠したUSBメモリーを使用しても、USBメモリーの種類や状態により正常に動作できない場合があります。
- ・USBメモリーの種類や記録状態、エンコードソフトの設定によっては再生や表示ができない場合があります。
- ・コピープロテクト(著作権保護)されたファイルは再生できません。
- ・複数のパーティションを持つUSBメモリーはサポート対象外です。
- ・セキュリティ機能を持つUSBメモリーはサポート対象外です。
- ・大切なデータはパソコン等を用いてバックアップを取っておくことをおすすめします。

iPhone/iPodについてのご注意

<再生できるiPhone/iPodについて>

- ・本機はiOS 10.0.2以降のiPhone/iPodのミュージック再生に対応しています。
Made for
 - iPhone 11 Pro Max
 - iPhone 11 Pro
 - iPhone 11
 - iPhone XS
 - iPhone XS Max
 - iPhone XR
 - iPhone X
 - iPhone 8 Plus
 - iPhone 8
 - iPhone 7 Plus
 - iPhone 7
 - iPhone SE
 - iPhone 6s Plus
 - iPhone 6s
 - iPhone 6 Plus
 - iPhone 6
 - iPhone 5s
 - iPod touch (7th generation)
 - iPod touch (6th generation)
- ・最新の接続確認情報は、アルバインホームページをご覧ください。



<取り扱い上のご注意>

- ・iPhone/iPodの機能については、iPhone/iPodユーザガイドを参照してください。
- ・車内の温度が極端に高い(炎天下駐車)ときや低い(厳冬期駐車)ときにiPhone/iPodを車内に放置すると、iPhone/iPod故障の原因になります。
- ・本製品を使用中にiPhone/iPodのデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

本機対応のフォーマットについて

■ メディア規格について

ディスク ^{*1}	ディスク種類:CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW ファイルシステム:ISO9660 Level1、ISO9660 Level2、Joliet、Romeo 認識可能なフォルダ階層:8階層 最大フォルダ数:256 最大ファイル数 ^{*2} :999 ファイル名最大文字数:255文字(拡張子を含む)
SDカード	規格:SD(2GBまで)/SDHC(32GBまで)/SDXC(2TBまで) ファイルシステム:FAT 16/32、exFAT 転送速度:22Mbps 認識可能なフォルダ階層:8階層 最大フォルダ数:1024 最大ファイル数 ^{*2} :15000 ファイル名最大文字数:255文字(拡張子を含む)
USBメモリー	USB規格:USB 1.1/2.0 USBクラス:マストレージクラス ファイルシステム:FAT 16/32、exFAT 認識可能なフォルダ階層:8階層 最大フォルダ数:1024 最大ファイル数 ^{*2} :15000 ファイル名最大文字数:255文字(拡張子を含む)
Androidスマートフォン	USB規格:USB MTP 1.1 USBクラス:Media Transfer Protocol ファイルシステム:デバイス依存 転送速度:デバイス依存(USB 1.1/2.0規格に準拠) 認識可能なフォルダ階層:8階層 最大フォルダ数:1024 最大ファイル数 ^{*2} :15000 ファイル名最大文字数:255文字(拡張子を含む)

※1:

- ・マルチセッションに対応しております。“Track at once”で書き込んだ場合、クローズセッションや追記禁止のファイルナライズ処理をしてください。
- ・音楽データ(CD-DA)とMP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALACデータが混在するディスクでは、ファーストセッションがCDDAの場合はCD-DAのみ再生します。
- ・演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

※2 対応拡張子のファイルであれば本機対応のフォーマットでなくてもカウントされます。

■ ファイル規格について

対応メディア	フォーマット	規格
ディスク、 SDカード、 USBメモリー、 Androidスマートフォン	MP3*1*2	拡張子:.mp3 規格:MPEG-1 Audio Layer Ⅲ、MPEG-2 Audio Layer Ⅲ、 MPEG-2.5 Audio Layer Ⅲ サンプリング周波数:8 ~ 48kHz ビットレート:8 ~ 320kbps チャンネル:2chまで タグ:ID3 Tag v1.0、v1.1、v2.2、v2.3、v2.4 タグ最大文字数:64文字 1ファイルの最大対応サイズ:512MB
ディスク、 SDカード、 USBメモリー、 Androidスマートフォン	WMA*1*2*3	拡張子:.wma 規格:Ver. 7.x/8.x/9.x サンプリング周波数:8 ~ 48kHz ビットレート:8 ~ 320kbps チャンネル:2chまで タグ:Ver. 1.x タグ最大文字数:64文字 1ファイルの最大対応サイズ:512MB
ディスク、 SDカード、 USBメモリー、 Androidスマートフォン	AAC*2*3*4	拡張子:.aac/.m4a/.mp4 規格:MPEG-2 AAC、MPEG-4 AAC サンプリング周波数:8 ~ 48kHz ビットレート:16 ~ 320kbps チャンネル:5.1chまで(ダウンミックスし2ch再生) タグ:iTunesタグ タグ最大文字数:64文字 1ファイルの最大対応サイズ:512MB
ディスク、 SDカード、 USBメモリー、 Androidスマートフォン	WAV*5	拡張子:.wav サンプリング周波数:8 ~ 192kHz 量子化ビット数:8/16/24/32bit チャンネル:2chまで 1ファイルの最大対応サイズ:512MB
ディスク、 SDカード、 USBメモリー、 Androidスマートフォン	FLAC*5	拡張子:.fla/.flac サンプリング周波数:8 ~ 192kHz 量子化ビット数:4/8/16/24bit チャンネル:5.1chまで(ダウンミックスし2ch再生) タグ:Vorbis commentに対応(対応文字コードはUTF-8) タグ最大文字数:64文字 1ファイルの最大対応サイズ:512MB
ディスク、 SDカード、 USBメモリー、 Androidスマートフォン	ALAC*5	拡張子:.m4a/.mp4 サンプリング周波数:8 ~ 192kHz 量子化ビット数:16/24bit チャンネル:5.1chまで(ダウンミックスし2ch再生) タグ:対応文字コードはUTF-8 タグ最大文字数:64文字 1ファイルの最大対応サイズ:512MB
SDカード、 USBメモリー、 Androidスマートフォン	AVI	拡張子:.avi オーディオコーデック:PCM、MP3、AAC、FLAC、WMA ビデオコーデック:H.264/MPEG-4 AVC プロファイル:Baseline、Main、High 解像度:64×64 ~ 1920×1080pixel 最大フレームレート:60fps 最大ビットレート:50Mbps 1ファイルの最大対応サイズ:4GB

対応メディア	フォーマット	規格
SDカード、 USBメモリー、 Androidスマートフォン	MP4	拡張子:.mp4 オーディオコーデック:PCM、MP3、AAC ビデオコーデック:H.264/MPEG-4 AVC プロファイル:Baseline、Main、High 解像度:64×64～1920×1080pixel 最大フレームレート:60fps 最大ビットレート:50Mbps 1ファイルの最大対応サイズ:4GB
SDカード、 USBメモリー、 Androidスマートフォン	MKV	拡張子:.mkv オーディオコーデック:PCM、MP3、AAC、FLAC、WMA ビデオコーデック:H.264/MPEG-4 AVC プロファイル:Baseline、Main、High 解像度:64×64～1920×1080pixel 最大フレームレート:60fps 最大ビットレート:50Mbps 1ファイルの最大対応サイズ:4GB

- ファイルを作成したライティングソフトや変換ソフトによっては再生できない場合があります。また、文字情報が正しく表示されない場合があります。

※1 VBRに対応しています。

※2 低ビットレートのファイル再生時は十分な音質が得られない場合があります。

※3 DRM(デジタル著作権管理Digital Rights Management)で著作権保護されたファイルは、本機では再生できません。

※4 本機ではiTunesを使用してエンコードされたAACファイルのみの再生に対応しています。

※5 ディスクに格納しているFLAC/ALAC/WAVデータ再生時は、音切れする場合があります。

約款・規約、その他

VICS情報有料放送サービス契約 約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。))は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。))を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
- (4) VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

- 2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

- 第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
- また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
- 但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
- 2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情がある認められる場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

別表

視聴料金 300円(税抜き)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

交通事故防止等安全確保のため に必ずお守りください

この取扱説明書では、安全にかかわる注意事項をその危険の大きさの程度に応じて、次のように分類して記載しています。



その危険を回避できなかった場合に、死亡又は重傷を負う可能性のあるもの

- 運転者は走行中に操作をしないでください。
- 運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。
- 操作は安全な場所に車を停止させてからおこなってください。
- 安全な場所以外では追突・衝突されるおそれがあります。
- 運転中は画面を注視しないでください。
- 運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。
- 常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。
- 本商品に収録されている地図データ・交通規制データ・経路探索・音声案内などが実際と異なる場合があるため、運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。
- 一方通行表示については常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。
- 一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。
- 本商品を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。

路線別データ使用規約

本使用規定(「本規定」)は、アルプスアルパイン株式会社(「高速度配信」サービスにより配信される「地図データ」(「本データ」)の提供元である株式会社ゼンリン(「弊社」)とお客さま間、本データの使用許諾条件を定めたものです。本データのダウンロード前に必ずお読みください。なお、お客さまが本データをダウンロードされた場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

<使用規定>

1. 弊社は、お客さまに対し、お客さま自身が管理使用するアルプスアルパイン株式会社製「7DNXF2」(「機器」)1台に限り、本データを以下のいずれかの方法によりインストールし、機器の取扱説明書(「取説」)および本規定の定めに従い使用することを許諾します。なお、お客さまは、本データの機器へのインストールを一部でも開始した場合は、本データをインストールする機器を変更できないものとします。
「パソコン経由でのインストール」
(1) お客さま自身が管理使用するパソコン1台に限り、本データをダウンロード(複製)する。
(2) 上記(1)に従いパソコンにダウンロード(複製)した本データを、SDカード/USBメモリーにコピー(複製)する。
(3) 上記(2)に従いSDカード/USBメモリーにコピー(複製)した本データを、当該SDカード/USBメモリーを機器に挿入し、機器にコピー(複製)する。
「携帯電話経由でのインストール」
お客さま自身が管理使用する携帯電話と専用スマートフォンアプリを通じて本データをダウンロードし、機器にコピー(複製)する。
2. お客さまは、本データのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
 - (1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本データを使用すること。
 - (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
3. お客さまは、以下の事項を承諾するものとします。
 - (1) 本データの著作権は、弊社または弊社に著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属し、お客さまは、本データに関して、本規定で許諾される権利以外の一切の権利を有しないこと。
 - (2) 本データおよび本データを使用することによってなされる案内などは、必ずしもお客さまの使用目的または要求を満たすものではなく、また、すべてが正確かつ完全ではないこと。弊社は、このような場合においても本データの交換・修補・代金返還その他の責任を負わないこと。
 - (3) 本データに関する弊社のお客さまに対する損害賠償責任は、弊社の故意または重大失による場合を除き、お客さまが直接被った現実かつ通常の損害の賠償に限られ、また、機器の対価としてお客さまがアルプスアルパイン株式会社またはその販売代理店に対して現実支払った金額を限度とすること。なお、この規定は、本データに関する弊社の損害賠償責任のすべてを規定したものとすること。
 - (4) 本規定に違反したことにより弊社に損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
4. お客さまは、以下の行為をしてはならないものとします。
 - (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本データの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信することまたは同時に2台以上の機器で使用すること。
 - (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本データ(形態の如何を問わず、その全部または一部)の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。
 - (3) 本データをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
 - (4) その他本データについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

地図データについて

収録データについて

収録されているデータ情報及び作成年月	
高速・有料道路	2019年12月
国道・都道府県道	2019年10月
高速・有料道路料金データ	2019年12月
交差点情報(ランドマーク・名称)	2019年11月
交通規制データ	2019年11月
VICSリンク開示	2019年11月
電話番号検索(タウンページ)	2019年11月
電話番号検索(ハローページ)	2019年8月
市街地図データ	2019年7月
住所検索データ	2019年11月
目的地情報(文字情報)	2019年10月
一般道レーン情報	2019年11月
都市高速入案内データ	2019年10月
3Dジャイロ用昇降データ	2019年12月
抜けど道(全国版)	2020年1月
静止画3Dリアル交差点データ(作成日)	2019年8月
動画3Dリアル交差点データ(作成日)	2019年10月
VICS交通統計データ(データ鮮度)	2018年10月1日～ 2019年9月30日
収録データ件数	
住所検索件数	約3,177万件
電話番号検索データ数(タウンページ)	約532万件
市街地図格納都市数	1,102都市
VICS交通統計データ(距離数)	約8万km
ハローページ収録件数	約1,661万件
交差点拡大対象交差点数	約81万件
郵便番号件数	約15万件
最寄り検索総数	約16万件

<収録データの補足説明>

- 「個人宅電話番号・名称データ」による「電話番号」検索は、公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で検索が可能です。なお、検索された物件の一部では家形図周辺の検索表示になる場合があります。また電話番号非公開訪問先宅(データ収録外物件)については入力電話番号「局番」周辺の位置検出となります。
- 「住所検索データ」による「住所」検索は住所の整備状況により一部検索出来ない住所があります。また検索された住所の一部では家形図周辺の検索表示になる場合があります。
- 「50音データ」および「タウンページ電話番号データ」によるポイント検索は、国土地理院発行地図の番号未掲載や電話番号登録時の状況により周辺地域による位置検出となる場合があります。
- 市街地カバー面積は収録地域によって全域をカバーしていない場合があります。

地図・情報について

このアルパインナビゲーションシステムの「地図」は「全国デジタル道路地図データベース」と「交通規制データベース」をもとに、株式会社ゼンリンが独自に収集した情報(高速道路・有料道路は2018年12月までに、国道・都道府県道は2019年10月現在までに)を網羅し、作成したものです。

本品に収録されている情報は、調査時期やその取得方法により、現場の状況と異なる場合があるため、使用に際しては、実際の道路状況および交通規制に従ってください。

地図の内容は、予告なく新しい地図データに更新されることがあります。

抜けど道データは、マップル「マップル渋滞ぬけみちデータ」(2020年1月)に基づき作成しています。

現在、2011年9月11日に発生した東日本大震災の影響により、以下の地区において地図データ更新を停止しております。

南相馬市／浪江町／双葉町／大熊町／富岡町／楡葉町／飯館村／葛尾村

<地図著作権について>

- このナビゲーションに掲載されている地図の内容の一部または全部の複製を禁じます。
- ©2020 一般財団法人日本デジタル道路地図協会
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しました。(承認番号 平29情使、第444-B352号)
- 3次元地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用しました。(承認番号 平30情使、第1233-001号)
- この地図作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第44条に基づく成果使用承認 12-0010)
- この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、公益財団法人 日本道路交通情報センター(JARTIC)の交通規制情報を使用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
- 「VICS」および「VICS WIDE」は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 本品に使用している渋滞統計情報は、過去の統計情報を基にした渋滞情報表示となります。
(予測データ提供元:NTTデータ、予測の元となる情報:JARTIC/VICSセンター)

© 2020 ZENRIN CO., LTD.

© 2019 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION

© 2019 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION

© ジオ技術研究所

© 2020 ALPS ALPINE CO., LTD.

個人宅電話番号・名称データについて

個人宅電話番号・名称データは、おおむね2019年8月までに収集されたデータを使用しております。

※ 個人情報保護に関する基本方針、およびナビゲーション地図に掲載されております個人データのお取り扱いにつきましては下記アドレスのホームページを御覧ください。

<https://www.alpine.co.jp/privacy.html>

セキュリティ設定について

セキュリティコードを設定すると、盗難被害に遭ってナビを取り外されても、セキュリティコードを入力しないと本機を使用できません。セキュリティコードを設定することをお勧めします。

- ・ 設定方法は「セキュリティ設定」122ページを参照してください。

カーナビゲーションに記録されるデータについて

カーナビゲーションは、お客様ご自身の操作によりSDカードやメモリーに記録される「地点情報」や「走行軌跡」の他にも、製品の修理等に役立てることを目的に、自動的に記録されるデータがあります。

- ① カーナビゲーションが自動的に記録するデータ
電源がONの状態でごデータを自動的に記録します。
 - ・ 目的地設定履歴 等
- ② 記録されたデータの開示について
弊社および弊社関連会社(開発委託先・サービス会社等)は、カーナビゲーションに記録されたデータを製品の修理、カーナビゲーションの研究開発を目的に取得・流用することがあります。
また、弊社および弊社関連会社は、以下の場合を除き、取得したデータを第三者に開示・提供することはありません。
 - ・ カーナビゲーションを所有するお客様ご自身の同意がある場合。
 - ・ 裁判所命令などの法的強制力のある要請に基づく場合。
 - ・ 統計的な処置を行う等、使用者が特定されないよう加工したデータを研究機関等に提供する場合。

FM VICS情報が受信できる代表的な周波数

全国のNHK FM放送局と同一周波数で放送しています。

- ・ 情報提供地域の違いによって情報内容が異なります。詳しくはVICSのホームページをご覧ください。

VICSに関するお問い合わせ

- ・ VICSの概念・計画、表示された情報内容、文字・図形情報の表示内容については
VICSセンター お客様相談窓口
【電話番号】0570-00-8831 (PHS、IP電話等からは利用できません)
【受付時間】平日 9:30 ~ 17:45 (土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)
【FAX番号】03-3562-1719 (24時間受付)
【URL】<https://www.vics.or.jp/>
- ・ 地図表示のサービスエリア・受信可否・車載機の調子・機能・使い方についてはアルパイン インフォメーションセンターへお問い合わせください。

Gracenoteについて

Gracenote 音楽認識サービスについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。Gracenote, Inc. 提供のCDおよび音楽関連データ:
copyright © 2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。
Gracenote 及び Gracenote ロゴとロゴタイプは、米国およびその他の国におけるGracenote Inc. の登録商標または商標です。

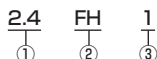
- ・ 「Gracenote®音楽認識サービス」によって提供されたデータについては、内容を100%保証するものではありません。



電波に関する注意事項

この機器の使用周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、アルパイン インフォメーションセンターまでご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えばパーティションの設置など)についてご相談してください。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、アルパイン インフォメーションセンターへお問い合わせください。



- ① 「2.4」GHz帯を使用する無線設備を表します
- ② 「FH」変調方式を表します
- ③ 「1」想定される与干渉距離(約10m)を表します

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、オープンソースソフトウェアを含みます。

オープンソースソフトウェアの詳細に関しては、以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://opensource.alpine.com/aft/>

保証について/規格

<保証書について>

- 本機の保証期間はメンテナンスノートに記載されている登録日または取付日より3年または、走行距離60,000kmです。
- スバル用品以外の製品については、SUBARUの保証対象外となります。各メーカーにご相談ください。

<アフターサービスについて>

- 調子が悪いときは、この取扱説明書や「Web版取扱説明書」(裏表紙参照)でもう一度ご確認ください。
- 補修用性能部品は、製造打切り後、最低6年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買い上げのお店または「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 修理によって登録内容が消去される場合があります。修理を依頼する前には、必ず登録している内容の控えを取ってください。

<規格/付属品>

ナビゲーション部

受信周波数	GPS: 1575.42MHz±1.023MHz GLONASS: 1597.807MHz～ 1605.6305MHz
受信感度	-130dBm

モニター部

画面サイズ(アクティブエリア)(幅×高さ)	7型 156.48×80.14mm
表示方式	透過型FFS液晶
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	2,764,800画素
有効画素数	99.99%以上
使用光源	LEDバックライト方式

地上デジタルテレビ・チューナー部

受信周波数	470～710MHz
回路方式	PLL周波数シンセサイザー
受信チャンネル	UHF13～52チャンネル
受信感度	-85dBm

ラジオ・チューナー部

受信周波数	AM: 522～1629kHz
	FM: 76.0～108.0MHz
実用感度	AM: 30dB μ V (20dB S/N)
	FM: 5dB μ V (3% THD)

FM VICSチューナー部

受信周波数	FM: 76.0～90.0MHz
-------	------------------

Bluetooth部

Bluetoothバージョン	Bluetooth4.2
対応プロファイル	HFP、OPP、PBAP、A2DP、AVRCP、SPP
出力	+4dBm (Power Class2)

HDMI入力部

対応I/F	480p (720×480p @59.94Hz/60Hz) 720p (1280×720p @59.94Hz/60Hz) VGA (640×480p @59.94Hz/60Hz) 1080p (1920×1080p @59.94Hz/60Hz)
-------	---

HDMI出力部

対応I/F	720×480p @ 59.94/60Hz (4:3) 720×480p @ 59.94/60Hz (16:9) 1280×720p @ 59.94/60Hz (16:9)
接続可能台数	最大4台

DVD/CD部

方式	光学式(コンパクトディスク方式)
量子化ビット数	1ビット
チャンネル数	DVD2チャンネルダウンミックス/ CD2チャンネル(ステレオ)
ダイナミックレンジ	95dB (1kHz)以上
高調波歪率	0.008% (1kHz)以下
チャンネルセパレーション	90dB (1kHz)以上
ワウフラッター	測定限界以下
音声SN比	95dB
周波数特性	5～20kHz

SDカード部

ファイルシステム	FAT 16/32, exFAT
再生信号圧縮方式	AUDIO:MP3, WMA, AAC, WAV, FLAC, ALAC VIDEO:MP4, MKV, AVI VIDEO Format:MPEG4 AVC, H.264

USBメモリー部

ファイルシステム	FAT 16/32, exFAT
再生信号圧縮方式	AUDIO:MP3, WMA, AAC, WAV, FLAC, ALAC VIDEO:MP4, MKV, AVI VIDEO Format:MPEG4 AVC, H.264
供給電圧	5V

Wi-Fi通信部

対応規格(周波数帯域)	IEEE 802.11 b/g(2.4GHz)
対応チャンネル	2.4GHz:1 ~ 13ch
セキュリティ方式	WPA2 Personal

総合

電源電圧	DC14.4V(動作範囲:11 ~ 16V) マイナスアース
最大出力	50W×4
プリアウト出力(音声最大出力レベル)	2V/10kΩ(最大)
動作温度範囲	-20° C ~ +60° C
外形寸法(幅×高さ×奥行)	178mm×100mm×184.5mm ノズル部: 171mm×96mm×34mm 筐体部: 178mm×100mm×150.5mm
重量	約2.6kg
付属品	取扱説明書・保証書類一式・録音用SDカード*

* 本機に挿入済み。

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 液晶パネルは非常に精度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があり得ますので、あらかじめご了承ください。

- ドルビーラボトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby, ドルビー, Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボトリーズの商標です。
- この製品は日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠しています。ハイレゾロゴは日本オーディオ協会の登録商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。ALPS ALPINE CO., LTD.は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- MPEG Layer-3オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IISおよびThomsonから実施許諾されています。
- 本製品の供給は、収益を発生する放送システム、ストリーミングアプリケーション、その他のコンテンツ配信システム、または物理的媒体で、本製品で創作されたコンテンツを配信する権利を暗示するものでもありません。当該使用には、独立したライセンスが必要で、詳細に関しては、<http://mp3licensing.com>にアクセスしてください。
- HDMI, High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- Apple, iPhone, iPod, iPod touch, iTunes, App StoreおよびLightningは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスのもとで使用されています。
- Made for Appleマークの使用に関して、パッケージ内に記してあるアップル製品に接続するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとしてデベロッパによって認定されたアクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- 本アクセサリをアップル製品と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼすおそれがありますのでご注意ください。
- IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- SDXCロゴはSD-3C LLCの商標です。
- QRコードは(株)デンソーウェアの登録商標です。
- NavIconは株式会社デンソーの登録商標です。
- [VICS]および[VICS WIDE]は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- マップコードは株式会社デンソーの登録商標です。
- **ETC2.0** は一般社団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
- 本製品にはデータ放送BMLブラウザとして株式会社ACCESSのNetFront DTV Profileを搭載しています。
- ACCESS, NetFrontは、株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。
- Copyright© 2019 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- プラズマクラスターロゴ(図形)およびプラズマクラスター、Plasmaclusterはシャープ株式会社の登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™ロゴは、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。
- iWnn® OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2017 AH Rights Reserved.
- DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- The typefaces included herein are solely developed by DynaComware Taiwan Inc.
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。
- 本地図上に表示される各社のロゴは、ビジネス上の所在地を示すものです。本製品におけるロゴの使用は、本製品と各社の間のスポンサー関係、承認、推奨することを何ら示すものではありません。

<次の点にご留意ください>

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。



地図マーク一覧

表示	内容	表示	内容	表示	内容
	病院		マリーナ、ヨットハーバー		山
	学校		交差点		史跡、名所
	郵便局		冬期規制区間		公園
	消防署		商業施設		動物園
	警察署		ホテル		植物園
	都道府県庁		銀行		水族館
	市役所、区役所		工場、工場敷地		遊園地、テーマパーク
	町村役場		教会		博物館
	官公署(特定記号無)		神社		図書館
	インターチェンジ、ランプ		寺		美術館
	サービスエリア		墓地		ガソリンスタンド
	パーキングエリア		温泉		カー用品店
	ジャンクション		海水浴場		国防施設(自衛隊、米軍など)
	ランプ出口		スキー場		JRA競馬場、ウインズ
	料金所(スマートIC含む)		ゴルフ場		レジャー一般
	駐車場		運動施設(スタジアムなど)		バス停
	飛行場		城、城跡		路上パーキングメーター
	港、フェリー発着場		キャンプ場		その他施設

● 情報検索精度について

電話番号検索および50音検索などは、電話番号登録時の登録内容によっては、該当する施設付近を表示する場合があります。

本機に収録されている情報は、調査時期やその取得方法により、現場の状況と異なる場合があります。使用に際しては実際の道路状況および交通規制に従ってください。

本機は天変地異による規制には対応しておりません。該当する地域周辺を走行される場合は警察・交通情報センター等にご確認ください。

● 地図データベースについて

地図データベース上、最終更新されたものを使用していますが、地域によっては最終更新日が古い場所も存在し、現在の状況と異なる場合があります。

- 交差点拡大図に表示される地図マークは形状が異なる場合があります。

索引

■ 五十音順

あ	
アートワークアニメーション表示	120
明るさ	129
空き道表示	110
アクティブルートサーチ	52, 115
アクティブルートサーチ案内音声割込み	115
案内音声	131
案内開始	44
案内図表示	114
案内誘導設定	113
い	
位置情報	55
一般	45, 51
緯度経度	39
イルミネーション連動設定	121
色の濃さ	129
インジケータ	26
う	
迂回エリア考慮	116
迂回距離	116
迂回する地点	54
裏番組情報取得設定	65
え	
エコー・ノイズ軽減設定	132
お	
オーディオ設定	119
オーディオソース情報マーク	26
オーディオメニュー	61
オーディオモード画面への割込み	117
オープニングアニメーション音量	131
オープニング画像	123
お気に入り	41, 42
お問い合わせ	109
オプションスイッチ	22, 121
音質調整	125
音声案内	49
音声案内設定	113
音声案内の長さ変更	113
音声言語	71
音声情報読み上げ	60
音声読み上げ	131
オンライン更新	103
オンラインサービス設定	97
音量調整	131

か

外部機器	89
外部接続機器選択	118
外部入力	89
カウントダウン目印フレーズ	113
各種設定	110
各部の名称	13
画質調整	129
画像ファイル読み込み設定	132
カメラ	137
カメラ接続	118
画面OFF	22
画面カラー変更	121
画面サイズ	129
幹線	45, 51
カントリーコード	71

き

キーボード	27
規格	174
気象警報	105
気象警報・災害エリア表示	111
規制	59
規制エリア	105
規制エリア表示	111
規制考慮	44
規制マーク	58
規制マーク表示	111
軌跡情報を消去	110
軌跡表示	110
基本情報	55
逆走警告案内	113
行政界色分け	111
狭路進入案内	114
距離補正	121
緊急情報画面	59

く

クイックセットアップ	2
クイックセットアップ(販売店設定)	6
クロスオーバー	128

け

携帯電話を接続する	90
経由地	43
経由地スキップ	52
経由地編集	51
経路設定	115
県域設定	65
県境案内	113
現在地	54
現在地画面	29
検索履歴	28

広域表示	34
交差点拡大図表示	46
交差点名称案内設定	113
後席個別	141
後席スピーカー音量	141
高速渋滞モード	49
高速道配信	102
高速・有料モード地図	112
交通情報	106
交通情報を受信する	67
行程ガイド	35, 49
行程ガイド施設マーク	36
行程ガイドマーク	36
合流案内	113
固定ガイド	119
固定ガイド線	137
困ったときは(よくあるご質問)	148
コントラスト	130

サービスリスト	63
災害エリア	59, 105
細街路案内	48
細街路オートスケール	112
差分表示切換	45
残距離案内	46
残距離音声案内	114
三者通話	94

時間曜日規制考慮	116
自機情報編集	133
自車位置修正	121
自車マーク	112
自宅へ帰る	38
自宅を登録する	2
自動サーチ設定	65
自動サーチモード	65
自動着信	132
自動着信時間	132
自動ハイウェイモード	112
シネマ	129
字幕言語	71
シャープネス	130
車種選択	123
車種専用サウンド	125
車種専用チューニング	6, 123
車両情報	108, 114
ジャンル	39, 78
住所	39
住所名称	40
渋滞学習	117
渋滞・混雑表示	110
渋滞情報	58
渋滞推測(空き道)表示	111
渋滞推測(渋滞・混雑)表示	111
渋滞線明滅表示	111
充電施設	106
充電施設マーク	58

周辺	39, 41
周辺迂回	52
縮尺	34
受話音量	93, 131
条件変更	51
詳細案内図表示	114
詳細情報	55
詳細表示	34
情報保持時間	117
情報割込み	117
信号・交差点案内	46

す

推奨	45, 51
推奨⇄推奨(有料優先)切換	45
図形情報	56
ステアリングリモコン	23, 118
ステアリングリモコンカスタムモード	24
ステアリングリモコンキー割り当て	118
スピーカー設定	128
スマートIC利用	116
スマートフォンアプリ	96
スマートフォンを接続する	90

せ

セキュリティインジケータ設定	122
セキュリティ設定	122
接続機器設定	118
全情報初期化	122
前席スピーカー音量	141
前席操作音	131
全設定項目初期化	122
全ルート表示	51

そ

走行連動地図切換	112
送話音量	93, 131
ソース別音量調整	128
その他設定	120

た

タイムコレクション	127
ダウンミックス	72
タッチスイッチの操作	15
ダブルゾーン	141
ダブルゾーンコミュニケーション	142
ダブルゾーンサウンドコントロール	118, 143
短縮時間	115
短縮ダイヤル	92

ち

地域設定	65
地上D⇄ワンセグ自動切換	64
地図切換	34
地図更新	96, 102
地図更新状況	109
地図色切換	111
地図色昼/夜切換	111
地図設定	36
地図データを更新する	98
地図の文字サイズ変更	112

地図表示設定	110
地図マーカー一覧	177
地点登録	53
着信音量	131
着信全画面割込み	132
着信・通話画面情報表示	132
着信履歴	92
駐車場情報	106
駐車場マーク	58
駐車録画	147
チューニング	45, 51

こ

通信設定	85, 90, 133
通話履歴	92

こ

ディスク	16, 163
データ更新	96, 103
デバイスID情報	65
デモ走行	52
デモ走行速度設定	114
テレビを見る	62
電話設定	132
電話帳	92, 95
電話帳自動同期	132
電話番号	39
電話を受ける	93
電話をかける	92

こ

冬期規制アイコン表示	112
冬期閉鎖区間考慮	116
到着予想時刻音声案内	114
到着予想時刻速度設定	114
登録地点	40, 54
特別警報アイコン表示	117
特別地点	54
時計表示	120
時計表示設定(映像ソース)	120
時計表示設定(ナビ画面)	120
ドライブレコーダー	89, 144
トラブルシューティング (故障かな?と思ったら)	152
トラブルシューティング (表示メッセージと対処方法)	158

な

ナビ案内画面割込み	114
ナビ案内画面割込み時画面状態	114
ナビメニュー	38

ね

年度更新	102
燃費	45, 51
燃費優先ルート条件	115

の

ノースアップ	33
ノーマル	129
乗り降りIC変更	51

は

バージョン情報	109
ハイウェイモード	48
ハイレゾ	61
パスワード	134
バックグラウンドサーチ設定	65
バックドア開閉ガイド線	137
発信履歴	92
バッテリー残量警告	132
パラメトリックEQ	126
パレンタル	71
番組表	63, 64
番号入力	92
ハンズフリー	90, 92
販売店設定	6

ひ

ビッグアロー	114
ビッグアロー表示	46
ビル立体表示	112

ふ

フェリー航路	48
フェリー使用	116
フォーマット	166
踏み切り案内	113
ブローブ通信	117

へ

別ルート	45
ヘディングアップ	33

ほ

ボイスタッチ	18
ボイスタッチインジケータ設定	120
ボイスタッチチューニング	120
ボイスタッチワード	18, 19, 120
放送局自動選局	65
放送局選択	107
方面看板表示	48, 114
ホームスキャン	65

ま

マーク情報	55
マップコード	39

み

ミュート	22, 31
------	--------

め

名称	39
メディアからの地点追加	124
メディア更新	104
メディア情報	124
メディアへの地点保存	124
メディア編集	124
メニューアニメーション表示	121
メニュー言語	71
メニューデザイン	123
メニューの文字サイズ変更	120
メンテナンス	108

も	目的地履歴	40
	文字情報	56
	文字スーパー表示	65
	文字入力のしかた	27
	モニター自動CLOSE	121

ゆ	優先探索ルート	115
	誘導方向表示	112
	郵便番号	39
	郵便番号設定	65
	有料	51
	有料道路優先	115

よ	予告配信	106
	予告配信表示	111
	夜用明るさ調整	121
	夜用照光明るさ調整	121

ら	ライブコントラスト	129
	ラジオを聴く	66
	ランドマーク表示	110
	ランドマーク表示サイズ変更	110
	ランドマーク表示ジャンル	110

ろ	リアカメラガイド調整	119
	リアビジョン/アロマ	140
	リダイヤル	92
	リバース連動ミュート設定	119
	リヤビューカメラ	137
	リヤモニター	140
	料金所ゲート案内	114
	リルート	52
	履歴	40
	履歴自動同期	132

る	ルート	46
	ルート案内画面	30
	ルート学習	116
	ルート再探索	52
	ルート消去	52
	ルート情報	50
	ルート探索結果画面	44
	ルートチューニング	115

れ	レーンガイド表示	47, 114
---	----------	---------

ろ	録音ビットレート	119
	録音用SD情報	109
	路上駐車場マーク表示	111

わ	ワイド*	129
	ワイドFM	66
	割込み時間	117
	割込み情報	105
	ワンセグ	64

■ アルファベット順

A	AAC	167
	ALAC	167
	AUDIO OFF	61
	AVI	167

B	BAL.	126
	BASS MAX EQ	126
	BIG X CONNECT	96
	Bluetooth AUDIO	85
	Bluetooth設定	85, 90, 133

C	CDを再生する	73
---	---------	----

D	DEFEAT	126
	DVD初期設定	71
	DVDを再生する	68

E	ETC2.0	135
---	--------	-----

F	FLAC	167
---	------	-----

G	GPS情報	108
	Gracenote	73, 80

H	HDMI	81, 164
	Hi-Res	61

I	IC変更	51
	iPhone/iPod	165
	iPhone/iPodを聴く	82
	iPod自動ソース切換	119
	ITSスポット	57, 135

M	Media Xpander	125
	MHL	81
	MKV	168
	MP3	167
	MP4	168
	MTP	88
	MX	125

N	
NaviCon	100
P	
Parametric EQ	126
Q	
QWERTY	27
S	
SDオーディオ	76
SDカード	17, 164
SDカードに曲を録音する	75
SD初期化	124
SDで更新	104
SDビデオ	77
SSID	134
T	
T.CORR	127
U	
USBで更新	104
USBメモリー	88, 165
V	
VICS	56
VICS WIDE	56
VICS情報	56, 105
VICS設定	117
VICSタイムスタンプ	29, 30
VICS駐車場・充電施設表示	111
VICS提供道路	111
VICSでの音声読み上げ	117
VISUAL EQ	129
W	
WAV	167
Wi-Fi設定	134
WMA	167
X	
X-OVER	128
■ 数字順	
1画面	34
2画面	34
2画面表示	25
3Dマップ	33
3Dランドマーク表示	112
50音	27
6ルート	45
10キー	27

地図画面の見かた

■ 地図画面の表示について(地図色:標準(昼の場合))



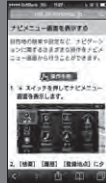
「Web版取扱説明書」のご案内

本機のひとつひとつの機能に対しての操作説明・注意事項をより詳しく知ることができます。

< Web版取扱説明書 >

パソコン・タブレット端末・スマートフォンを使って閲覧することができます。
バーコードリーダーで右記のQRコードを読み取るか、下記のURLを入力してアクセスしてください。

<http://www.net-de-torisetsu.jp/20003/top.html>



< Web版取扱説明書(PDF版) >

Web版取扱説明書をPDFファイル形式で閲覧・ダウンロード・印刷することができます。

- 仕様および外観は改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは撮影・印刷条件により実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は国内専用です。

発売元

株式会社SUBARU

🕒 お問い合わせ

本書はやさしく取り扱ってください。
無理に広げたり引っこ張ったりすると
ページがバラバラになってしまう場合があります。
やさしい取り扱いをお願いします。



Printed in Japan
68-41657Z56-A(Y_A5)
Model: 19AVNJ F